

\\ 更なる飛躍を //

心ときめく麻績村へ



第7次麻績村振興計画

基本構想	_____	令和5年度～14年度
基本計画	_____	令和5年度～9年度
デジタル田園都市構想総合戦略	_____	令和5年度～9年度

第7次振興計画の策定にあたって

麻績村では、平成25年に第6次麻績村振興計画を策定し、「未来へつながる 元気な麻績村」を村の将来像と定め、厳しさが増す国内外の情勢の中で、少子高齢化対策、安全で安心な生活環境の充実、移住定住促進などに向けて施策の推進に取り組んでまいりました。

しかし、急激な少子高齢化社会は全国的な広がりを見せ、地方はますます人口が減少し地域産業の衰退や、気候変動により頻発する自然災害など地域は様々な課題を抱えています。

また、令和2年1月に最初の感染者が確認された、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は全世界的に広がり、あらゆる事象に対して自粛や非対面といった行動制限がなされました。この結果、さらに東京一極集中から地方回帰の動き、テレワークといった働き方の変化、ライフスタイルや価値観の多様化など、社会・経済に大きな変革をもたらしました。

このような変化の激しい時代において、持続可能な社会を実現するためにSDGs等の新たな取り組みや、地球温暖化対策、DX等デジタル技術を駆使した働き方などの効率化も図っていく必要があります。

こうした中で、令和5年度から令和14年度の計画期間において、今後10年の麻績村の将来を見据えて、“更なる飛躍を 心ときめく 麻績村へ”をメインテーマとし、第7次麻績村振興計画を策定いたしました。

この計画をもとに、豊かな自然環境を生かし、子育て支援や教育環境、高齢者や障がい者福祉のニーズに対応した支援を充実させ、商工業や農業振興等の推進を図り、さらに移住定住策の促進を展開するなど、目標の実現に向けて一步一步前進してまいりたいと思います。

将来像の実現に向けては、行政はもちろんのこと、住民、団体や関係するすべての人々が互いに信頼感を高め、村民一丸となって元気な魅力ある麻績村を構築していくことが大切と考えていますので、村民皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたりまして、村づくりアンケート、パブリックコメントをいただいた多くの皆様並びに様々な視点から熱心にご審議賜りました麻績村振興計画審議会委員各位には、心から感謝とお礼を申し上げます。

令和5年3月

麻績村長 塚原 勝幸



1	はじめに	4
第1章	振興計画の概要	5
第2章	村の概況	6
2	基本構想	8
第1章	将来像	9
第2章	基本理念	9
第3章	人口の見通しと将来目標人口	9
第4章	時代の潮流と課題	13
3	前期基本計画（麻績村デジタル田園都市構想総合戦略）	15
第1章	基本計画の概要	16
第2章	重点目標	18
第3章	分野別基本計画	21
第1節	1 子育て支援	22
	2 保健衛生・医療制度	24
	3 高齢者福祉	26
	4 障がい者（児）福祉	28
	5 生活支援	30
	6 人権	32
第2節	1 学校教育	33
	2 生涯学習	35
	3 青少年・キャリア教育	37
	4 文化・歴史	39
	5 生涯スポーツ	41
第3節	1 農業	42
	2 林業	44
	3 商工業	46
	4 観光	48
第4節	1 防災	50
	2 生活安全	52
	3 環境保全	53
第5節	1 生活基盤	55
	2 土地利用	60
第6節	1 移住定住	62
	2 地域コミュニティ	64
	3 協働	65
	4 情報	66
	5 行財政	68

01 はじめに

1 / 計画策定の目的

振興計画は、総合的かつ計画的に村政を行っていくために、村づくりの方針を定め、目指す村づくりの方向性を住民の皆さんと共有するものです。また、麻績村において策定する全ての計画の基本となるものです。

2 / 計画の構成及び計画期間

振興計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されています。それぞれの計画期間と役割は次のとおりです。

1) 基本構想

長期的な社会情勢の変化などを見通しながら、基本目標や将来像など村づくりの基本的な考え方と、その方向性を描いた計画です。

令和 5年 4月 1日から令和 15年 3月 31日まで 10年間

2) 基本計画

基本構想の考え方を受けて、村づくりを進めるための基本的な施策の方向性を明らかにした計画です。基本計画は、前・後各 5 年間に分けてそれぞれ計画を策定します。

なお、村づくりを総合的かつ効果的に行うため、「まち・ひと・しごと創生法」の規定に基づく「麻績村デジタル田園都市構想総合戦略」を包含した計画とします。

前期基本計画 令和 5年4月1日から令和10年3月31日まで

後期基本計画 令和10年4月1日から令和15年3月31日まで

3) 麻績村デジタル田園都市構想総合戦略

地方創生は、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的に「まち・ひと・しごと創生法」が制定され進められてきました。

麻績村でも、地方創生の趣旨を踏まえ平成27年10月第1期「麻績村総合戦略」を策定、平成29年度からは後期基本計画に併せて第2期「麻績村総合戦略」に改定し進めてきました。

この度、令和5年度を初年度とする「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の閣議決定を踏まえ「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」実現にむけて、麻績村においても第7次麻績村振興計画・前期基本計画の策定に併せて第3期「麻績村総合戦略」を「麻績村デジタル田園都市構想総合戦略」に名称変更し策定しました。

なお、重要業績評価指標（KPI）については、今後発生する事案に応じて、新たな項目の追加設定、修正、目標値等を修正する場合があります。

■ 総合戦略のフォローアップ

長野県まち、ひと、しごと創生総合戦略「しあわせ信州創造プラン2.0」等との整合を図りながら広域的な連携を進めるとともに、計画の推進にあたっては、国の財政的支援制度を積極的に活用することとしています。

■ 総合戦略の検証方法

総合戦略の検証方法は、麻績村地方創生総合戦略・人口ビジョン審議会においてPlan-（計画）-Do（実施）-Check（評価）-Action（改善）の4つの視点をプロセスに取り込み行います。

4) 実施計画

基本構想と基本計画に基づき、分野領域ごとに具体的施策を実施するための計画です。社会・経済情勢や財政見通しなどを勘案しながら毎年見直し、部分的な修正を行うものであり別冊とします。

第2章

村の概況

1 / 沿革

「麻績」の地名は平安朝初期の文献及び伊勢神宮の記録から推定して、1,000年以上前から用いられていました。

この土地は古くからの伊勢神宮内宮の御厨（みくりや）で、江戸時代には松本藩預かりの天領でした。

また、古くから北国脇往還の宿場として、西国から善光寺へ参詣する人々の通り道であり、鉄道（篠ノ井線）が開通するまでは、多くの旅人宿が繁栄を続けていました。

明治8（1875）年に麻績町村など4か村が合併して麻績村が、上井堀村など2か村と坂北組の桑関村が併合して日向村が発足しました。

そして、昭和31（1956）年9月「町村合併促進法」に基づいて両村が合併し、新たな麻績村として発足しました。

平成11年に改正された「合併特例法」により全国で合併に向けた数多くの合併協議が進む中、麻績村においては、当面自立の道を歩む選択をして「小さくても村民一人ひとりが輝いている、そんな村づくり」を目指して今日に至っています。

2 / 位置および地勢

麻績村は、長野県の中央に位置する筑摩山地のやや北寄り、東筑摩郡の北端、高原の村です。東西9.42km、南北7.94kmの三角形をなし、総面積は34.38km²、うち約70％が山林・原野です。

北端の聖高原、南端の四阿屋山、東端の一本松峠等はいずれも1,000mを超す山岳地帯であり、これらを集水域とする一級河川麻績川が名勝差切峡・山清路に向かって西流しています。この麻績川及びその支流に沿って展開する標高600mの掌状の盆地に集落や耕地が分布しています。

3 / 気候

気候は典型的な内陸性気候であり四季の変化に富んでいます。気温の日較差や年較差が大きいことが特徴です。

年間平均雨量は約1,100mmと少なく、空気は乾燥しています。

4 / 産業構造

麻績村の基幹産業・農業、第1次産業就業者は、昭和40年代過半数を占めていましたが、昭和50年代には40％台、平成では20％台、現在では10％台まで減っています。また、第2次産業も平成17年から減少傾向が続いています。

第1次・第2次産業に代わって第3次産業就業者が増加している状況となっています。

就業人口の推移

(単位:人・%)

	就業者数	第1次産業	第2次産業	第3次産業	分類不能
昭和50年	2,484	1,062 (42.8)	577 (23.2)	843 (33.9)	2 (0.1)
昭和55年	2,340	834 (35.6)	580 (24.8)	924 (39.5)	2 (0.1)
昭和60年	2,275	803 (35.3)	616 (27.1)	856 (37.6)	0 (0.0)
平成2年	2,186	636 (29.1)	717 (32.8)	833 (38.1)	0 (0.0)
平成7年	2,073	604 (29.1)	575 (27.7)	892 (43.0)	2 (0.1)
平成12年	1,854	481 (25.9)	531 (28.6)	839 (45.3)	3 (0.2)
平成17年	1,774	492 (27.7)	438 (24.7)	843 (47.5)	1 (0.1)
平成22年	1,452	288 (19.8)	357 (24.6)	806 (55.5)	1 (0.1)
平成27年	1,401	306 (21.8)	298 (21.3)	796 (56.8)	1 (0.1)
令和2年	1,269	225 (17.7)	259 (20.4)	785 (61.9)	0 (0.0)

資料：国勢調査資料

02

基本構想

更なる飛躍を 心ときめく 麻績村へ

美しい自然、永い歴史や文化、住民の温かい心、強い絆、これらを住民共有の財産として大切に
して、健康的で文化の香り高い心豊かな社会をつくらなければなりません。

住民一人ひとりが「麻績村に住んでよかった」、「麻績村に来てよかった」、「麻績村にこれからも
住みたい」と実感できる「心ときめく 麻績村」を目指します。

村民憲章

私たちは 美しい聖高原と、永い伝統ある麻績村の村民です。

私たちは 自然を愛し環境を整え、豊かな村をつくりましょう。

私たちは 互いに信じ助け合い、心の中にもきれいな花を咲かせましょう。

私たちは 心身の健康につとめ、明るい家庭をつくりましょう。

私たちは 教養を身につけ文化を高め、夢と誇りをもちましょう。

昭和48年3月31日制定

1 / 現状の人口

麻績村の総人口は、急激な転出と少子高齢化により昭和35（1960）年5,080人以降減少してお
り、令和2（2020）年2,547人となっています。（国勢調査人口）

人口減少が続くなかで、人口動態をみると平成23年度から始まった若者定住促進住宅施策によっ
て、平成25・27・28・令和元・2年には社会増という結果もでています。

引き続き移住定住施策を進め、人口減少を抑止することが重要です。

麻績村の人口推移

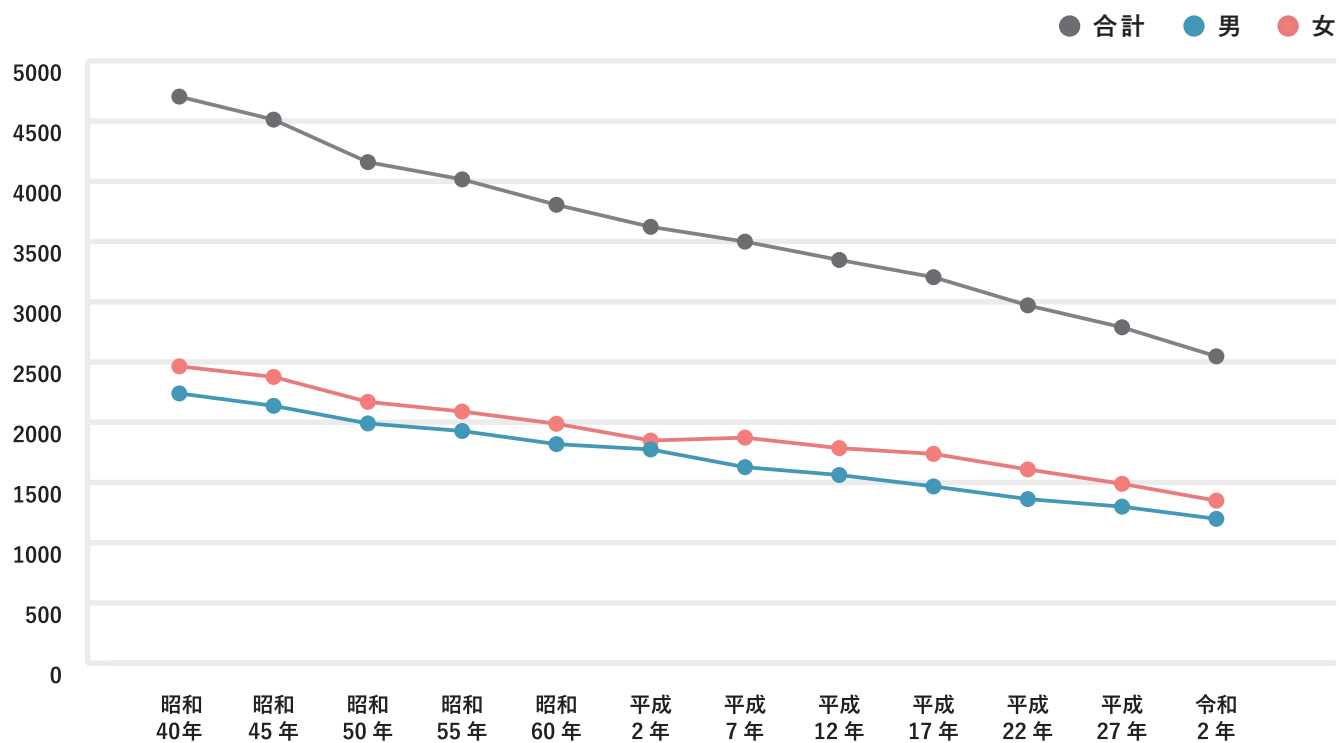
(単位：人・%)

	推計人口				
	男	女	合計	増減	増減率
昭和40年	2,239	2,464	4,703	△ 377	△ 7.4
昭和45年	2,136	2,376	4,512	△ 191	△ 4.1
昭和50年	1,990	2,169	4,159	△ 353	△ 7.8
昭和55年	1,927	2,089	4,016	△ 143	△ 3.4
昭和60年	1,818	1,987	3,805	△ 211	△ 5.3
平成 2年	1,774	1,848	3,622	△ 183	△ 4.8
平成 7年	1,627	1,872	3,499	△ 123	△ 3.4
平成12年	1,562	1,785	3,347	△ 152	△ 4.3
平成17年	1,467	1,737	3,204	△ 143	△ 4.3
平成22年	1,362	1,608	2,970	△ 234	△ 7.3
平成27年	1,299	1,489	2,788	△ 182	△ 6.1
令和 2年	1,198	1,349	2,547	△ 241	△ 8.6

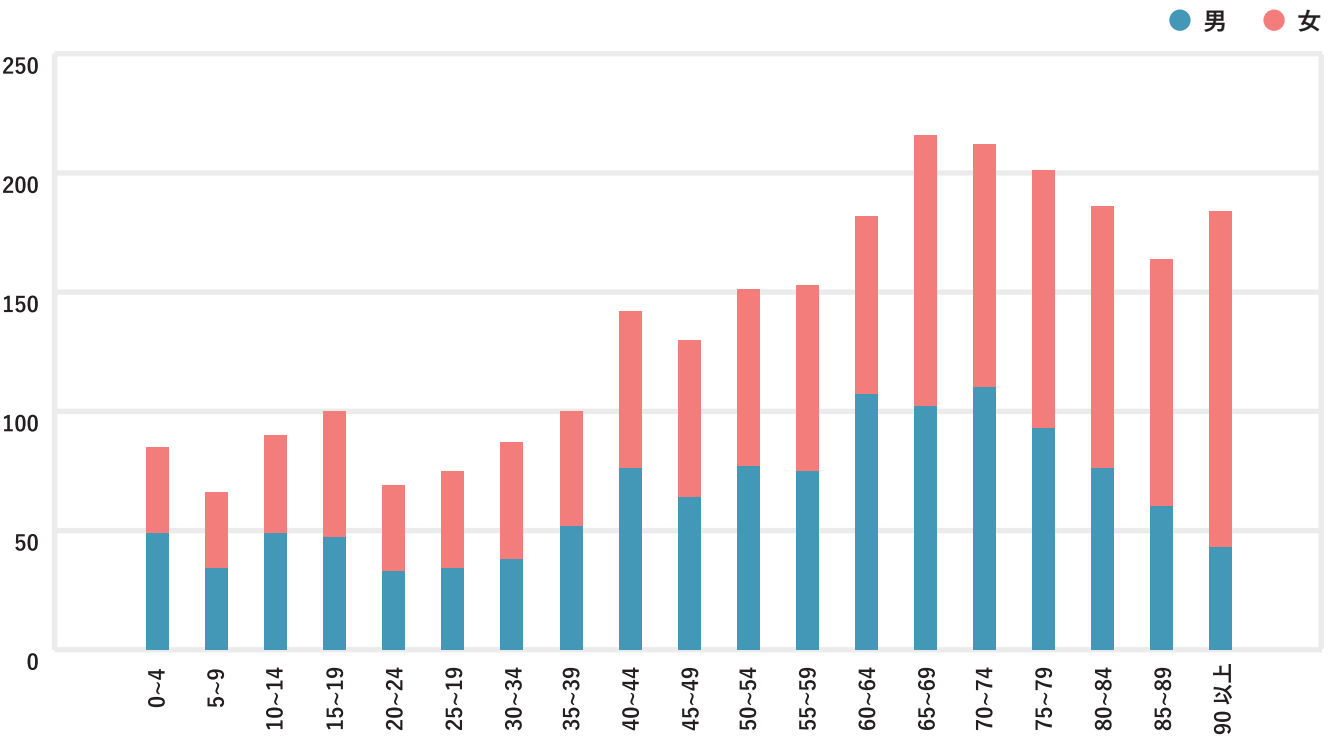
www

資料：国勢調査資料

国調調査人口



令和 2年男女年齢別国調人口



人口動態

(単位:人)

	自然動態			社会動態			人口増減
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
平成 25 年	4	74	△ 70	106	88	18	△ 52
平成 26 年	13	65	△ 52	91	93	△ 2	△ 54
平成 27 年	13	82	△ 69	103	73	30	△ 39
平成 28 年	13	63	△ 50	89	69	20	△ 30
平成 29 年	17	64	△ 47	93	95	△ 2	△ 49
平成 30 年	14	73	△ 59	106	106	0	△ 59
令和元年	13	67	△ 54	80	76	4	△ 50
令和 2 年	14	77	△ 63	106	69	37	△ 26
令和 3 年	10	77	△ 67	58	86	△ 28	△ 95

資料: 毎月の人口異動調査を年単位で集計

2 / 将来推計人口と目標人口

将来人口の推計をみると令和12（2030）年2,113人、令和22（2040）年1,740人、令和42（2060）年1,094人まで減少すると推計されています。

その中で、第7次振興計画最終年の10年後、令和15（2033）年では1,997人となることが推計されました。

そこで、本計画最終年の目標人口を以下の条件を付して推計シミュレーションしたところ、2,137人となることから、令和15（2033）年2,100人程度を目指すこととして、本計画を策定します。

3 / 麻績村人口ビジョン

麻績村においても、平成 27(2015) 年総合戦略と合わせて国立社会保障・人口問題研究所から示された資料に基づき、令和 42(2060) 年までの人口を推計、麻績村人口ビジョンを策定しました。

麻績村人口ビジョンにおいても、目標人口を令和 22(2040) 年に 1,900人程度、令和 42(2060) 年に 1,400人程度を目指す設定としてあります。

麻績村の将来人口推計と目標

(単位:人)

		推計人口	目標人口	
2020年	令和2年	2,547	2,547	国調人口
2022年	令和4年	2,538	2,538	住基人口
2025年	令和7年	2,321	2,389	
2030年	令和12年	2,113	2,227	
2033年	令和15年	1,997	2,137	案分算定
2035年	令和17年	1,920	2,077	
2040年	令和22年	1,740	1,927	
2045年	令和27年	1,562	1,777	
2050年	令和32年	1,397	1,636	
2055年	令和37年	1,243	1,507	
2060年	令和42年	1,094	1,386	

資料:令和2年国調人口、令和4年10月1日は住民基本台帳人口

令和7年以降、国立社会保障人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」に基づきまち・ひと・しごと創生本部が、全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定（社人研推計拠）、合計特殊出生率が人口置換水準（人口を長期的に一定に保てる水準2.1）まで上昇した場合でシミュレーションしたもの。

なお、令和15年は、前後の年の、人口の差を5年間で案分した。

1 / 新型コロナウイルス感染症がもたらした影響と新しい生活様式への対応

世界的に感染拡大を引き起こした新型コロナウイルス感染症は、物流の停滞による燃料、製品や原料の高騰や不足などによる社会経済の悪化や感染対策による人々が集まる機会の激減等、暮らし方や働き方などの生活様式をはじめ、様々な分野でこれまでの私たちの生活に大きな変化をもたらしています。

そうした変化により、働き方は大きく変化し、IT技術を活用して勤務地以外の場所からテレワークやオンライン会議なども急速に普及・浸透したことにより、都市部から地方へと移住や二地域居住といった関心が高まってきています。

このような生活様式は、今後も新しい生活様式として定着していくと考えられ、今後の村づくりにおいても、都市部からの移住定住者を受け入れる体制の整備や多様な働き方に対応した環境整備が重要となってきます。

2 / 少子化・高齢化・人口減少社会への対応

日本の人口は出生率が徐々に鈍化し、平成20年には総人口が減少に転じました。これにより高齢人口が増加し続け、麻績村においても令和4年の高齢化率は44%になり、令和14年には48.9%となると予想されています。

このような人口減少や少子高齢化の進行は医療・福祉、年金や介護の分野において影響が大きく、社会保障費の増加が見込まれることや、農業分野においては農業後継者不足による耕作放棄地の増加が懸念されます。

また、地域においてもコミュニティの担い手不足が進み、地域での共助の仕組みに支障をきたすことが予想され、集落の存続も困難になることが懸念されます。

社会全体がこのような状況にあるなか、持続可能な社会を実現するために人口増加策の積極的な展開や農業後継者の育成を今まで以上に他自治体や民間団体と広域的な連携を図っていくことが重要となってきます。

3 / 安心・安全な村づくりの対応

近年は地球温暖化による気温の上昇等によりゲリラ豪雨などが全国各地で頻発し、大規模な災害が発生しています。

また、南海トラフ地震や東南海地震、さらには糸魚川－静岡構造線断層帯の地震発生率が高まっていると考えられています。

麻績村でも令和元年10月の台風19号の災害では、24時間雨量が244mmと過去最大の雨量を記録し、多くの河川の氾濫により甚大な災害をもたらしたことから、今後の村づくりにおいても引き続き、ダムや河川整備等の対策が必要です。

4 / 持続可能な開発目標（SDGs）への対応

SDGs（Sustainable Development Goals）とは、世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみんなで令和12（2030）年までに解決していこうという計画・目標です。

この目標達成年度は、本計画の計画期間内であるため、SDGsの目標を考慮して、達成に向けた計画となることが求められています。

5 / 自治体 DXへの対応

近年、企業の他に自治体にも DX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みが求められています。

自治体 DXとは、行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させ、さらには職員の職務負担軽減などのメリットとなるような状況を生み出すことです。

行政サービスにおいて、デジタル技術を活用することにより、マイナンバーカードによる申請・手続きのオンライン化の実現をめざすとともに、多様化・複雑化する業務に対し、DXの推進を図ることで行政サービスの効果的な活用を考えていくことが求められています。

6 / 脱炭素社会への対応

近年、気候変動が一因と考えられる異常気象が世界各地で発生しています。日本においても、局所的な豪雨、台風災害や猛暑が頻発しており、大きな影響を受けています。こうした異常気象の背景には温室効果ガスの問題があり、世界各国で令和32（2050）年までにカーボンニュートラルの目標を掲げ、長野県においても令和元（2019）年に「気候非常事態宣言」が行われ、世界と同様に令和32（2050）年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする決意表明がなされています。

麻績村においてもゼロカーボンの取り組みを可能な限り進め、持続可能な村づくりをしていくうえで、脱炭素社会の実現に向けて施策を展開することが求められています。

03

前期基本計画（麻績村デジタル田園都市構想総合戦略）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、多くの社会活動が止まり、形態までもが変わってしまいました。

第7次振興計画では、コロナショック（感染拡大による経済危機）の終息から復活を見据えて人々のつながりを深め、大切な伝統文化や社会活動を呼び戻すことから始めましょう。

互いに信頼感を高め、住民一丸となって元気な麻績村にしましょう。

1 / 若者定住策の促進と子育て支援施策の充実

- 都市からの移住定住を促進

相談会開催やお試し住宅の活用

- 若い人が定住できる住宅整備

新たな移住定住促進住宅の建築

- 妊娠期から出産、乳幼児、学童期、中高生までの各種支援の充実

子どもの治療や検査に係る費用、給食費などの負担軽減、母子保健・児童福祉の相談・支援の一体的な提供など

- 保小中一貫教育の推進

保育園・小学校・中学校の連携

- ICT教育の推進

2 / 高齢者や障がい者に優しい福祉の充実

- 健康支援体制の強化

保健事業と介護予防事業の事業者との連携強化

- 福祉施設の充実

福祉センターの利用促進、施設整備

授産施設、障がい者支援施設などの整備

- 地域包括ケアシステムの充実

3 / 地域産業の基盤強化と観光事業の振興

- 地域産業の活性化・商工業の体質強化

各種農業施策の推進（農業生産基盤整備・保全など）、商工事業者への各種支援強化

- 聖高原駅前の総合整備

麻績村の玄関口の整備

- 新規就農者・農業後継者への支援強化

各種制度の充実、支援体制の整備

- **観光施設の整備と効率運営**

新たなニーズへの対応、運営の効率化

- **地域資源を活用した広域観光の推進**

安曇野、松本、長野圏域などとの連携、聖山高原県立公園の利活用、新たな観光商品開発

4 / 安心安全で利便性に富んだ生活環境の整備

- **災害に強い各種防災対策の推進**

危機管理体制の強化(ハード面、ソフト面)、地域防災組織の強化、防災意識の高揚

- **生活道路環境の整備促進**

安心安全の道路橋梁整備、主要道路の大型車対応

- **利便性の高い地域公共交通**

利便性と効率性を備えた地域公共交通

5 / 安定した健全な行財政運営と村民参加の村づくりの推進

- **近隣市村との友好連携の強化**

東筑北部(筑北村、生坂村)、聖山圏域(長野市、千曲市、東筑北部)、安曇野大町圏域、松本圏域での各種事業を充実強化

- **情報公開と透明性の高い村民参加の村づくり**

ホームページの充実、村政懇談会開催、元気創出活動への支援

- **デジタル改革に向けた行政事務の効率化**

自治体 DX推進計画の取り組み、行政事務の効率化と健全財政の維持
職員の資質向上

第1節 / 誰もが元気に健康で暮らせる 村づくり

- ① 子育て支援 ② 保健衛生・医療制度 ③ 高齢者福祉 ④ 障がい者（児）福祉
⑤ 生活支援 ⑥ 人権

麻績村においても、核家族化等が増加し共働きの子育て世帯が増えています。子育ての喜びが実感できるよう、きめ細かな切れ目のない支援をつなげ子育て家庭にやさしい村づくりを進めます。

また、生涯を充実したものとするには、健康でいる期間を長く保つ健康寿命延伸が重要です。高齢になっても住み慣れた地域で健康で心ときめく村づくりを進めます。

重要業績評価指標（KPI）

目標項目	基準年度・基準値		目標年度・目標値	
0歳～5歳児の計	令和4年度	79人	令和9年度	85人
国保特定健診受診率	令和4年度	60%	令和9年度	65%
平均自立期間（要介護2以上）	令和4年度	82歳	令和9年度	83歳

第2節 / 地域で育て未来に希望が持てる 村づくり

- ① 学校教育 ② 生涯学習 ③ 青少年・キャリア教育 ④ 文化・歴史
⑤ 生涯スポーツ

保育園・小学校・中学校へと切れ目のない一貫教育を充実させ、小規模ならではの一人ひとりの個性を尊重し、生きる力や自立する力を育てる教育の充実を図ります。

また、村の歴史、芸術、文化・歴史、スポーツ活動にふれる機会を提供し、豊かな生活ができる村づくりを進めます。

重要業績評価指標（KPI）

目標項目	基準年度・基準値		目標年度・目標値	
保小連携事業	令和4年度	15回	令和9年度	15回
小中連携事業	令和4年度	7回	令和9年度	10回
保中連携事業	令和4年度	5回	令和9年度	7回
近隣学校等との連携交流事業	令和4年度	10回	令和9年度	15回

第3節 / 産業を守り、育て、生かす 村づくり

① 農業 ② 林業 ③ 商工業 ④ 観光

少子高齢化のもたらす地域産業への影響は測りしれません。地域産業を支えていくには、後継者育成が最重要課題です。地域資源を最大限に活用し農業振興支援策・商工業支援策を継続して行い、活力を生み出す村づくりを進めます。

重要業績評価指標（KPI）

目標項目	基準年度・基準値		目標年度・目標値	
新規就農者数	令和4年度	0人	令和9年度	3人
テレワークセンター利用者数	令和4年度	1人	令和9年度	3人
観光客入込者数	令和4年度	67,000人	令和9年度	70,000人

第4節 / 豊かな自然と共生し、地域で支えあう 村づくり

① 防災 ② 生活安全 ③ 環境保全

あらゆる災害から住民の生命、財産を守るために災害に強い村づくりを総合的に進めていくことが重要です。消防団の充実や消防施設の整備、住民への防火意識の高揚や自主防災組織の育成を図り、住民参加の安心安全の村づくりを進めます。

また、地球温暖化を抑制するため長野県でも「気候非常事態宣言・2050ゼロカーボンへの決意」を表明しています。「循環型社会」を構築するため、生ごみ収集・処理を推進し可燃ごみの減量化を目指し環境にやさしい村づくりを進めます。

重要業績評価指標（KPI）

目標項目	基準年度・基準値		目標年度・目標値	
消防団員の充足率	令和4年度	87%	令和9年度	92%
一般廃棄物収集量（可燃ごみ）	令和4年度	14,500ト/年	令和9年度	14,000ト/年

第5節 / 安全で快適な空間づくりを目指す 村づくり

① 生活基盤 ② 土地利用

住民の快適な暮らしを支えるインフラ整備として道路整備は通勤、通学、買い物等の経済活動や緊急時の輸送に欠かせない役割を担っています。

また、上下水道整備も安心安全な生活を提供するための重要な事業です。

しかし、インフラ整備には多額の予算を要するため、中長期的な視野を持ち整備を進めることで快適に住みよい暮らしができる村づくりを進めます。

重要業績評価指標（KPI）

目標項目	基準年度・基準値		目標年度・目標値	
橋梁長寿命化率	令和4年度	83.1%	令和9年度	100.0%
水洗化率	令和4年度	86.6%	令和9年度	88.0%
村営バス利用者数	令和4年度	15,240人	令和9年度	13,500人

第6節 / 新しい風を取り入れた持続可能な 村づくり

① 移住定住 ② 地域コミュニティ ③ 協働 ④ 情報 ⑤ 行財政

持続可能な社会を実現するためには、行政区や公営活動を行う自主的に集まった村づくり団体などの活動が大切です。

また、安定した行財政運営を進めることが、こうした活動団体への支援を継続することにも繋がります。村の後継者として移住してもらうことを目的に、地方暮らしに挑戦する若者を応援するための住宅建設を推進し、また、空き家などを活用して持続可能な村づくりを進めます。

重要業績評価指標（KPI）

目標項目	基準年度・基準値		目標年度・目標値	
移住者数（3年平均）	令和2～4年	65人	令和7～9年	75人
村の人口	令和4年	2,538人	令和9年	2,325人
マイナンバーカード活用の コンビニ交付事業	令和4年	0件	令和9年	120件



GOAL : 安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整え、子どもたちの元気な声が響き渡る活気に
目指す姿 : 満ちた村を目指します。

現状と課題

- ☑ 人口減少、少子高齢化、新型コロナウイルス感染症などの影響により、子どもを産み育てる環境が変化しています。それに伴い、不安を感じる妊産婦や保護者の相談場所・支援体制の強化が必要です。

主な施策方針と関連事業

01 - 主な施策方針

- 妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援し、子育て家庭の様々なニーズに応える取り組みを実施し、母子保健、児童福祉の相談・支援体制を強化します。
- 不妊治療費助成の拡大、医療費窓口負担額の軽減など、子どもを産み育てやすい環境を整えます。
- 子育て支援コーディネーターと保健師の連携を中心に、保育・教育・福祉の充実強化を実施します。

02 - 関連事業

- 子育て世代包括支援センター事業
- 妊産婦健康診査
- 産後ケア事業
- 不妊治療費助成事業
- 新生児聴覚スクリーニング検査費用補助事業
- 妊婦歯科健康診査補助事業
- 乳児一般健康診査
- 子どもの予防接種事業
- 出産祝金／育児支援金
- 子育て支援団体自主活動補助事業
- 乳幼児健康診査
- 病後児保育
- 赤ちゃん相談
- 新生児訪問／乳児全戸訪問／養育支援訪問
- 母子健康手帳アプリ
- 結婚新生活支援事業
- ひだまり広場
- キッズ運動あそび教室
- 保育事業
- 福祉医療制度
- 児童手当／児童扶養手当／特別児童扶養手当
- 要保護児童対策地域協議会
- 未熟児養育医療給付
- おみっこ元気くらぶ
- 放課後児童クラブ
- 育児相談

関連計画等

計画名等	計画期間
第2期麻績村子ども・子育て支援事業計画	令和2年度～令和6年度（以後、5年ごとに見直し）
社会教育事業計画（おみっこ、放課後児童クラブ）	
教育委員会主要事業計画	毎年度

重点戦略

ゼロカーボン

- 子育て世代への周知、啓発活動
- 関連施設における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化



DX

- 母子保健に関する情報のデジタルデータベース管理の実施
- スマートフォンアプリを利用し、子育てに関する情報が必要とする方にタイムリーに届く情報発信

GOAL
目指す姿

住民一人ひとりの健康意識向上に取り組み、笑顔で暮らせる村づくりを目指します。

現状と課題

- ☑ 生活習慣病は、自覚症状のないうちに進行するため、医療保険被保険者の健診受診者数を増やし、住民自らが自身の健康に関心を持てるようにすることが必要です。

主な施策方針と関連事業

01－主な施策方針

● がん検診・健診受診の啓発

各種健（検）診の受診勧奨を行い、若い頃からの健診受診を習慣化し、生活習慣病の予防を意識づけます。
また、大腸がん検診を特定健診と同時実施するなど、各種健（検）診の受けやすい体制を整備します。

● 健診受診者に対するきめ細やかな保健指導の実施

健診受診者に対し、受診者自らが行動変容できるような具体的かつ実行可能な生活改善を提案します。
また、必要者には、医療受診勧奨を行い、早期に治療を開始することで重症化を予防し、医療費削減及び医療保険財政の健全化も進めます。

● 健康相談の充実

体の健康だけでなく、心の悩みなど健康に関するあらゆる相談に応じ、乳幼児から高齢者まで全ての年代層の健康づくりを推進します。

02－関連事業

- 麻績村国保特定健診・保健指導
- すこやか後期高齢者健診・保健指導
- 若者健診・保健指導
- 健康相談
- 精神保健相談
- 各種がん検診
- がんリスク検診
- 歯科健診事業
- 糖尿病性腎症重症化予防事業
- 各種予防接種事業
- 保健補導員活動

関連計画等

計画名等	計画期間
麻績村健康増進計画（健康おみ 21）	平成 25 年度～令和 5 年度（次回、12 年後に見直し）
麻績村国民健康保険	平成 30 年度～令和 5 年度（以後、6 年ごとに見直し）
第 2 期保健事業実施計画（データヘルス計画）	
第 3 期特定健康診査等実施計画	

重点戦略

ゼロカーボン ▶ ・デジタル教材等を活用したペーパーレス化

DX ▶ ・マイナポータルによる健診結果の閲覧・管理
・オンラインによる保健指導・健康相談の実施



GOAL
目指す姿

可能な限り住み慣れた地域で生活し、ここで暮らせて良かったと思える村を目指します。

現状と課題

- ☑ 村の高齢者人口はゆるやかな減少傾向にありますが、核家族化の進行に伴い、独居、老々世帯の割合は増加傾向にあります。それに伴い介護サービスや支援を必要とし、多様化する高齢者のニーズに応えるため、基盤や提供体制の再構築、資源開発等が求められています。
- ☑ 高齢者が住み慣れた地域でいつまでも健康的な生活を送ることができるよう、高齢者自身が主体的に、健康づくり・介護予防への取り組みや地域活動への参加ができるような支援が必要です。

主な施策方針と関連事業**01 - 主な施策方針****● 地域包括ケアシステムの充実（支えあいの体制づくり）**

地域で高齢者が安心して暮らしていけるよう地域で支え合う体制の実現を進めます。

● 健康づくり・介護予防

ライフサイクルに沿った生活習慣病の発症予防と重症化予防を図るため、関係機関と情報共有しながら介護予防・生活支援サービスを実施します。

● 自立生活を支援するサービス提供

要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を続けるために、個人のニーズに応じた適切なサービス利用を進めます。

● 認知症施策の推進

認知症サポーターの養成や、成年後見制度利用支援事業など、地域で支えるための取り組みを進めます。

02 - 関連事業

- 一般介護予防事業
- 介護予防日常生活総合事業
- 生活支援体制整備事業
- 在宅医療、介護連携推進事業
- 認知症総合支援事業
- 配食サービス事業
- 成年後見利用支援事業
- 地域包括支援センターの相談支援事業
- 高齢者にやさしい住宅改修事業

関連計画等

計画名等	計画期間
麻績村介護保険事業計画・高齢者福祉計画	令和３年度～令和５年度（以後、３年ごとに見直し）
麻績村成年後見利用促進基本計画	令和３年度～令和５年度（以後、３年ごとに見直し）

重点戦略

- ゼロカーボン
- ▶ 関連施設における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化



- DX
- ▶ 高齢者のデジタル技術利用促進
 - ▶ デジタル技術を活用した関係者の連携による地域包括ケア体制の強化・見守り



GOAL : 障がいや難病などの特性をお持ちの方が、住み慣れた地域で安心した生活ができる村を目指
目指す姿 : します。

現状と課題

- ☑ 身体が不自由な方の人数は減少傾向ですが、意思疎通が上手にできない方や精神疾患をお持ちの方などの人数は、横ばいの状況です。
- ☑ 住み慣れた地域での生活継続のため、就労系福祉サービス、通いの場、居場所支援等は、村外の通所可能範囲における事業所の利用が進んでいます。訪問系サービスについても、村内の事業所では人材不足などの理由により、各種サービス提供は村外事業者のサービス提供を受けている状況です。

主な施策方針と関連事業

01 ー 主な施策方針

● 相談窓口及び地域生活を継続するための支援

- ・ 障がいの種別や各種ニーズに対応した総合相談・専門相談を継続して実施します。
- ・ 施設入所に頼らず、地域で安心して暮らせるための環境整備・資源の確保を進めます。

● 自立するための支援

- ・ 各種制度や助成金制度の広報や情報提供を図り、安心した生活を送ることができる支援体制の整備を進めます。
- ・ 就労移行支援や就労継続支援、また、福祉企業センターへの就労など、自立に向けた就労支援を進めます。
- ・ 福祉有償運送による移動困難者の外出支援を進めます。

02 ー 関連事業

- 自立支援給付事業
- 地域生活支援事業
- 地域生活支援拠点事業
- 障がい者にやさしい住宅改修事業
- 難病疾患等福祉手当支給事業

関連計画等

計画名等	計画期間
麻績村障がい者計画	平成 30 年度～令和 5 年度（以後、6 年ごと見直し）
第 6 期障がい福祉計画・第 2 期障がい児福祉計画	令和 3 年度～令和 5 年度（以後、3 年ごと見直し）

重点戦略

ゼロカーボン

- ▶ • 各施設における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化

DX

- ▶ • オンラインによる手続き・相談の充実
- ▶ • デジタル技術を活用した社会参加

用語解説

就労系福祉サービス…障がいの状況に応じて就労の機会の提供、就労に必要な知識・能力の向上のための訓練を行うサービスです。



GOAL

目指す姿

誰もが安心して地域で暮らし続けることができる村を目指します。

現状と課題

- ☑ ここ数年の厳しい雇用形態の変化や物価高騰の影響により、安定した生活基盤を築くことが難しい経済的弱者が増加しています。
- ☑ 経済的な不安や精神的な不安の相談支援体制の充実が必要です。

主な施策方針と関連事業

01 – 主な施策方針

- 生活維持が困難な状況に陥った方に対し、関係機関との相談体制の充実、連携を密にしていくことで生活保護をはじめとした適切な支援を実施します。
- 若年齢層に対しては、就労に向けての支援を行い自立した生活を営めるよう支援します。
- ひとり親世帯の不安を解消するための相談窓口の充実を図るとともに、就学にかかわる適切な支援を行います。
- 事件等被害者家族の相談窓口になり、関係機関との連携を実施します。
- 民生児童委員や社会福祉協議会等、地域の中に溶け込んでいる組織による地域全体の見守り体制を実施します。
- 利用者の生活向上や働く場所の確保のため、景気低迷に影響を受けないよう、様々な業種に対し受注確保につながるよう働きかけを行うとともに、今後施設のあり方の検討や整備の充実を実施します。

02 – 関連事業

- 生活保護申請相談事業
- ひとり親世帯支援事業
- 民生児童委員による見守り事業

関連計画等

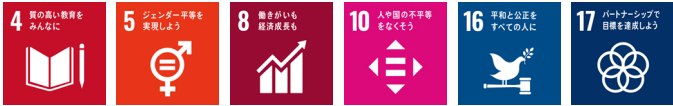
計画名等	計画期間
社会福祉法に準拠	
生活保護法に準拠	
その他関係法令等に準拠	

重点戦略

ゼロカーボン ▶ 食品ロス削減に伴うフードバンク活用



DX ▶ オンラインによる手続き・相談の充実



GOAL

目指す姿

多様性を認め合い、一人ひとりの人権が尊重され、差別のない村を目指します。

現状と課題

- ☑ 性別や障がいの有無、同和問題等に加え、インターネットによる人権侵害、こころと身体の性が一致しない人に対する人権侵害、ヘイトスピーチ等が大きな問題となっています。
- ☑ 女性の社会参加が進んでいますが、それに伴い仕事、家事、子育てによる女性の負担が増えており、男性の家庭への参画やそのための環境、制度整備が求められています。

主な施策方針と関連事業

01 – 主な施策方針

- 人権への理解を深めるため、人権啓発活動を行い、人権侵害を未然に防ぎます。
- 人権相談支援体制の整備を進めます。

02 – 関連事業

- 青少年育成村民運動推進大会並びに人権教育指導者研修会
- 人権擁護委員による『人権特設相談所』
- 人権擁護委員協議会による『街頭啓発』
- 子どもの人権 SOS ミニレター

関連計画等

計画名等	計画期間
麻績村男女共同参画計画	平成 29 年度～令和 8 年度
社会教育事業計画	毎年度

重点戦略

ゼロカーボン ▶ デジタル教材等を活用したペーパーレス化

DX ▶ 時間と場所にとらわれない、ICT を利用した啓発活動や研修会等の実施



GOAL

目指す姿

- 保小中一貫教育をさらに推進し、各年代で教育観を共有し、子どもたち一人ひとりの「個」に寄り添い、のばす教育を目指します。
- ICT を有効活用し、学力向上に向けた「交流型学習」を進め、質の高い学びを目指します。
- 近隣自治体との学校連携を推し進め、広域での教育環境の充実を目指します。

現状と課題

- ☑ 児童数・生徒数の減少による人間関係の固定化・競争意識の希薄化がうかがえます。
- ☑ 個別の支援が必要な子どもが増加傾向にあり、寄り添った支援の体制が必要です。
- ☑ 中学校の部活動が地域移行化されることによる、地域の受け皿としての体制づくりが必要です。
- ☑ 施設の老朽化による修繕や設備の更新が必要となっています。

主な施策方針と関連事業

01 ー 主な施策方針

- 保小中一貫教育をさらに深め情報を共有し、子どもたち一人ひとりと向き合い「個」に寄り添った教育を丁寧に進めます。
- GIGA スクール構想推進のため情報通信環境を整備し、ICT 教育を幅広く進めます。
- ふるさと学習により郷土を知り、地域の方と交流を通じ「ふるさと麻績」への誇りと愛着を育みます。
- 部活動がスムーズに地域移行につながるよう、学校と地域活動の連携を図ります。
- 計画的な修繕や設備の更新を行い、学校施設の長寿命化を図ります。

02 ー 関連事業

- JET プログラム（外国青年招致事業）

関連計画等

計画名等	計画期間
麻績村教育大綱	毎年度
教育委員会主要事業計画	毎年度
麻績村教育委員会個別施設計画	令和2年度～令和6年度

重点戦略

ゼロカーボン ▶ 1人1台端末、デジタル教科書、デジタル教材等を活用したペーパーレス化

.....

DX ▶ GIGA スクール構想の推進

用語解説

JET プログラム … 語学指導等を行う外国青年招致事業（The Japan Exchange and Teaching Programme）の略で、外国青年を招致して地方自治体等で任用し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業です。

GOAL
目指す姿

- 生涯学習環境の整備を行い、社会教育推進体制の充実を目指します。
- 自主的な活動を支援し、多様な学習機会の提供と指導者の育成を目指します。
- 図書館の充実を図り地域の情報発信の拠点を目指します。

現状と課題

- ☑ 生涯学習に対するニーズは依然として高い状況にあり、生きがいづくりと心豊かな生活を支えるため、公民館活動を中心に誰でも学べる学習の場が必要とされています。
- ☑ 新型コロナウイルス感染症の拡大や、様々な学習機会の場の増加により、公民館講座への参加者数の減少が見られることから、学習内容を改善し、必要性や住民のニーズにあった魅力ある提案が必要となります。
- ☑ 住民の学習意欲の向上や自主的な学習を支援するため、指導者の育成や発掘に努めていく必要があります。幅広い世代の人材の発掘を進め、継続的に確保する仕組みづくりが必要となります。
- ☑ 図書館は、地域の情報拠点、生涯学習施設として引き続き様々な情報発信をしていくほか、郷土史などの後世に遺す資料の確保やレファレンスサービスの充実にも力を入れていく必要があります。

主な施策方針と関連事業

01 主な施策方針

- 社会教育委員兼公民館運営審議会において、社会教育事業計画の見直しや議論を活発にし、社会教育の充実を図ります。
- 住民のニーズの把握に努め、ICTを活用した講座体系を構築し、子どもから高齢者まであらゆる年代が幅広く学習できる環境づくりを実施します。
- 教室・講座だけでなく、自主的な活動への発展のための支援体制を構築します。
- 地域リーダーの発掘と育成、コミュニティスクール事業との連携を強化します。
- 学習拠点施設の充実、計画的整備、さらなる活用について検討していきます。
- 情報発信の拠点となるべく図書館の在り方を検討し住民ニーズに応えていきます。

02 関連事業

- 各種公民館講座、教室
- 各種図書館講座、イベント

関連計画等

計画名等	計画期間
麻績村生涯学習基本構想	期間の定めなし
社会教育事業計画	毎年度
おみ図書館活動評価及び運営計画	毎年度

重点戦略

ゼロカーボン ▶ デジタル教材等を活用したペーパーレス化

DX ▶ 時間と場所にとらわれない、ICT を利用した講座の実施



用語解説

レファレンスサービス … 利用者の問い合わせに応じ図書の照会や検索をする業務です。

GOAL 目指す姿

- 青少年を取り巻く状況の厳しさを踏まえ、青少年が健全に育成する安全でよりよい社会環境の確保を目指します。
- 子どもたちが将来自立するために必要な能力や態度を育てることを目的に、幼児期から体系的にキャリア教育を進め、自分の進路を自分で決めるという主体性の教育を目指します。

現状と課題

- ☑ 少子化や核家族化、地域コミュニティの希薄化により、家庭教育のあり方などについての学習機会や、助言体制を充実させる必要があります。
- ☑ 家庭、学校、地域コミュニティと相互に連携・協力した体制作りが必要です。
- ☑ インターネット、SNS等、子どもたちを取り巻く情報環境の変化から、地域で子どもたちを守っていく必要があります。
- ☑ 地域の発展を担う人材育成には、今後も地域を中心に据えた学習の継続が必要です。

主な施策方針と関連事業

01 ー 主な施策方針

- 子どもたちの自主性をより引き出すため、青少年に関する団体指導者の育成を支援します。
- 家庭教育に関する相談や学習の機会を確保します。
- 家庭、学校、地域が相互連携できる体制づくりをし、地域における子どもの居場所づくりを図ります。
- 青少年健全育成に関する研修会を実施し、情報化社会における望ましい環境に向けて地域ぐるみでの啓発活動を実施します。
- 小中学校で継続して行われる「ふるさと学習」や「キャリア教育」等において、地域理解を深め、個人の特性や適正を把握するよう学校と家庭・地域等との連携を支援します。

02 ー 関連事業

- 青少年育成村民運動推進大会

関連計画等

計画名等	計画期間
社会教育事業計画	毎年度

重点戦略

ゼロカーボン ▶ デジタル教材等を活用したペーパーレス化

.....

DX ▶ 時間と場所にとらわれない、ICT を利用した講座の実施

用語解説

キャリア教育 … 望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育です。変化し続ける社会の中で、変化を恐れず、変化や様々な課題に柔軟かつたくましく対応していく力や、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力を身に付けるための教育です。また、その力を身に付けるために必要となる基盤的・汎用的能力や態度を育てるための教育です。

GOAL
目指す姿

- 芸術・文化活動の交流が盛んな地域を目指します。
- 有形・無形を含めた文化財の保護・保存と継承を地域とともに図り、文化財を村づくりという観点からの活用を目指します。
- 地域の民俗文化や歴史の記憶を記録化（アーカイブ化）して伝承できる環境づくりを目指します。

現状と課題

- ☑ 村内の芸術や文化活動を支援するとともに、郷土芸能の保存のために関係する団体などと連携を図り、伝承活動や発表の機会の創出をしています。
- ☑ 地域住民をはじめとした関係者により保存・伝承されてきた文化財は、少子高齢化により、その継承が危ぶまれており、地域の文化歴史の記憶を記録化しないと消えてしまう危惧があります。
- ☑ 平成元年度に発行された麻績村誌に補遺として、村が大きく動いた平成の記録が望まれています。

主な施策方針と関連事業

01－主な施策方針

- 地域の伝統、文化を学ぶ郷土学習の充実を図ります。
- 作品や芸能などの発表の場を設けます。
- イベントや情報発信により、村内の文化財の魅力を村内外に広めます。
- 地域の歴史文化を体験・記憶している方の記録化（アーカイブ化）を進め、映像を含めた資料化を図り、いつでも閲覧できる環境設備を進めます。
- 麻績村誌の平成版に向けた資料の収集とデータ化を進めます。

02－関連事業

- 文化祭
- 村内団体との共催事業による歴史探訪イベント

関連計画等

計画名等	計画期間
社会教育事業計画	毎年度

重点戦略

ゼロカーボン

- ▶ • デジタル教材等を活用したペーパーレス化

DX

- ▶ • 時間と場所にとらわれない、ICT を利用したイベントの実施
- ▶ • 村誌の補遺に係る資料のデジタルデータ化



- GOAL** : 心も体も健康で元気にスポーツに関わる人の増加を目指します。
- 目指す姿** : スポーツを通じたつながりのある地域を目指します。

現状と課題

- ☒ スポーツを通じた健康増進や生きがいづくりの創出が求められています。
- ☒ スポーツ、レクリエーション活動の多様化により、変化した施策が必要です。
- ☒ スポーツ施設の老朽化と利用促進が進み、計画的な整備が必要となっています。
- ☒ 学校部活動の地域移行による受け皿としての体制が必要となっています。

主な施策方針と関連事業

01 ー 主な施策方針

- 様々なスポーツを始めるきっかけづくりとするために、村民のニーズを把握してスポーツ教室や体験会を開催します。
- 年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが社会参加の推進を図るためのスポーツ活動の普及に努めます。
- 村有スポーツ施設の利便性を高めるとともに環境への負荷を考慮した計画的な施設改善に努め、利用の促進を図ります。
- ジュニアの育成を含めた地域のスポーツ体制や指導者の確保を図り、学校部活動の地域移行にもつなげます。

02 ー 関連事業

- 村民体育祭

関連計画等

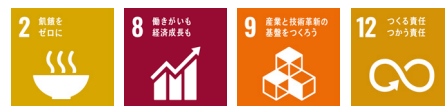
計画名等	計画期間
社会教育事業計画	毎年度

重点戦略

- ゼロカーボン** ▶ 電気等のエネルギーの節約や転換の推進

- DX** ▶ リモートによる体操教室や双方向的な交流を生むスポーツの場の提供





GOAL 目指す姿

美しい農村環境を未来につなぐための持続可能な農業を目指します。

現状と課題

- ☑ 高齢化による農業者の減少や担い手の高齢化により、耕作されない農地の増加が課題となっています。
- ☑ 農業施設の老朽化が進むとともに、高齢化等による施設の維持管理体制が懸念されています。
- ☑ 農業後継者の育成を図っていくうえで、付加価値の高い農産物の生産が必要です。

主な施策方針と関連事業

01－主な施策方針

- 新規就農者、担い手、集落営農組織などに対する支援の強化を図ります。
- 新たな農業団体の立ち上げ支援を行うとともに「NPO 法人おみごと」との連携をさらに進め、耕作放棄地の増加抑制を図ります。
- 長野県農地中間管理機構との連携により、農地の集積集約化を推進します。
- 気象や土質などの地域の特性に合った農業振興策と、美しい農村環境の整備を推進し、農業水利施設等の保全管理の省力化・高度化を図るための基盤整備やスマート農業を推進します。
- 農産物加工施設や農産物直売施設などを活用し、「麻績ブランド」の発信と新たな特産品開発や6次産業化を推進し収益性を高めます。
- グリーン・ツーリズムによる都市住民との交流を推進し、地域の魅力を活かした新たな農産物流通や観光につなげます。
- 誰もが農業に「生きがい」を見いだせるよう、関係機関と連携した支援と農業に参入する要件を緩和できるよう努めます。
- 環境にやさしい農業を推進し、生物の多様性を維持するため、冬期湛水の実施や生態系の維持・創出を図ります。
- 農業資材等の価格高騰に対しての支援を国・長野県と連携して進めます。

02－関連事業

- 新規就農者育成総合対策
- 日本型直接支払制度
(多面的機能支払制度、中山間地域等直接支払交付金、環境保全型農業直接支払交付金)
- 農業農村整備事業（農業水路等長寿命化・防災減災事業等）
- 農業振興事業各種

関連計画等

計画名等	計画期間
麻績村過疎地域持続的発展計画	令和 3 年度～令和 7 年度
地域計画	令和 7 年度～
指定棚田地域振興活動計画	令和 2 年 7 月～令和 7 年 3 月

重点戦略

ゼロカーボン

▶ 効率のよい農業を推進し、新しい農業機械や技術の導入を支援

DX

▶ eMAFF の活用 スマート農業の実装促進



用語解説

冬期湛水（とうきたんすい）… 稲収穫後の水田において、水を張ること。この取り組みにより、様々な生物の育成環境の提供が可能となります。 **地域計画（ちいきけいかく）** **地域の農業・農地利用の未来（10 年後）設計図**… 農業従事者の高齢化や担い手不足が心配される中、10 年後までに誰がどのように農地を使っていくのかを地区の農業者・関係者間での話し合い（協議）によりまとめる計画です。 **eMAFF（農林水産省共通申請サービス）**… 農林水産省が所管する法令に基づく申請や補助金等の申請をオンラインで行うことができるサービスです。

GOAL
目指す姿

住民が安全で安心して暮らせる森林環境を目指します。

現状と課題

- ☑ 森林の有する土砂災害や洪水を防止し、水や空気を育むなどの多面的機能を維持、向上させていく必要があります。
- ☑ 林業を取り巻く情勢は大変厳しく、林業労働力の不足・高齢化、輸入木材の増加、木材価格の低迷などが森林所有者の意欲の低下につながっており、森林整備の遅れを引き起こしています。
- ☑ 松くい虫被害が拡大し、激害化地域での森林再生を検討するとともに、倒木等の二次被害を防止する施策も必要となっています。
- ☑ 健全な森林態様を保持していくために、手入れの遅れている森林、特に人工林を地域一体となって整備していく必要があります。
- ☑ 有害鳥獣による農林業被害が拡大しており、駆除及び防除の両面からの対策を引き続き講じていく必要があります。
- ☑ 猟友会の協力により有害鳥獣駆除を行っていますが、会員の高齢化・後継者不足が課題です。

主な施策方針と関連事業

01 - 主な施策方針

- 松くい虫被害拡大を抑止するために、伐倒くん蒸処理等の防除事業を引き続き行い、激害化している地域については危険木除去を中心に樹種の転換による森林の再生を目指します。
- 有害鳥獣被害について、電気柵の設置など住民による自衛対策を引き続き支援するとともに、関係機関との連携による駆除を推進し、新規狩猟者の確保のため、狩猟免許取得などに対する支援を行います。
- 住民が安全で安心して暮らせる環境を守るため、国・長野県の補助事業を活用し森林整備を進めます。
- 建築材・燃料材として県産木材及び地域産木材の利用を推進します。
- 捕獲されたシカなどについては、麻績村産ジビエとしての活用方法を検討します。

02 - 関連事業

- 松くい虫被害拡大抑止のための被害木伐倒くん蒸事業・薬剤散布事業
- 松くい虫被害枯損木の倒木等二次被害防止のための危険木除去事業
- 農林業被害抑止のための鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業

関連計画等

計画名等	計画期間
中部山岳地域森林整備計画	令和 3 年度～令和 13 年度
麻績村森林整備計画	令和 3 年度～令和 13 年度
麻績村鳥獣被害防止計画	令和 2 年度～令和 5 年度 (次期) 令和 5 年度～令和 8 年度
長野県森林づくり指針	令和 5 年度～令和 14 年度

重点戦略

ゼロカーボン

- ▶ 木材利用・森林整備での森林の再生による CO2 吸収量増加

DX

- ▶ 有害鳥獣捕獲従事者負担軽減のため、捕獲用遠隔通信機等の導入による労働の軽減

用語解説

有害鳥獣 … 人畜や作物に被害を与える鳥獣のこと。クマ、ニホンジカ、イノシシ、ハクビシン、カラスなどが被害をもたらす場合に指定されます。



GOAL

目指す姿

商工会と連携した起業支援、雇用の創出、商工業の活性化を目指します。

現状と課題

- ☑ 新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症の流行など、ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応した、危機に強い事業の展開や新たなビジネススタイルに対応した商工業者への支援が求められるなか、後継者不足も課題となっています。
- ☑ 地域活性化のためにも商工会と連携し、新たな支援や環境づくりが求められています。

主な施策方針と関連事業

01 ー 主な施策方針

- 商工業者や他業種と連携して、イベントなどの事業支援を推進します。
- 商工会と連携して若い後継者の育成支援、聖高原駅前整備と併せた空き店舗の活用策を検討し、新規事業者の起業を促し商工業の活性化を図ります。
- 新しい働き方（ニューノーマル）がさらに進展することを踏まえた、企業誘致、起業支援の推進を図ります。
- 企業の体質強化を図るため、各種制度を有効活用した支援を推進します。
- 地域特性を活かした特色ある産業の掘り起しや後継者の育成支援などを行い、商工業の活性化を図ります。
- 商工業者による販路拡大のための Web 活用に対して、商工会と連携した支援をします。
- 長野県から提供される企業の用地探索情報などを的確に捉え、企業誘致に努めます。

02 ー 関連事業

- 商工業指導事業
- 商工業振興対策事業
- 商工業労務対策事業

関連計画等

計画名等	計画期間
経営発達支援計画	令和2年度～令和7年度
事業継続力強化支援計画	令和4年度～令和5年度

重点戦略

ゼロカーボン

- ▶ 空き店舗の活用を踏まえた新しい企業誘致、起業支援

DX

- ▶ Web を活用したリモートによる創業支援等の実施



用語解説

ニューノーマル … 社会に大きな変化が起こり、変化が起こる以前とは同じ姿に戻ることができず、新たな常識として定着することです。



GOAL : 自然や歴史といった地域資源を生かした誘客を引き続き行うとともに、新たなニーズに対応
目指す姿 : した観光施策に取り組むことにより、持続可能かつ発展性のある観光事業を目指します。

現状と課題

- ☑ 開発から 60 年以上が経過する別荘地事業は、高齢化や世代交代などで分譲区画が減少傾向にあるため、別荘利用者に配慮しつつ効率的な運営が必要となっています。
- ☑ コロナ禍において観光トレンドが変化している中、アフターコロナを見据えた受け入れ環境の充実を図る必要があります。
- ☑ 新型コロナウイルス感染症は観光事業に深刻なダメージを与えています。大人数での旅行や会食が減少していることを踏まえ、多様なニーズに合わせた施設運営が必要です。
- ☑ 村内各観光施設も 30 年以上経過しているため、安全で快適な観光をしてもらえるよう適切な施設整備が必要となっています。
- ☑ 日帰り観光客の比率が高いため、滞在型観光の構築が必要となります。

主な施策方針と関連事業

01 - 主な施策方針

- 費用対効果の高い別荘地に取り組みます。
- コロナ後のインバウンド需要、施設利用者の多様なニーズに対応した施設整備・運営を進めます。
- 施設利用者に安心安全を提供できるよう施設整備を進めます。
- 近隣市町村や関係機関と連携し、広域的な観光推進体制の構築、滞在型観光の促進に取り組みます。
- 聖高原内や村内宿泊施設に電気自動車充電設備やレンタサイクルなど、ゼロカーボンに向けた取り組みを検討します。
- 認知度を高めるため、インターネットやマスコミなど、各メディアがもつ特性を活用し、プロモーションの工夫と充実に取り組みます。

02 - 関連事業

- | | |
|--------------|-----------|
| ● 聖高原別荘地事業 | ● 信濃観月苑事業 |
| ● 観光施設整備事業 | ● 聖博物館事業 |
| ● 観光施設長寿命化事業 | ● 聖体育施設事業 |
| ● 観光施設指定管理事業 | ● 情報発信事業 |

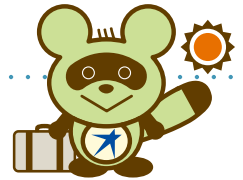
関連計画等

計画名等	計画期間
麻績村過疎地域持続的発展計画	令和 3 年度～令和 7 年度

重点戦略

ゼロカーボン ▶ 電気自動車充電設備導入の検討

DX ▶ SNS 等各種媒体を活用した情報発信



GOAL
目指す姿

住民の生命、財産を守るために災害に強い村づくりを推進します。
災害に備えた体制を強化するとともに、住民の防災意識の高揚を図り、安全に暮らせる村づくりを目指します。

現状と課題

- ☑ 近年、台風や集中豪雨による水害や土砂災害など、大規模な災害が全国各地で発生しています。また、糸魚川 - 静岡構造線断層を震源とする大規模な地震災害の発生も懸念されています。
- ☑ 大規模な災害に対して行政と住民が協働して被害軽減対策を図ることが重要です。また、日頃から一人ひとりが自らの安全確保、要配慮者に対する配慮や実践的な防災知識を身につけることが重要です。
- ☑ 人口の減少により消防団員の確保が困難になっているほか、村外への通勤者が大半であることから、昼間における消防力の低下が課題となっています。
- ☑ 村は急峻な地形のため、ひとたび自然災害が起こると大きな被害につながる恐れがあり、住民が安全で快適に暮らしていくためには、治山事業及び治水事業の対策は大変重要なものです。
- ☑ 村内には多くのため池があり、自然災害を起因として、大きな水害につながる恐れがあります。このため、適切な維持管理の他、老朽化あるいは耐震性・豪雨耐性が十分でないため池について改修・廃止等の対策を講じる必要があります。

主な施策方針と関連事業

01 - 主な施策方針

● 防災

- ・防災活動を的確かつ円滑に実施するため、防災関連機関相互の協力体制の推進を図ります。
- ・円滑な防災活動が遂行できるよう施設、設備、資機材等の整備を図ります。
- ・防災拠点の整備に努めるとともに、指定避難所等の開設・運営に必要な資機材の整備を図ります。
- ・地区自主防災組織と連携した訓練の実施など、自主防災力の向上に努めるとともに防災意識の高揚を図ります。

● 消防

- ・消防団員の減少やサラリーマン団員の増加に対処するため、事業計画の見直し、積極的な女性消防団員の採用要件や処遇改善を図るなど、魅力的な消防団づくりに努めます。

● 治山・治水

- ・保安林機能が低下した森林の機能を回復するため、除間伐による健全な森林への誘導や下刈、補植などの森林整備を行い、現地発生材利用による環境に配慮した簡易治山施設の整備を行います。
- ・山腹崩壊危険地や浸食により荒廃の兆しのある山地において、災害防止のため、治山堰堤の整備や植栽工などを行います。
- ・ため池については機能評価を実施し、必要に応じた事業を順次進めます。

- 河川**
 - 河川整備の取り組み（堤防整備、河床掘削等）を進めます。
 - 雨水貯留等の取り組みを検討します。
- 砂防**
 - 豪雨等による土石流対策として、溪流整備や堰堤整備などの砂防事業を推進します。
 - 麻績川をはじめとする河川について、関係機関と連携して災害防止に努めます。また、地域で行う河川整備等を支援し、水に親しむ環境づくりを推進します。

02－関連事業

- 防災・消防**
 - 防災訓練
 - 消防団訓練会
- 治山・治水**
 - 県営治山事業
 - 農業水路等長寿命化・防災減災事業
 - 村営簡易治山事業
 - 農村地域防災減災事業
- 河川**
 - 緊急浚渫推進事業
 - 河川愛護活動

関連計画等

計画名等	計画期間
長野県流域治水推進計画	令和 3 年度～令和 7 年度
麻績村地域防災計画	平成 10 年 3 月 1 日から随時改定
防災重点農業用ため池に係る防災工事等推進計画	令和 4 年度～令和 12 年度

重点戦略

ゼロカーボン
▶ 避難施設における再生可能エネルギーの導入

DX
▶ 情報発信、情報伝達の強化、充実



用語解説

保安林 … 水源のかん養、土砂の崩壊その他の災害の防備、生活環境の保全・形成など、特定の公共目的を達成するため、農林水産大臣又は都道府県知事によって指定される森林のことです。保安林では、それぞれの目的に沿った森林の機能を確保するため、立木の伐採や土地の形質の変更などが規制されます。



GOAL : 交通事故防止対策や防犯対策に取り組み、誰もが安心して安全に暮らせる村づくりを目指し
目指す姿 : ます。

現状と課題

- ☑ 全国的に子どもが関係する事故や高齢運転者による交通事故の増加が課題となっています。
- ☑ 交通量の増加等により通学路における安全対策が必要な箇所への対策が必要となっています。
- ☑ 近年、ネット犯罪や電話による特殊詐欺が多様化し、新たな犯罪が増える中で特に被害にあう可能性が高い青少年や高齢者の防犯意識の向上が必要となっています。

主な施策方針と関連事業

01－主な施策方針

- **交通事故の防止**
 - ・交通事故を防止するため、設置要望が多い場所や事故が起こりやすい場所を中心に道路反射鏡などの交通安全施設の整備に努めます。
 - ・通学路の安全対策のため関係機関が連携した「通学路安全対策推進会議」により必要な対策を協議します。
 - ・交通安全に対する意識を高めるため、交通安全関係団体と協力し、保育園児や小・中学生、高齢者を対象とした交通安全教室や啓発活動を実施して、交通事故の防止に努めます。
- **防犯事業の推進**
 - ・青少年及び高齢者による犯罪被害を防止するため、青色防犯パトロールの実施や安曇野警察署などの関係機関と連携を図ります。
 - ・防犯灯や防犯カメラの設置を推進して、防犯対策に努めます。

02－関連事業

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 交通安全の日の街頭啓発 ● 麻績村通学安全推進会議 ● 青色防犯パトロール | <ul style="list-style-type: none"> ● 交通安全運動 ● 保育園、小・中学校での交通安全教室 |
|---|---|

重点戦略

ゼロカーボン	▶ 街灯の省エネルギー化
.....	
DX	▶ ビックデータやデジタル技術を活用した事故危険個所の把握と対策



GOAL : 生活環境の保全、風俗環境の保全及び公害の防止に努め、豊かで美しい自然を守り、住みよ
目指す姿 : い地域の環境保全を目指します。

現状と課題

☑ 生活環境や生活習慣の大きな変化により、様々な環境問題が危惧されている現状です。村においても豊かで美しい自然を守るためには、行政の指導だけでなく、住民自らの意識の向上と実際に行動することが求められています。

主な施策方針と関連事業

01－主な施策方針

- 環境保全審議会の開催や、地区環境美化協力員の協力により、住民の環境問題に対する意識向上の啓発活動を実施します。
- 生ごみの減量化や再資源化の「循環型社会」を構築するため、生ごみ処理槽設置に対する補助金交付事業や、地域循環型堆肥化施設の運用を進めます。
- 住民のリサイクル・リユース意識の啓発に努め、ごみの発生抑制と分別の徹底を進めます。
- プラスチックマークの無いプラスチック製品のリサイクル収集方法の検討を進めます。

02－関連事業

- 地域循環型堆肥化施設事業
- 麻績村ごみ減量化再資源化事業補助金交付事業
- 麻績村環境衛生施設整備事業補助金交付事業

関連計画等

計画名等	計画期間
麻績村一般廃棄物処理基本計画	平成 26 年度～令和 5 年度（以後、10 年ごとに見直し）
麻績村分別収集計画	令和 2 年度～令和 4 年度 令和 5 年度～令和 7 年度（3 年ごとに見直し）

重点戦略

ゼロカーボン

- ▶ ごみ削減による脱炭素化、食品ロスの削減、環境破壊・気候変動に関する周知啓発

DX

- ▶ 情報発信の強化



用語解説

循環型社会 … 廃棄物の発生抑制と循環利用により、自然界から採取する資源の消費を抑え、環境負荷を低減される社会のことです。



GOAL 目指す姿

- 交通弱者の利便性を図り、行政福祉サービスの向上を目指します。
- 「住んでよかった」、「これからも住みたい」という思いを住民一人ひとりに実感してもらうために、より安心、安全な生活基盤を整え、住みよい村づくりを推進します。

地域公共交通

現状と課題

- ☑ 地域に密着した運行システム構築のため、村営バス利用者の意見や住民の要望を幅広く聞き、安全で利用しやすい交通弱者の足としての利便性が図られるよう改善を図っていますが、村営バスの利用状況は減少傾向が見受けられます。
- ☑ 村営バスの運行状況や利用状況などを把握・検証し、運行路線や運行時間の見直しなどを的確に行っていく必要があります。
- ☑ 福祉バスは運行日程が地区ごとに限定され、利用者の望む日時に利用できないため、利用者の減少傾向が見受けられます。
- ☑ JR 長野支社に篠ノ井線の複線化等の要望を行っていますが、利用者の減少などにより、実現は難しい状況にあります。
- ☑ JR を利用する観光客の交通手段や村営バス運休時の代替手段として、タクシーも重要な役割を担っています。

主な施策方針と関連事業

01 - 主な施策方針

- JR や村営バスなど、地域の持続・発展のために重要な交通手段について、さらなる利用促進を図るため、利用しやすい地域公共交通の仕組みづくりに努めます。
- 村営バス利用者の意見や住民の要望を聞き、運行路線や運行時間の見直しを検討します。
- 福祉バス、JA のお買い物バスなど地域内を運行するバスや、近隣自治体のバスとの連携について検討し地域公共交通の充実を図ります。
- タクシーや福祉有償運送など、高齢者や障がい者が利用しやすい交通手段の確保に努めます。

関連計画等

計画名等	計画期間
麻績村過疎地域持続的発展計画	令和3年度～令和7年度

重点戦略

ゼロカーボン

- ▶ 排出ガス軽減車両の導入
- ▶ 福祉バスの効率的な運行による走行距離の短縮

DX

- ▶ 情報発信の強化

道路網

現状と課題

- ☑ 国道、県道といった幹線道路については道路改築に併せて歩道設置など、交通安全対策も順次進められています。この幹線につながる村道についても狭あい部の解消などを図り、長寿命化を念頭に、計画的に維持、修繕を進めていく必要があります。

主な施策方針と関連事業

01－主な施策方針

- 長野県地域防災計画上でも「震災対策緊急輸送路」として位置づけられている国道、県道について、拡幅・線形改良・歩道新設など、早期着手・早期完成を強く働きかけていきます。
- 村道の改築については中長期的な視野をもち、十分な財源の確保を図って計画的に進めていきます。
- 各地区の生活道路については日常生活に直結することから、危険度、緊急度の高いものについては早期に対策を講じるとともに、日常的な草刈りや冬期間の除雪については地区住民による「共助」を推進し、村との協働による持続可能な環境整備を目指します。

02－関連事業

- 村道改良工事
- 村道維持補修工事
- 道路等維持管理（除雪）作業
- 橋梁補修工事
- 橋梁点検作業

重点戦略

ゼロカーボン

- ▶ 一括発注、新技術等の活用によるコスト縮減
- ▶ 工事現場における週休2日制の導入

DX

- ▶ 村道通行止め等のリアルタイム情報の発信

現状と課題

- ☑ 村の重要なライフラインである水道については、安全な水を安定して供給することが重要です。このため、施設の改修・更新を計画的に進める必要があります。その際には、近年頻発する豪雨災害や地震災害等に耐えうる施設整備が重要となります。
- ☑ 人口減少に伴う給水量、使用料収入の減少が懸念され、事業の運営が厳しくなっていくことが予測されます。
- ☑ 既存の施設・管路については防災（耐震化）・長寿命化を考慮し、計画的に更新を進めていく必要があります。

主な施策方針と関連事業

01 ー 主な施策方針

- 基幹事業の内容を精査し、統合等を検討し効率的な施設運営を進めます。
- 安全な水の安定供給のため、国庫補助を活用し計画的な施設・設備の改修・更新を進めます。
- 国が推進する広域連携について、関係市村と協調し検討を図ります。
- 施設及び管路の耐震化等を進め、災害に強い事業運営を進めます。
- 国道・県道・村道の改良工事に併せ、老朽化した主要管路については計画的に更新を進めます。

02 ー 関連事業

- 村道改良工事
- 浄水施設新設、更新工事
- 管路更新工事

関連計画等

計画名等	計画期間
麻績村過疎地域持続的発展計画	令和 3 年度～令和 7 年度
辺地に係る公共的施設の総合整備計画	令和 3 年度～令和 7 年度
水道事業経営戦略	令和 4 年度～令和 8 年度

重点戦略

ゼロカーボン	▶ • 新技術等の活用による電力コスト縮減
.....	
Dx	▶ • 断水・復旧状況のリアルタイム情報の発信 • 水道台帳のデジタル化により効率的な維持管理を推進

下水道

現状と課題

☒

下水道事業を開始した平成 11 年度から施設・管路については 20 年以上が経過し、今後の維持管理経費の増加が懸念されます。

☒

村内で排出されたし尿、農業集落排水施設汚泥、浄化槽汚泥は麻績アクアセンターにし尿等投入施設を整備し、受入れを行い効率的な下水道事業の運営に努めてきましたが、人口減少に伴う排水量、使用料収入の減少が懸念され、事業運営が厳しくなっていくことが予測されます。

☒

既存の施設（設備）・管路については防災（耐震化）・長寿命化を考慮し、計画的に更新を進めていく必要があります。

☒

農業集落排水事業については、人口減少により将来的には単独での事業運営が厳しくなることが予測され、事業の継続や公共下水道への統合等を検討していかなければなりません。

☒

生活排水処理事業（浄化槽整備事業）においては継続的に適正な維持管理に努め、施設の長寿命化を図っていく必要があります。

主な施策方針と関連事業

01 - 主な施策方針

- 環境保全のために村の水洗化率の向上を図ります。
- 麻績アクアセンターの設備、マンホールポンプについては計画的にオーバーホールを行い、長寿命化を進めます。
- 計画的に管路（幹線）の洗浄・調査を行い、長寿命化を進めます。
- 将来的な人口減少を考慮し、農業集落排水事業の継続・統合を検討していきます。
- 生活排水処理事業について、計画的に設備のオーバーホールを行い、適正な維持管理に努めます。

02 - 関連事業

- 施設改良工事
 - 施設新設
- 更新工事
 - 管路更新工事

関連計画等

計画名等	計画期間
麻績村過疎地域持続的発展計画	令和 3 年度～令和 7 年度
下水道事業経営戦略	令和 4 年度～令和 8 年度

重点戦略

ゼロカーボン

- ▶ 新技術等の活用による電力コスト縮減

DX

- ▶ 下水道台帳のデジタル化により効率的な維持管理を推進



用語解説

オーバーホール … 機械や装置の分解・点検を行い、必要に応じ修理・部品交換などの処置を行うことで新品同様の性能状態にすることです。

GOAL
目指す姿

美しい自然を保護し、快適な生活環境が保たれた土地利用を目指します。

土地利用

現状と課題

- ☑ 麻績村は、総面積 34.38 km²のうち、農用地が 17%、住宅地 8%、山林原野等 75%という状況で、傾斜地が多いことが特徴です。

主な施策方針と関連事業

01 - 主な施策方針

- 村の大部分を占める山林は、土砂災害、洪水災害などから住民を守るため、また貴重な水資源を確保するため引き続き自然環境の保全に努めます。
- 村は常にその豊かで美しい自然を保護する観点から土地の利用計画を進めてきました。「農業振興地域の整備に関する法律」における農用地区域の見直しを行い、長期的な構想のもとに土地利用の検討を進めます。

地籍調査

現状と課題

- ☑ 土地に関する記録の資料として現在も利用されている「登記簿」や「公図」の一部には、明治初期の地租改正のときに作成されたものもあり、当時の測量技術の低さと長い年月を経た状況の移り変わりにより、現状と異なる箇所が少なからず存在しています。
- ☑ 調査の中で隣接する土地所有者同士で確定させた境界に、精度の高い測量を行い、土地の正しい位置と形、地番、地目、面積などを現状に合せ、正確な地図（地籍図）を作成しています。
- ☑ 境界が明確とならない土地が残ると自然災害等の復旧に多くの時間を費やし個人間での境界紛争に発展するなど村として多くの問題が発生する恐れがあります。
- ☑ 高齢化や村外在住及び所有者不明土地の発生により、現地での境界立会いが困難になることも予想されるため対応策を検討する必要があります。

01－主な施策方針

- 事業の目的、効果を住民と共有し、十分な理解を得ながら調査を計画的に進めます。
- 事業の円滑、迅速な推進が土地所有者の財産を守ることにもつながるため、十分な財源の確保を図りつつ関係機関と連携を密にして取り組みます。
- 「地理情報システム（GIS）」のベースとなる地図情報として利活用できるよう調査を進めます。

関連計画等

計画名等	計画期間
第7次国土調査事業十箇年計画	令和2年度～令和11年度

GOAL : 移住、定住しやすい環境づくりに努め、「住んでみたい、住み続けたいむら麻績村」の実現
目指す姿 : を目指します。

現状と課題

- ☑ 若者を対象とした住宅の整備施策を推進したことや地域おこし協力隊を受け入れることにより、移住者の増加につながっていますが、引き続き移住施策を推進していく必要があります。
- ☑ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、対面での移住相談会の開催が難しい状況が生じており、今後は、ホームページを活用するなどして、移住相談者の求めている情報を常に発信していくことが必要です。
- ☑ 住宅整備については限界があることから、村内にある空き家を活用し、移住者を受け入れるための施策が必要です。
- ☑ 村に「住みたい」「住み続けたい」と感じてもらえる村づくりを進めるために、住民と移住者が交流できる場の創出が必要です。

主な施策方針と関連事業

01－主な施策方針

- 若い人が定住できる住宅整備を進めます。
- 松本公共職業安定所（ハローワーク松本）と連携し、移住希望者への就職支援を行います。
- 若者家族や移住者を優先した入居策事業を推進します。
- 暮らし案内ツアーを積極的に行うほか、移住体験住宅を活用して村の魅力を伝え移住定住促進を図ります。
- 村内の空き家を活用するため専従者による情報収集を行い、空き家バンク登録数を増やす移住定住策を推進します。
- 単独または広域で行う移住相談会に積極的に参加し、村のアピールを行い移住者の増加を図ります。

02－関連事業

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| • 移住就業 | • 起業支援事業 |
| • 桑山地区移住定住促進住宅整備事業 | • 空き家情報登録 |
| • 空き家改修及び片づけ等事業補助 | • 空き家活用若者定住促進住宅 |
| • 若者定住促進住宅 | • 移住体験住宅 |
| • 移住相談会開催 | |
| • 村内に増えつつある空き家対策と合わせ、空き家活用に関わる事業 | |

重点戦略

ゼロカーボン

- ▶ • 空き家の利活用の推進

DX

- ▶ • 情報発信、オンラインによる移住相談会
- ▶ • テレワーク施設の活用と公共施設 Wi-Fi 化促進



GOAL : 地域コミュニティ活動をととし、住民と行政が協働して、自助・共助による持続可能な地域
目指す姿 : 社会を目指します。

現状と課題

- ☑ 少子高齢化による人口減少により、地域の自治活動に支障が生じる状況となっており、集落の再編なども検討していく必要があります。
- ☑ 新型コロナウイルス感染症によって、地域のコミュニティが希薄化しているなかで、新たな関わり方を取り入れたコミュニティの維持活動を行う必要があります。
- ☑ 大規模な災害発生時には、隣近所の助け合いが必要なことから、常日頃からの住民のつながりを深めておく必要があります。
- ☑ 地域おこし協力隊などの移住者を交えた地域活動が必要であり、移住者に選ばれる村となる必要があります。

主な施策方針と関連事業

01 – 主な施策方針

- 移住施策を進め人口減少を鈍化させるとともに、とりわけ若年層の移住に注力することで、学校や行事など、子育てを通じて人とのつながりを再構築し、課題解消を図ります。
- 自治活動を積極的に支援します。
- 外部人材を活用する仕組みづくりに努力します。
- 関係人口を増やすための施策を推進します。

02 – 関連事業

- 自治活動補助金
- 花いっぱい活動補助金
- 集落支援員制度
- 村づくり活動補助金
- ふるさと麻績村応援団交付金事業
- 地域おこし協力隊制度

重点戦略

ゼロカーボン ▶ 区長配布時の減量化

用語解説

関係人口 … 地域と多様にかかわる人々（行き来する人、村にルーツのある人、何らかの関りがある人）を指します。

GOAL
目指す姿

地域課題の解決に向けて、「住民と協働による村づくり」を目指します。

現状と課題

- ☑ 少子高齢化や人口減少は、地域課題を複雑化し行政や地域だけで解決することができない状況となっています。
- ☑ 住民と協働による村づくりを推進し、多様化する社会に対応できる地域環境整備を推進していくことが重要です。
- ☑ 人口減少や少子高齢化により、「共助」よりも「公助」を求める傾向にあります。

主な施策方針と関連事業

01－主な施策方針

- ・住民が行政に参加できるような機会や体制づくりに努めます。
- ・地域づくり活動を推進するため、情報発信や支援体制の充実を図ります。
- ・各種の計画づくりには、計画段階から住民が参加した体制づくりに努めます。
- ・住民の生きがいづくりや、地域コミュニティの活性化を図ることで「自助・共助」を高めます。

02－関連事業

- ・各種の審議会、委員会
- ・行政懇談会の開催
- ・社会福祉協議会の健康教室の他、オンラインの活用など、「いつでも」「誰でも」行政の取り組みに参画できるよう DX を推進する。

関連計画等

計画名等	計画期間
第7次麻績村振興計画（前・後期基本計画）	令和5年度～令和14年度
麻績村過疎地域持続的発展計画	令和3年度～令和7年度

重点戦略

DX

- ▶ オンラインによる場所や時間に縛られない取り組み

GOAL : 住民へのきめ細かな情報提供に向け、情報発信力の強化と ICT を活用した利便性の向上を
目指す姿 : 目指します。

現状と課題

- ☑ ホームページによる情報発信などを行ってきましたが、情報管理の徹底がなされず、十分な情報を伝えることができていません。また、誰でも検索しやすいホームページを構築することが必要です。
- ☑ 住民にわかりやすいようカラーページを増やすなど、広報紙の編集を工夫していく必要があります。
- ☑ 情報通信基盤の整備や住民の情報活用能力の向上など、地域の情報化施策を推進する必要があります。
- ☑ 必要な情報を必要としている人に届けるために、多様な情報媒体を活用し効果的・効率的に情報発信をしていく必要があります。
- ☑ 情報化の進展に伴い、個人情報の流出などが社会問題となっていることから、個人情報保護・情報セキュリティ対策のさらなる取り組みが求められています。

主な施策方針と関連事業

01－主な施策方針

- インターネットを利用した電子申請サービスやマイナポータルを利用したサービスを推進します。
- ホームページを村の総合情報発信源として、見やすく・分かりやすい情報発信に努めます。
- 必要な情報を分かりやすく伝える広報紙の発行に努めます。
- 情報通信基盤の整備を進めます。
- 同報無線の設備更新を進めます。
- YouTube 配信やメール等 SNS を活用した情報発信に努めます。
- 情報セキュリティポリシーに基づき情報管理の徹底を図ります。

02－関連事業

- パブリックコメント制度の活用
- 行政懇談会の開催
- ホームページ開設
- 広報紙発行
- 同報無線放送

重点戦略

ゼロカーボン

- ▶ 情報通信基盤の省エネルギー化

DX

- ▶ 情報発信、情報伝達の強化、充実
- ▶ 村ホームページの管理
- ▶ 広報紙のホームページ掲載
- ▶ 同報無線のデジタル化



用語解説

ソーシャル・ネットワーク・サービス（SNS） … Web 上で社会的ネットワークを構築可能にするサービスのことです。 **Web** … インターネット上で提供されているハイパーテキストシステムのことです。 **ハイパーテキストシステム** … コンピューターを利用した文書作成・閲覧システムの一つで、複数の文書を相互に関連付け、結び付ける仕組みのことです。 **パブリックコメント** … 公的機関が広く公に意見・情報・改善案などを求める手続きのことです。 **情報セキュリティポリシー** … 企業や組織において実施する情報セキュリティ対策の方針や行動指針のことです。どのような情報資産をどのような脅威から、どのようにして守るのかについて基本的な考え方、情報セキュリティを確保するための体制、運用規定、基本方針、対策基準などを規定しています。

GOAL
目指す姿

住民ニーズを捉えたサービスを提供するとともに、健全な財政運営の維持を目指します。

現状と課題

- ☑ 近年、社会経済情勢の変化が激しく、複雑多様化する地域課題や住民ニーズに柔軟に対応するため、行政組織の見直しや適正な職員配置、人材育成に努めることが必要です。
- ☑ デジタル技術やデータ等を活用した業務の高度化・効率化の推進や、マイナンバーカードを活用した行政サービスの向上が求められています。
- ☑ 今後は、人口の減少による税収の減収や高齢化の進行による扶助費等の増加などにより、厳しい財政状況が続くことが見込まれます。

主な施策方針と関連事業

01 - 主な施策方針

• 行政

- ・複雑多様化する住民ニーズに、迅速的確に対応できるよう、行政組織や広域行政化を含めた事務事業の見直しを図ります。
- ・計画的な職員採用により、職員数の適正化に努めるとともに人材育成に努めます。
- ・マイナンバーカードを活用したコンビニ交付事業や窓口業務のデジタル化の検討を進めます。
- ・職員の健康管理やメンタルヘルスに対する意識の向上を図ります。

• 財政

- ・経常経費の節減に努めるとともに、補助金、交付金などの特定財源を確保し、効率的・計画的な財政運営に努めます。
- ・課税客体の的確な把握に努めるとともに、納税意識の高揚を図り収納率の向上に努めます。
- ・新たな地方公会計制度に基づく財務諸表を作成し公表に努めます。

関連計画等

計画名等	計画期間
公共施設総合管理計画	令和元年度～令和 16 年度
麻績村過疎地域持続的発展計画	令和 3 年度～令和 7 年度

重点戦略

ゼロカーボン

- ▶ 公共施設における再生可能エネルギー・蓄電池の導入
 - ▶ EV 車両の導入
-

DX

- ▶ AI や RPA 等の導入による業務効率化の推進

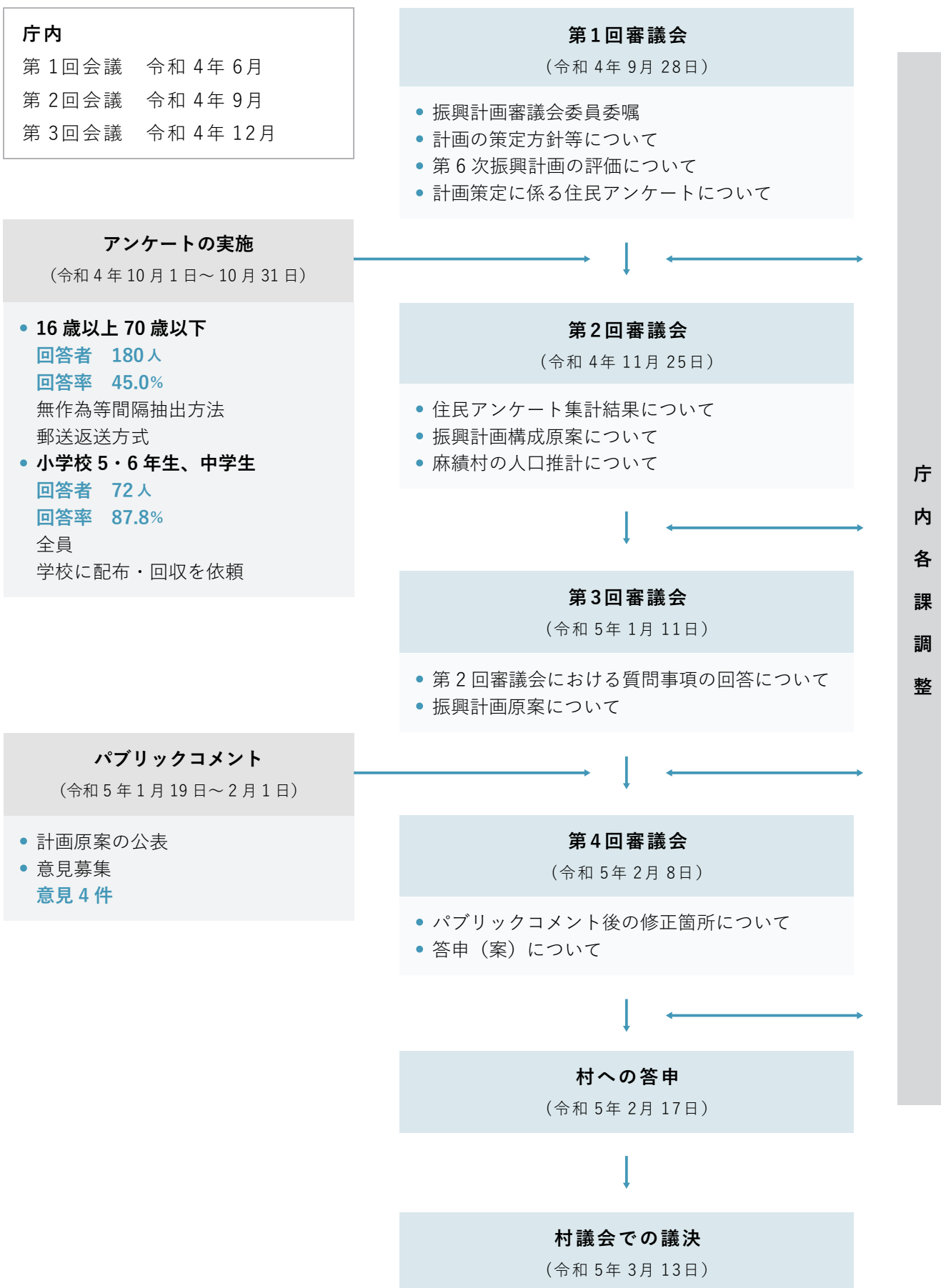
用語解説

AI …「Artificial Intelligence」の略で人工知能を指し、データの処理や分析を機械に任せることです。 **RPA** …「Robotic Process Automation」の略で、手作業で行っていた定型作業を自動化することです。

04

付属資料

麻績村振興計画策定に向けた取り組み



麻績村振興計画審議会条例

改正 平成 14 年 7 月 5 日 条例第 14 号

(趣旨)

第 1 条 この条例は、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 の規定に基づき、麻績村振興計画審議会の設置および運営に関する事項を定めるものとする。

(設置)

第 2 条 麻績村長の諮問に応じ、麻績村振興計画に関し必要な審議を行うため、麻績村振興計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(組織)

第 3 条 審議会は委員 21 人以内で組織する。

2 委員は次の各号のうちから村長が委嘱する。

- (1) 議会議員
- (2) 教育委員
- (3) 農業委員
- (4) 団体代表
- (5) 学識経験者
- (6) その他村長が特に必要と認める者

(会長)

第 4 条 審議会に会長を置き委員が互選する。

- 2 会長は会務を総理する。
- 3 会長に事故あるときは、あらかじめ会長が指名した委員がその職務を代理する。

(任期)

第 5 条 委員の任期は 3 年とする。ただし補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第 6 条 会議は、会長が招集し会長が議長となる。

- 2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

附 則 この条例は、公布の日から施行する。

附 則 この条例は、公布の日から施行する。（平成 14 年 7 月 5 日条例第 14 号）

麻績村振興計画審議会 委員名簿

備考		氏名	役職等	備考
1号委員	議会議員	宮下 朗	議会議員	
1号委員	議会議員	塚原 利彦	議会議員	
2号委員	教育委員	小山 正文	教育委員	
3号委員	農業委員	柳原 三夫	農業委員会長	
4号委員	団体代表	宮尾 隆	商工会長	会長
4号委員	団体代表	久保田 芳永	松本ハイランド農協麻績担当理事	
4号委員	団体代表	内山 修治	公民館長	
4号委員	団体代表	飯森 雅英	民生児童委員協議会長	
4号委員	団体代表	茂木 泰男	身体障害者福祉協会長	
5号委員	学識経験者	滝澤 浩史	ふるさとを元気にする会長	
5号委員	学識経験者	中山 一雄	麻績の市 あさつゆ運営管理組合長	
6号委員	村長が特に必要と認める者	宮川 幸子	合同会社 麻績おやきの会代表	
6号委員	村長が特に必要と認める者	宮下 昭久	OMIMO	
6号委員	村長が特に必要と認める者	久保田 秀昭	シニアクラブ連合会長	
6号委員	村長が特に必要と認める者	田中 信治	営農集団栽培組合長	
6号委員	村長が特に必要と認める者	谷口 ゆかり	おみ図書館・子育て	職務代理
6号委員	村長が特に必要と認める者	峯村 博行	子育て・商工業	
6号委員	村長が特に必要と認める者	瀬戸 祐子	子育て	
6号委員	村長が特に必要と認める者	清水 大	子育て・農業	
6号委員	村長が特に必要と認める者	沢木 亜有	地域おこし協力隊 OB・農業	
6号委員	村長が特に必要と認める者	稲葉 可奈子	育児サークル りんごほっぺ代表	

令和5年2月17日

麻績村長 塚原 勝幸 様

麻績村振興計画審議会

会長 宮尾 隆

第7次麻績村振興計画について（答申）

令和4年9月28日付けで諮問のありました、第7次麻績村振興計画について慎重に審議を重ねた結果、次の意見を付して答申します。

記

基本構想には、麻績村の将来像を『更なる飛躍を 心ときめく 麻績村へ』と決めました。

基本計画では、重点目標を以下の6項目を設定しましたので、心ときめく麻績村を目指し、計画実現に向けて施策を着実に推進されますよう要望します。

重点目標

1. 誰もが元気に健康で暮らせる 村づくり
2. 地域で育て未来に希望が持てる 村づくり
3. 産業を守り、育て、生かす 村づくり
4. 豊かな自然と共生し、地域で支えあう 村づくり
5. 安全で快適な空間づくりを目指す 村づくり
6. 新しい風を取り入れた持続可能な 村づくり

\\ 17の目標 //

持続可能な開発目標 SDGsに向けて

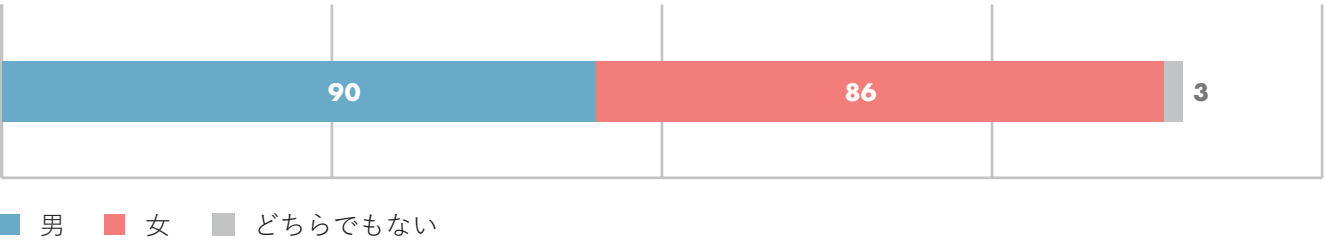


持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）別ウィンドウで開くの後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

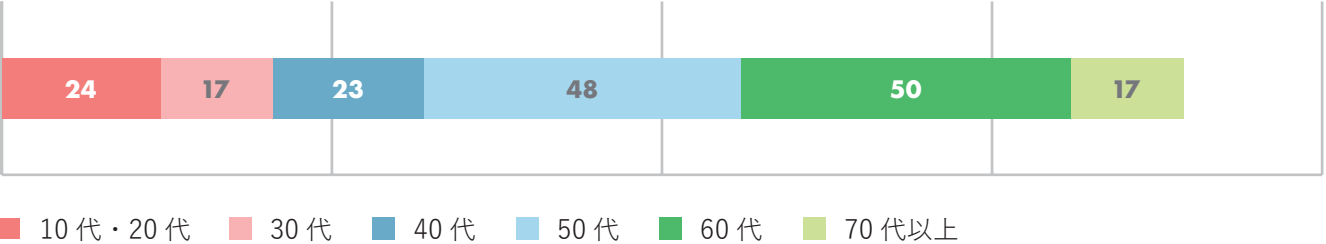
麻績村振興計画策定用住民アンケート（一般）集計結果

調査対象者	麻績村住民基本台帳に登録された 16 歳以上 70 歳以下の者（令和 4 年 10 月 1 日現在）
調査人数	400 人
抽出方法	①各年代別・男女別同数を抽出 ②無作為等間隔抽出
調査方法	郵送返送方式（無記名） 役場村民ホール / 地域交流センターロビーにアンケート用紙を設置
調査時期	令和 4 年 10 月
回答者数	180 人
回答率	45.0%

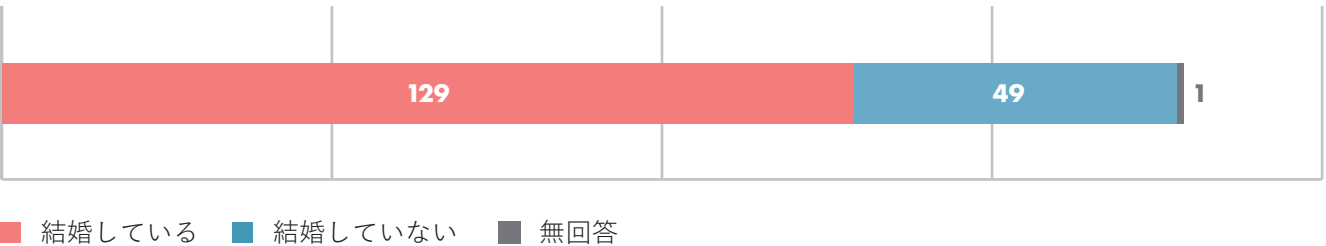
問01 あなたの性別をお答えください。



問02 あなたの年齢をお答えください。

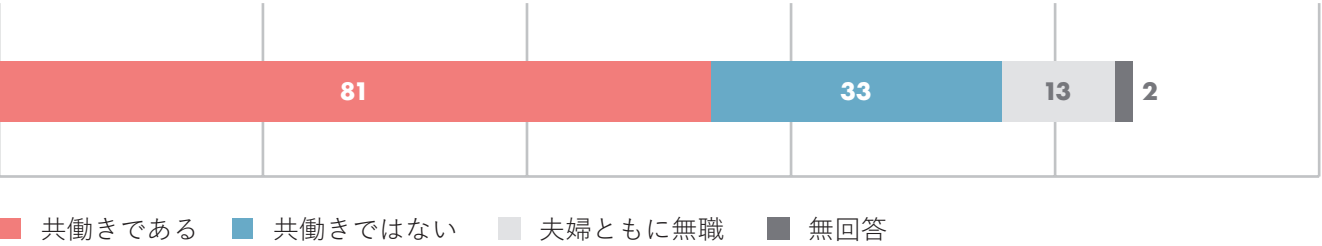


問03-1 婚姻の状況についてお答えください。



問03-2 あなたと配偶者のお仕事（パート・アルバイト含む）の状況についてお答えください。

※問 3-1 で「結婚している」と答えた方のみ回答

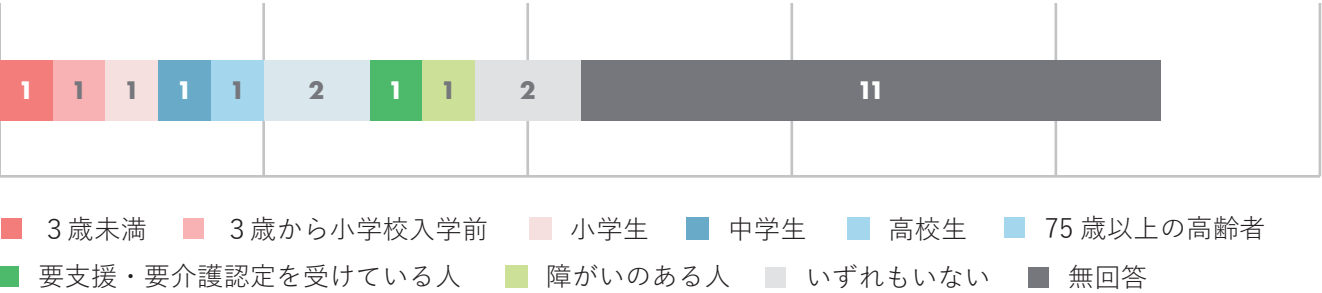


問04-1 同居しているご家族の構成についてお答えください。

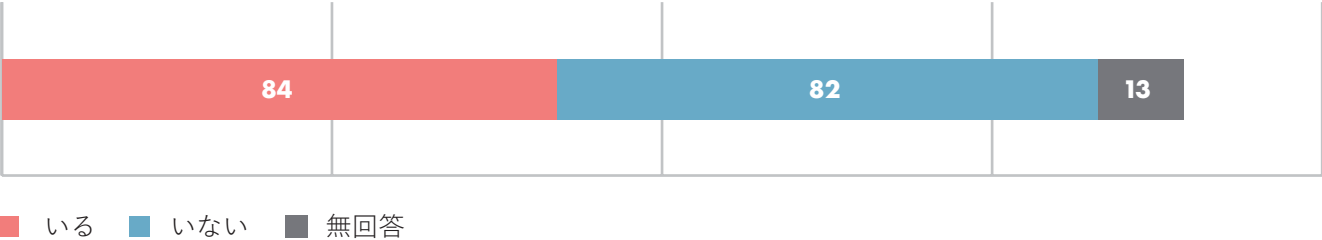


問04-2 同居しているご家族に以下の方はいらっしゃいますか。

※問 4-1 で「夫婦だけ」「親子」「親と子と孫」「その他」と答えた方のみ回答

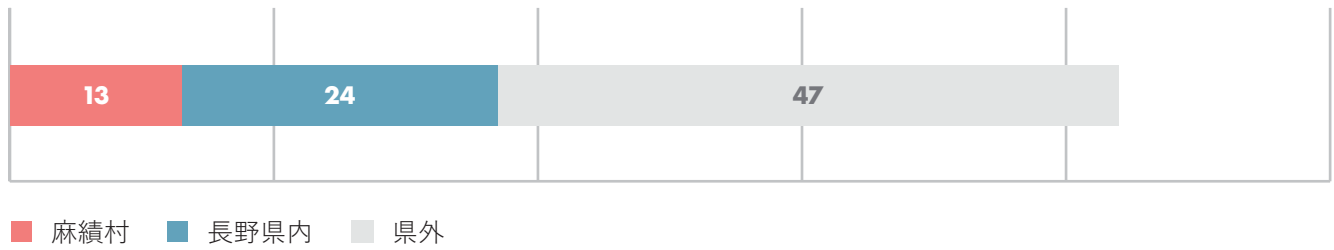


問05-1 同居していないご家族で未婚の方はいらっしゃいますか。

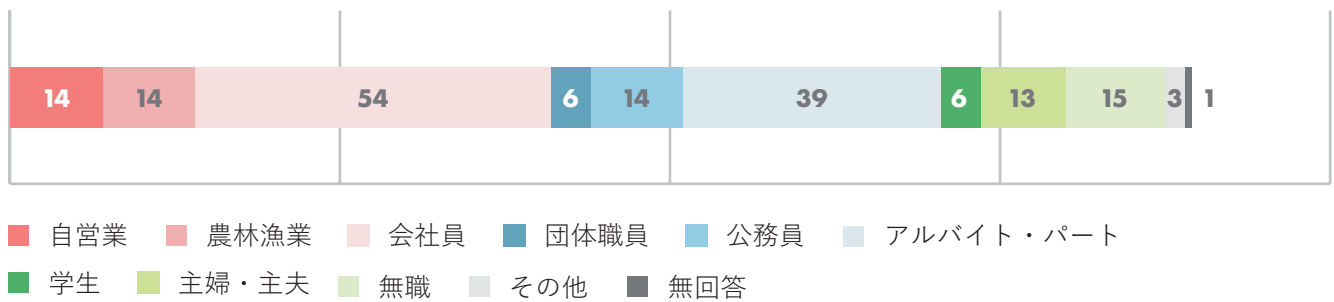


問05-2 その方の現在のお住まいをお答えください。

※問 5-1 で「いる」と答えた方のみ回答



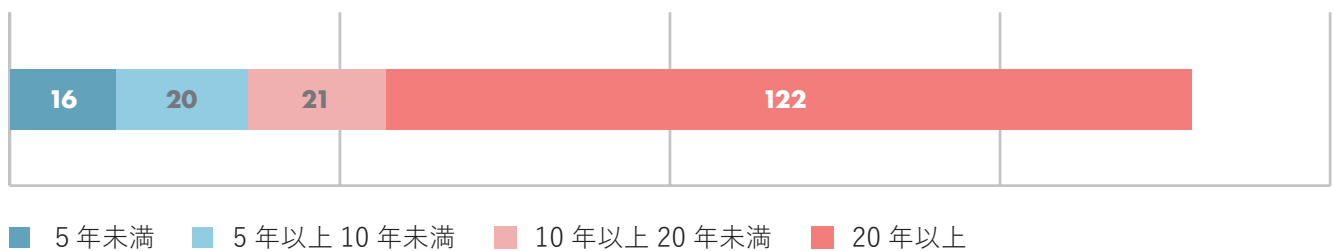
問06 あなたの主たる職業をお答えください。



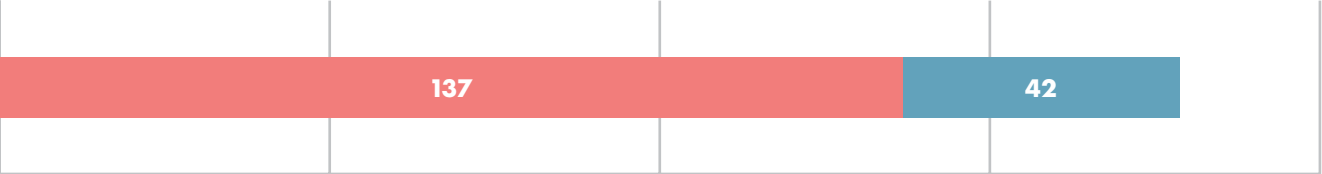
問07 あなたの就学先・勤務先をお答えください。



問08 あなたの村内での居住年数（※通算年数）をお答えください。

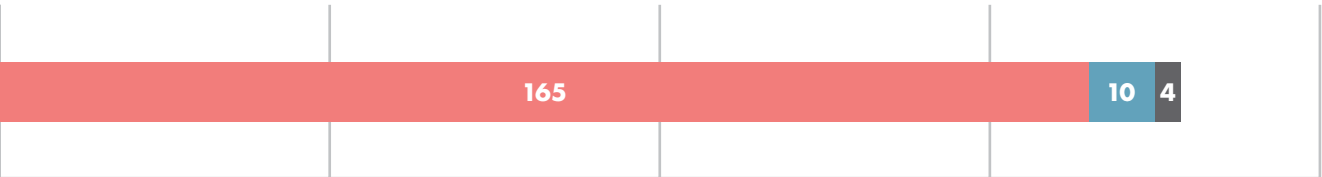


問09 あなたの居住地区をお答えください。



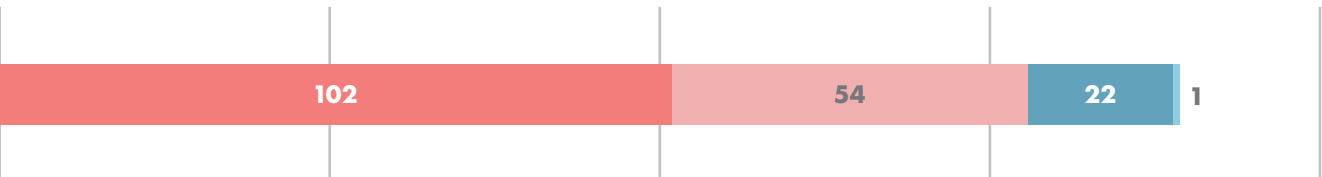
■ 麻績 ■ 日向

問10 区への加入の有無をお答えください。



■ 加入している ■ 加入していない ■ 無回答

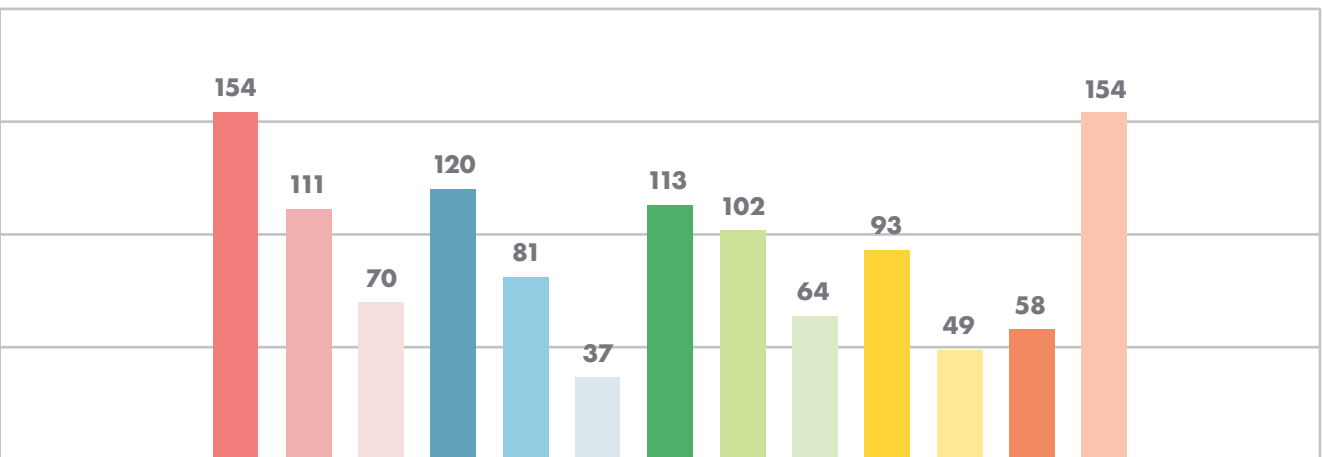
問11 あなたの出身地をお答えください。



■ 麻績村 ■ 長野県内 ■ 県外 ■ 海外

問12 あなたが日頃から意識的に取り組んでいる活動として、あてまるものをお答えください。

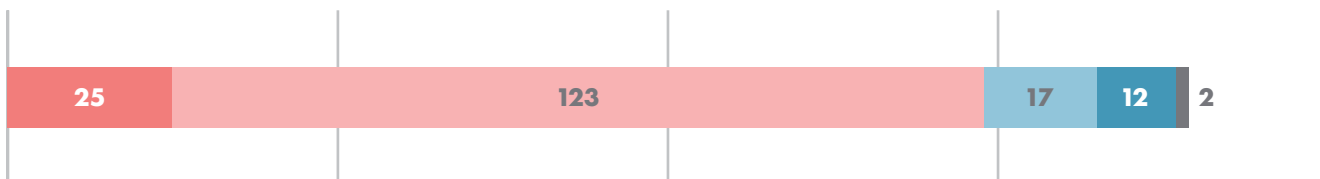
※複数回答可



■ 選挙の投票 ■ 広報紙を読む ■ 防災活動に参加 ■ 近所とのおつきあい
■ 子どもやお年寄りへの声かけ ■ 再生可能エネルギーを活用 ■ ごみの削減 ■ 自宅周囲の清掃
■ 村内での飲食や買い物 ■ 健康維持 ■ 趣味や生涯学習活動 ■ 防災グッズの準備や災害情報の収集
■ 安全運転

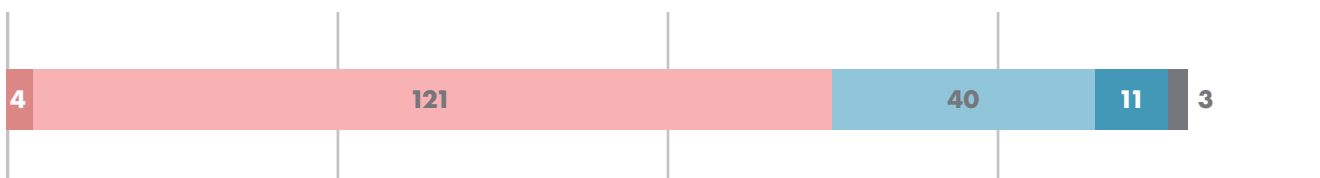
問 13 今後、村でも少子高齢化が進む中で、地域をよりよくしていくためには、村民のみなさんの協力や地域での助け合いがより一層必要になります。以下のお考えについて、それぞれお答えください。

問 13-1 自治活動（区の活動）への参加についてのお考えをうかがいます。



■ 積極的に参加したい
 ■ 可能な範囲で参加したい
 ■ 参加したい気持ちはあるができない
■ 参加するつもりはない
 ■ 無回答

問 13-2 村の活動や地域のさまざまな活動を手伝うボランティアへの参加についてお考えをうかがいます。

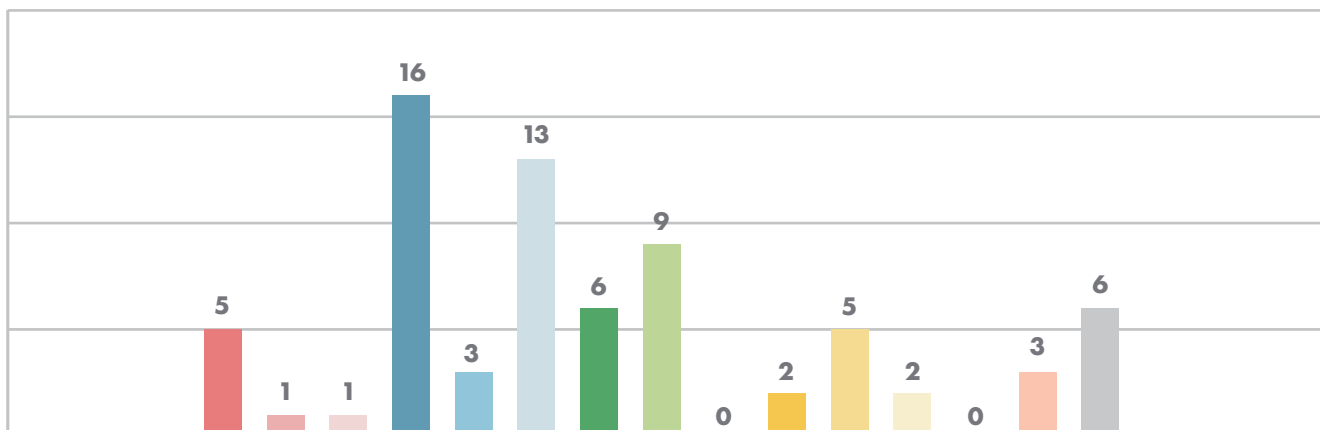


■ 積極的に参加したい
 ■ 可能な範囲で参加したい
 ■ 参加したい気持ちはあるができない
■ 参加するつもりはない
 ■ 無回答

問 13-3 以下にあげたもののうち、あなたが「1. 日常で困っていること、手助けして欲しいこと」、「2. あなた自身が地域のために手助けできること」がありますか。

1. 日常で困っていること、手助けして欲しいこと

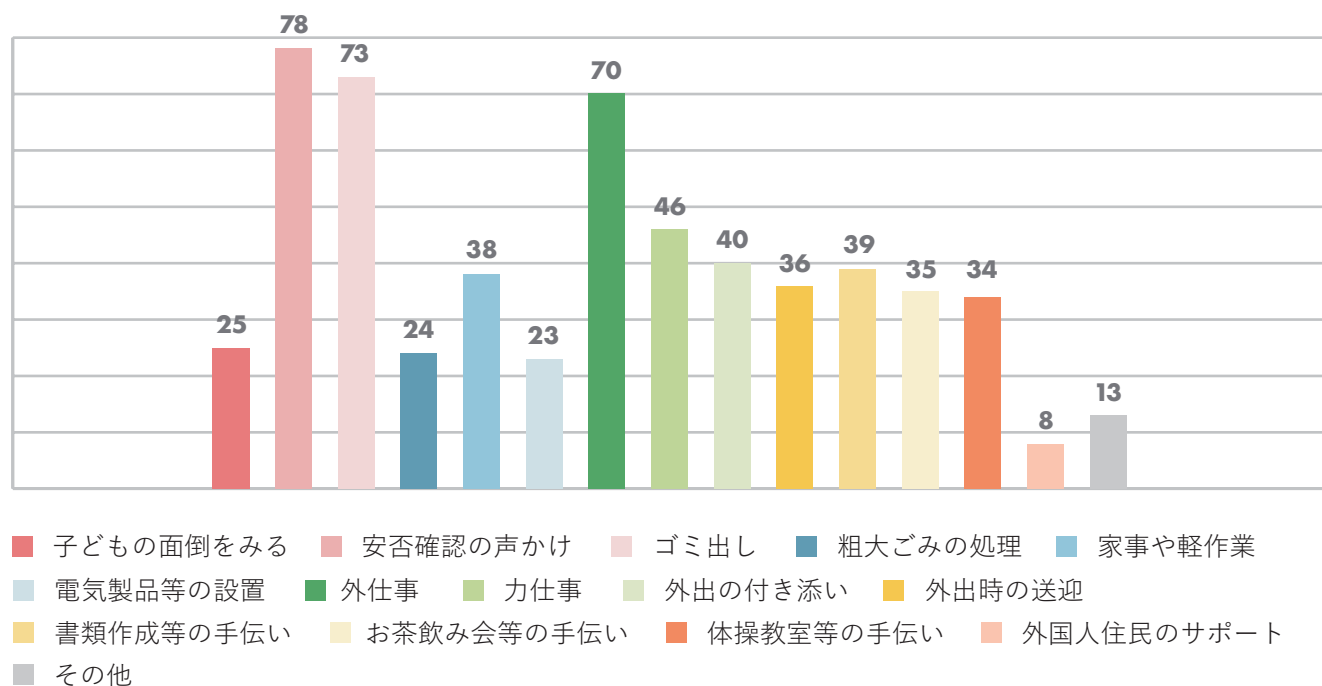
※複数回答可



■ 子どもの面倒をみる
 ■ 安否確認の声かけ
 ■ ゴミ出し
 ■ 粗大ごみの処理
 ■ 家事や軽作業
■ 電気製品等の設置
■ 外仕事
■ 力仕事
■ 外出の付き添い
■ 外出時の送迎
■ 書類作成等の手伝い
■ お茶飲み会等の手伝い
■ 体操教室等の手伝い
■ 外国人住民のサポート
■ その他

2. あなた自身が地域のために手助けできること

※複数回答可



問14 麻績村の好きなところ・誇れるところ・ずっと大切にしたいところなど「良いところベスト3」をあげてください。逆に、「良くないところワースト3」についても詳しくお答えください。

受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
1	リンゴ	
2		色々な面で不便
3	麻績 IC、JR の駅がある	働く場所が少ない
	自然が豊か	水が美味しくない
5	移住定住者（若者住宅）	父さん母さん方に手に職を持った人が割といる（消防士、建築士、看護師など）
	村民（人も資源）	元自衛隊とか、防災に役立つ知識でアドバイスをもらう
	業者さん	生活に役立つ知識（DIY、水回りメンテ、電気等）
6	病気予防の施策ができていると思う	
7	交通の利便性が良い（JR、高速道、国道）	働き場所が極めて少ない
	歴史的・地域資源が多い（寺社、街道）	左記の「良いところ」を活かす施策が不十分
	自然、景観が良い	村民が一丸となる機運がみえない（村づくりの方針、展望）
9	人はやさしい	チェンジ（考え方や、やり方の変更）をするのに時間がかかり過ぎ、くだらない「壁」がたくさん
	大自然がすぐ近くにある	子どもたちは保育園→小学校→中学校に缶詰状態であって、外からの刺激が少な過ぎる→人間関係に苦しむ
10	高速道にアクセスしやすい	生活のコストが高い 水道料金、移動のガソリン代、保険料等
	県内の主要都市と均等な距離である 選択肢が広い	主要都市のどこにも遠い
	行政対応が迅速	議員に女性がいらない
11	インフラ（その他同規模の地域より整っている）	PR が上手でない（HP が見にくい 積極性がない） インター前の看板が整備されていない
	自然（山に囲まれており、どこでも触れることができる）	集いの場がない（交流がしにくい）
	歴史（臼井宿やお仙の逸話、山吹堂などがある）	

受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
13	聖湖、自然	活気がない
	農地	農地の活用方法、せっかくあるのに上手く活かせていない所があるように見える 補助金をもらうため、とりあえず植えているという無駄な使い方をしている人もいると聞いたが、もう少しやりようがあると思う コミュニティの狭さ、世界中どこでも当てはまるが、居心地よく人間関係良好を目指す
14	交通の便が良い（駅やインターがある）	人口が減り、子どもが少ない（若い人が出て行ってしまう）
		商店が少ない
16	自然が豊かで緑が多い 空気がきれいで、星空もきれいに見える	人口が少ないところ
	高速道路のインターや JR 駅もあり遠方へのアクセスが良い 一般道（峠道）でも多方面に行ける	若者が働けるような企業や職場等が少ないように思われます
	湖やスキー場、キャンプ場などがある	高齢化に伴い農作業や地区の作業なども大変になってきている
17	行政や保健の面で村民と近い関係にあるところ 目が届いている印象があります	新しいものを受け入れづらい人が多い（特に年配の方）
	移住者の方で「麻績村を活性化させたい」と考える人が多い	「このままの村で良い」と思っている人が多数なのではないか
	インターチェンジと JR の駅があり、松本・長野の中間地点の立地	外部にうまく発信できていない（村について）
18	交通的に便利な面	道路周辺美化が悪い
		働き場所が少ない
		インターチェンジを利用したの周辺設備が少ない
19	アクセス	河川の整備
	聖高原	松くい虫
	農業	荒地
20	交通の利便性	働く 場所が少ない
	自然の豊かさ	店が少ない
	行政が身近で手続きが早い	車がないと不便

受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
22	自然	少子化
	インターがある	高齢化
	交通の便	仕事場
23	自然環境	地元での雇用場（働く場）がない 長野、松本等へ通勤しなければならず負担が大きい
	高速道路 IC、鉄道等、主要な交通網があること	農地の荒廃化が進んでいること
	小規模自治体でありながら、一定の生活基盤が整っていること（医療、福祉、教育、上下水道、公営住宅、金融機関、店舗等）	若者が都市部へ出ていき、高齢者の比率が高くなる
24	景色が良い	古民家の空き家対策がない（リフォーム補助などがなかった）
	交通の便が良い	地区によっては区費が高い
	広すぎない（役場、学校、スーパー、銀行等が密集している）	国道 403 号線は車の量が多いのに道が狭く、歩道のない所が多い
25	北アルプスが見えるところ	聖高原が牛ふん臭い
	ゴールデンウィークの頃、カエル合唱にいやされる	遠くからでも食べに行きたいと思うようなレストランがない
	麻績インターがあるから便利（車の運転が出来る人には）	
27	リンゴが沢山ある	可燃ごみが週 1 回
	役場、体育館などがきれい	
	交通の便が良い	
29	自然が豊か	店舗が少ない
		働く所が少ない
32	いろいろ食べる所が多い	高速道路は他と比べて発展しない
	自然がいっぱい	
34	自然環境	過干渉
37	美味しい水 水道水がうまい	不平等な構成 具体的には、ふるさと納税の返礼品の取り扱いについて、選者が不透明
	美味しい空気 遠くまで見通しがきく	遊休荒廃地が拡大している 集積して他に利用する計画がほしい
	整った教育 図書の充実 素直で元気な生徒	人口減少と商店の閉店 村内では買い物ができない若者は村外に移住の傾向

受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
39	他の自治体にアクセスが良い	若い世代の働く場所がない
	自然豊かな所	空き家の活用（家としてではなくオフィススペースや店舗などとして）
40	自然が豊か	
	空気がきれい	
	静かでよい	
44	人が親切	子どもの遊び場が少ない 自転車可の道に制限があり、自力で行ける場所がほぼない
	自然が美しい	バスの本数を増やして欲しい 朝の電車本数 6 時대를増やして欲しい
46	インターチェンジがあり交通の便が良い	商店が少なく買い物は不便
	長野、松本どちらにも行きやすい	駅前が寂しく、寂れた感じがする
	自然豊かで環境がよい	働ける場所が少ない
47	長野・松本・上田方面に行きやすい	左記であるが、時間がかかる
	自然が豊か	商店が少ないため買い物が不便
	インターチェンジがある	時期によって水質が悪い
48	善人が多いと思う	買い物の良い所がない
	静かな環境が良い	
49	空気が良い	通院や大きな買い物にはどうしても峠を越えて行くのが大変です
	今のところ大きな事故や災害がない	獣が増えて何を作るにも獣除けのネットが必要で作る気がなくなります
		若い人の働く場所会社が少ない
50	自然が豊かである	役場の雰囲気が悪い 入っていてもあいさつがない
	田舎なのに交通の便が良い	来庁者から見える所でお弁当を食べている こちらの方が恥ずかしくなる
	ワクチン接種 商品券の対応が早かった	観光といってもお金を落とすところが少ない
51	自然	遠い
	高速	
	電車	

受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
52	歴史遺産が多い	少子高齢化の進行
	自然を活かした観光農業	働く場所が少ない
	おいしい米とリンゴ	農地の荒廃と空き家
53	高速道がありアクセスは良い	子どもが少なく不安である
	新型コロナウイルス感染症対策が早い	働ける場所が少ない
	自然が豊かである	ますます遊休荒廃地が増えていく
54	自然が美しい	
	昔ながらの農村の暮らしが残っている	
	人が優しい	
55	豊かな自然	地の利 自然環境等もっと活用できるのでは
	交通の便が良い	時代に即した適応柔軟性に疑問
	福祉の面で環境が整っている	
56	自然が豊か	働く場所がない
	村民一人ひとりの健康管理をしてもらえる	農業の担い手が減っている
	歴史ある村	駅前通りやインターの周りが寂しい
58	自然環境 景色 歴史	就労場所がない
		バス タクシー 不便
		商店、医院が少ない
59	交通の便が良い	商店、飲食店が衰退している
	静かに落ち着いて過ごせる観光スポットがある（メジャーではない）	人口減少
	文化、歴史を重んじている	障がい者の居場所がない
62	交通網（鉄道、高速道路）があること	人口減少（少子高齢化）
	近隣村との合併しなかったこと	就労の場が少ない
	保小中の一貫教育	買い物が不自由
63	交通の便は良い	駅やインターは村外の方の観光等での利用は少ないと思われる事
	聖高原の気持ちの良さ	荒地があちらこちらで見られる事
	農産物（特にリンゴ）がおいしい	人数の減や時代の流れの変化で地域活動が難しくなっている事
64	自然	

受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
65	高速道路麻績インターチェンジ、JR 聖高原駅等利便性が良い	大型スーパーやホームセンターがなく買い物が不便
	神明宮、福満寺仏像等の文化財がある	高齢化が進み若者が少ない 思う様な働き場所がない
	聖高原等の自然環境が良い 空気がきれい	村の PR が少ない 新聞等の話題が少ない 村として誇れる特徴がない
66	行政の対応（ワクチン接種、補助金など）	公共施設が中途半端に多い 体育館、グラウンドが2 か所ありまとまっていない あさつゆの施設が小さい
	自然環境	農地の荒廃化が増えている
	IC があり便利	
68	住宅が安くてたすかる	ずっと住めないのが最終的な人口増にはつながらない
	おみぼん商品券がたすかる	可燃、プラなどゴミ収集の回数が少ない
	福祉の面で環境が整っている	
71	静かで過ごしやすい	住民税が何に使われているか良く分からない
		交通の便が悪い
72	麻績宿など文化財を大切に PR の一つとしているところ	高齢化による福祉の充実
	地域食材がおいしいところ	若者が帰ってきてても働く所がない（村内の働き手で若い人が少ない）
	鉄道、高速 IC があるところ	道路整備、街頭設置、木や草の伐採など地域により差がある
73	静かな生活ができる	バス タクシー 不便
74	空気 水 緑	駅（購入したい時間帯に人がいない）
76	自然が豊か	地域コミュニティは重要だけど高齢者の意見、考えが片寄っており、なかなか馴染めないことがあると感じる
	交通の利便性が良い	働く職場がない
77	聖高原 ボートに乗れる	スーパーがない
	おみぼん商品券の配付	働くところがない
79	自然がいっぱいある 冬の景色が特にきれい	買い物できる場所が限られている
	長野・松本・上田に行きやすい	仕事がない

受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
80		閉鎖的です
		図書館利用しにくい
81	景色が良い	障がいの方の支援、施設
	クーポンがある	薬や医療の充実
	支援が手厚い（子育て）	消防団の活動が多い
84	手つかずの自然が多く残っている	地元の魅力に気付いていない人が多い
	交通のアクセスが良い 麻績インターチェンジがある JR の駅がある 千曲市・上田市・安曇野市・長野市・松本市まで 40 分	県、国の予算に頼りすぎている 村独自でお金を産み出す努力が少ない
	まだまだ外にアピールする点を見出すことができる余力が沢山ある	子どもたちに過保護すぎる 田舎なのに歩かせる教育をしていない
85	自然環境の美しさと文化財の豊かさ	店舗等が少ない
	米や果実等、農産物がおいしい	人が少なく空き家、耕作しない農地が多い
	交通の便が良い	交通の便が悪い（矛盾するようですが）JR 等で「みどりの窓口」ないなら Suica が使用できればとか公共交通が不足していると思います
86	自然の豊かさ	
	比較的良い交通網	
87	自然	サービス業がない
	交通機関	
88	景色が良い	将来構想がみえない
90	自然	働く会社がない
	交通の便	物が高い
	人柄 やさしさ	商店が少ない
92	自然	遊ぶ場所がない
	病院や店が近くに集中している	村の名物が思い浮かばない
	聖湖の景観	駅前がさみしい
93	自然が豊か	商店が少ない
	治安が良い	商品の価格が高い
		働く場所が少ない
94		少子高齢化
		有害鳥獣被害

受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
95	鉄道、インターがある	平らな土地が少ない
	豊かな自然	若者が少ない
	地域のつながりがある	大阪線以外的高速バスが止まらない
97	おいしい水 おいしい空気 豊かな自然	麻績村のおばあちゃん達に男女平等などはない 役場にも女性が少な過ぎる
		筑北村と合併するしかない 村民は何も知らされずテレビの報道で初めて知った 情報は公開されず決められている
		広報で議会の様子を読んでいるが再質問もされず、まともな質疑がされているようには思えない
99	おみぼんのキャラクターをもっと宣伝すべき	銀座 NAGANO にも派遣して宣伝に使う ゆるキャラコンテストに出場する 今はやりのマルシェに参加すべき→こうした体制を構築しておくべき
100	自然	井の中の蛙
	コンパクト	
101	山の中の村ですが、JR、高速があり交通の便がよいところです 長野・松本・上田どこでも同じ位の時間で行けること	空き家はあるが、住めない 貸してもらえない
	里山の景色	
	郷土の食べ物や伝統	
102	麻績インター	
	聖高原駅	
	自然が豊か	
105	自然環境	人口減（特に若者）
	歴史 文化財	
	交通の便 聖高原駅 麻績インター	
107	夜が静か	交通ルールが守れない（自動車）
	自然豊かで子どもが遊ぶのに良い	道がガタガタ、歩道がない（狭い） シルバーカーの方が歩きにくそう
	近所のおじいちゃんおばあちゃんが優しい	子ども服の店がない

受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
111	自然が豊か	飲食業が乏しい
	移住者に対しての受けが良い	名所的な所が少ない
	地元民の温かさ	
112	交通の便が良い	
114	自然が多く美しい	閉鎖的、外（県外、海外）との交流が皆無
	JR 駅、インターチェンジがあり交通が便利	アンケート等、村民意見を取り入れる姿勢は見せるが活用される実感が全くない
115		お店がない
116	コロナ対策 おみぽん商品券の配布	
	協力隊	
	毎月5日の交通安全の日	
117	狭い分、村民同士が仲良く暮らせる	逆に、話しの広まりが早い
118	自然がいっぱい	考え方が古すぎ
	交通機関が充実している	村の宣伝や麻績宿などの宣伝など、文化遺産の活用の仕方がイマイチ
	誰でも使える図書館がある	街灯が少なすぎ バリアフリーがイマイチ
119	自然豊かでのどかなところ	様々な健診が平日の日中のみで受診できない
	地産地消ができていて、近所でのおすそわけも含めて	
120	鉄道、インターチェンジもあり北信・中信・東信それぞれに通勤できる	インターチェンジがあり自分達は都合がいいが、そのインターチェンジをうまく利用できていない
121	交通の利便性	給油所が1か所
	自然が豊か	若者が少ない（小中学校の生徒の数が少ない）
		荒廃地が増加している
122	自然が豊か	買い物する場所
	住民がおだやか	健康維持の組織（施設、機会）
	交通の便が良い	麻績村の PR

受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
123	田畑が多くのかで田舎なところ	給食費無料の公約があったのに4割負担なところ 毎月いくら請求なのかも知らせがないので、分からず通帳を見て知るしかないところ
	小人数だからこそ連携がとれている（保小中学校）	若者、子どもの意見は聞くだけで反映されない 目線が大人側 大人の都合で意見を理屈で返答して終わりなところ
	自校給食である	閉鎖的 村外海外との交流を好まない印象がある
124	自然が豊か	商業施設がない
	高速道路の乗り口が近い	雇用が少ない（働く場所がない）
	子育てしやすい	
125	インターチェンジ	インターチェンジ近くに道の駅を設置し、複合的に麻績村の名産品等、アピールポイントを集める
126	自然が多い	高速のバス停に人が乗り降りできない 1日1回だけできる
	JR 駅がある	
128	のどかな田園風景	耕作放棄地が増大し動物（獣害、シカ、イノシシ等）の温床となっている
	自然が豊か	光熱費、上下水道料金が他都市と比較して高い
	人々が素朴で親切	魅力ある特色が少ない（産業、イベント、特産物、観光地等）
129	交通の便（JR、高速）が良い	他村との連携、協力ができていない（井の中の蛙で、広い視野がない）
		村政の情報発信が少なすぎる 村の進む方向が見えない
		地域おこし協力隊は自分の好きな事を自分だけで固まっており、村民のためになっていない 他市町村の例を見てほしい
130	自然が豊か	若者が少ない
	インターがある	お店が少ない
131		遊び場がない（どの世代も）
		人の集まるスポットがない
		自然を活かしたふれあう所がない

受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
132	空気が良い	品物が高い
		医者が少ない
		役場の対応が良くない
133	歴史	財源が乏しいこと
	地理（立地や交通アクセス）	首長や議会に若い考えがないこと
	人間的な温かさ	発信力が弱いこと
135	役場職員の対応が早くて良い	これから常会という制度は、考えなおすべきだと思う
	朝夕の散歩が日課、平地からアルプスが見える 東京はビル展望台からだから	空き家は更地にするか、住まない意思が明白な持ち主には覚悟を決めてもらう
	お互いにあいさつする おはようから一日中ずっと声をかけあう	
136	インターチェンジがあるので、遠出がしやすい	オートキャンプができない 筑北村はできるし、村民は無料
		空き別荘が目立つ
		RV パーク等も、利用者がメリット大の優遇案があればうれしい
137	自然が多い	食料品店が少ない
138	インターや駅、消防署がある	カインズホーム、D2、コメリ等がない
	自然が豊か	村役場が将来のあるべき姿を村民に語りかけてはいけない事
	人が良くのんびりしているところ	シニアボランティアを有効に活用できていない もっとシニアに協力をもらえるようにすべきです
	農地等の太陽光パネル設置を許可していないところ	村へ興味をもっていてくれる人や村にある資源を有効に活用できていないところ
140	ご近所付き合い 人付き合い	子どもの教育面
	自然	商店の少なさ
	住みやすさ	
142	生ごみ回収がある	名前や写真を許可を取らずに広報などに載せるのは、プライバシーの侵害ではないかと思う
	すばらしい保健師さんがいる	

受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
143	おみぼん	村外の人に麻績村の良さが伝わっていない
	インターと駅があること	総合グラウンドの整備が悪い（草が生えているトイレが汚い）
	図書館が充実している	麻績保育園（遅くまで電気がついている税金の無駄遣い）
144	自然環境	地域の環境
	高速道路がある	寂しい感じがする
	聖高原	活性化がとぼしい
145		子どもの数が少なく小中学校の時 接する友達が少ない事
		有線で農事の際、道を汚さないよう放送しているが、放送するなら農機具を洗える場所を設置するべきだ
146	緑が多く静かである	荒れた農地が目立つ 空き家も多く朽ちかけている
	インターがある	人口がどんどん減ってきている
	お米、リンゴがおいしい	文化財が大切に扱われていない もっと活用したらよいのでは 掃除もろくにできないように思う
147	インターがあることは良い すぐ遠くにいけない の便利が良い	車社会で、車の運転ができない人が不便に感じる
	静かなところが良い	筑北村と合併しなかったことが未だに疑問、不信感を抱いている 筑北村と合併しなかったせいで、小中一貫校となってしまった いじめで辛い思いをしている子どもがいたらどうするのか 優秀な子どもは中学受験者で流出してしまう傾向にある
		洋服店が一軒もないもので、とても不便 洋服店を開く助成金を出して出展してほしい 出展誘致してください
148	駅、インターがある	どの方面も同じ位の時間で行ける 遠い
	自然が豊か	ガソリン代等が多くかかる
	保育園、小学校、中学校が近く、コンパクト	働く場所が少ない

受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
150	米がおいしい	自分の意見をあまり言わない
	野菜がおいしい	長野・松本・上田どこへも行けるが遠い
	近所が気心、知れている	現状を変えづらい
151	自然	働く場所がない
	交通の便	
152	高速道路、国道、JR 電車があり他の町村にはない立地条件が良い村です	立地条件が良いのに、これらを利用した麻績村らしい未来展望がない
	自然豊かな観光がある	別荘の老朽化、あまり良い印象がありません
	文化財があり多くの歴史、宿場がある村だと思います	もう少し手をかえてほしい
153	駅があり都合がよい	小学校も中学校も生徒が少なくてかわいそうだ
	インターがあり大変便利で都合が良い	職場が少なくどうしても約 40 ～ 50 分以上遠くへ勤務するようになる
154		就業場所がない
		ときめきがない
155	交通の便が良い	仕事先が少ない
	人が良い	商店が少ない
	自然が豊か	
156	星がきれい 自然豊か	
	人が温かい	
159	コロナにて補助金があり助かりました	
160	自然豊かなところ	高齢社会になりすぎている
	高速道路のインターがある	考え方、発想が古く、若い人の意見を受け入れない
	JR 聖高原駅があり、松本長野方面に行ける	高齢者の自動車の運転が危険すぎる
161	自然豊か	空き家の増加
	交通機関が豊富	
164	静か 自然豊か	区費が高い
	都会じみていない	若者が少ない（魅力がないから外に出る）
		野焼きによって洗濯物が外に出せません 空気が臭い

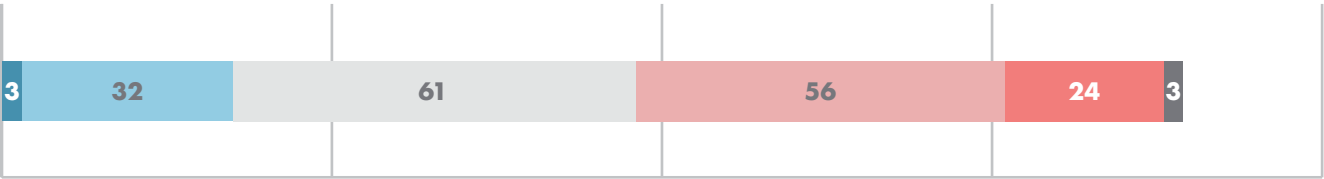
受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
166	自然	お店が少ない
167	自然が豊かである それぞれその部落が自分たちの田を美しくして行こうと後世に伝えようとしている	行政主体で始めた手だと思うが、指定管理の建物やそれを運用し活動している物があるが、もっと状況等を見つめ、少しは変化をもたらしたらと思う 経営は外部に依頼してあるが、労働者は地元の者が働いている 好かれる対応や皆が利用しやすくすること、人寄せの努力等が必要
	各地域に神社仏閣、昔から風土を伝承して守っていく考えがあり、今後も続けていく力が感じる	
168	空気がきれい	
	自然が残っている	
169	星がよく見える	
173	交通の便 JR 駅がある 高速道 IC がある	
	聖湖を中心とした聖高原と美しい観光地がある	自分にいいアイデアはないが、より良い活用方法があるような気がしている もったいない
	保育園、小学校、中学校が村独自に設置されている	
174	みたらしの湯	閉鎖的なところ
175	県内でも災害が少なく、安心して住める	人口減少（少子化など）
	交通網が充実しているので便利（高速道路、JR、消防署など）	雇用が少ない（働く場の減少）
	自然豊かで農作物も良くでき、スキー場がある	昔のような活気がない（店の減少）
176	田畑があり、山が近く、緑が多い	働く場所が少ない
	高速にすぐ乗れる	若者が少ない
	長野市へも松本市へも同じ位で行ける	地域交流が減っているところ
177	高速、電車など交通が整っている	働く場がない
	子育てがしやすい	若者が少なく活気がない
	人間関係がうるさくない	祭りが少ない

受付番号	麻績村の「良いところ・ベスト3」	麻績村の「良くないところ・ワースト3」
179	自然が残っている	村の管理する植物（街路樹など）が少ない
	古い建物が残っている	協力隊の試みが短期的なものとなっている
	人が少ない	若者が少ない
180	静かで落ち着ける	若者（子ども）が少ない
	人間が良い意味で見える	学校運営が不安
	村政に手が届くような気がする	交通の便が不便

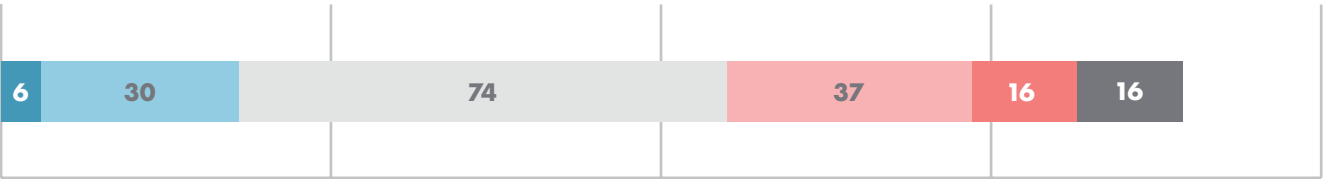
問15 以下の項目について、最も当てはまる番号をそれぞれお答えください。

■ 思わない ■ やや思わない ■ どちらでもない ■ やや思う ■ 思う ■ 無回答

1. 住みやすい村か



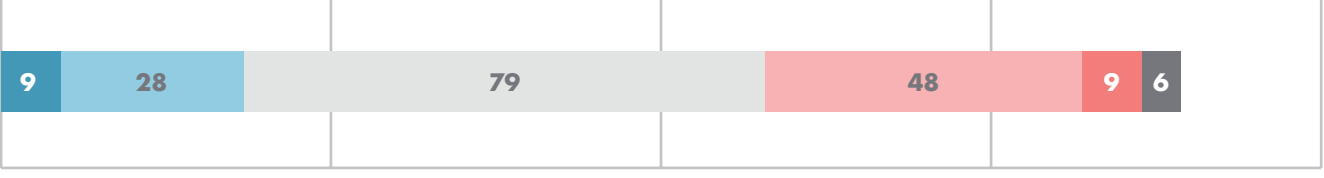
2. 子育てしやすい村か



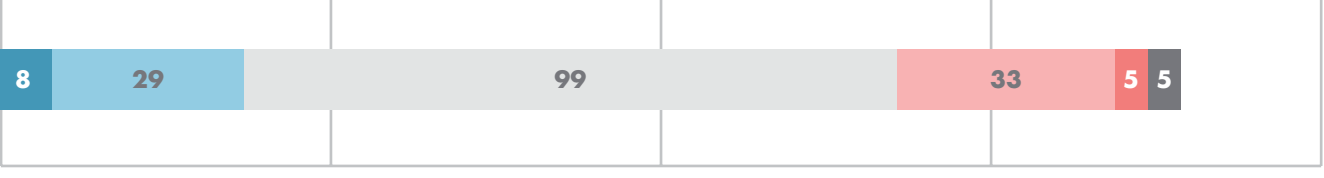
3. 困難を抱えた人など、誰もが安心して暮らせる村か



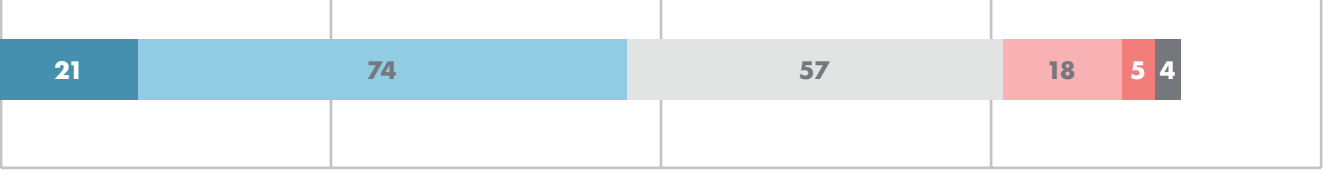
4. 保健・医療や福祉が充実しているか



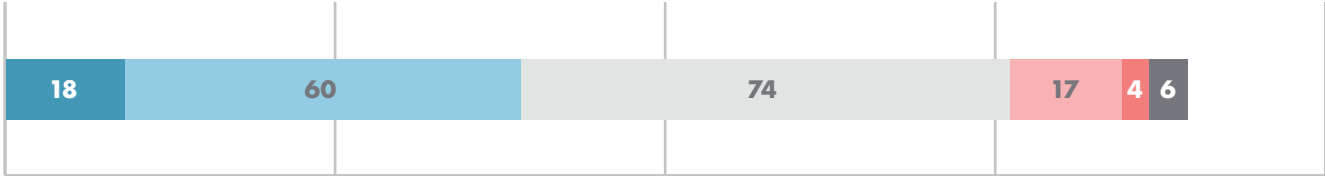
5. 防災や防犯などで、安全に暮らせる村か



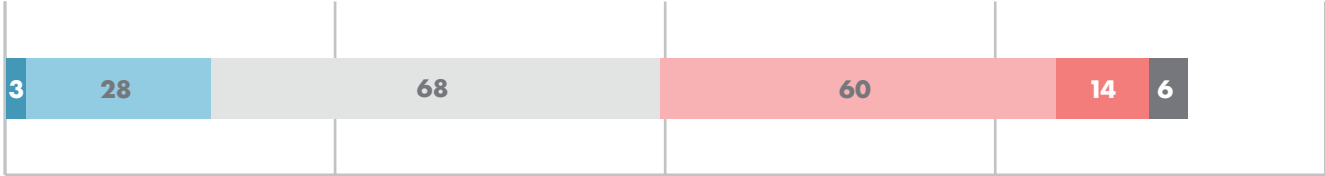
6. 域資源を生かした産業の活力があるか



7. 学びや文化・スポーツなどの環境が充実しているか



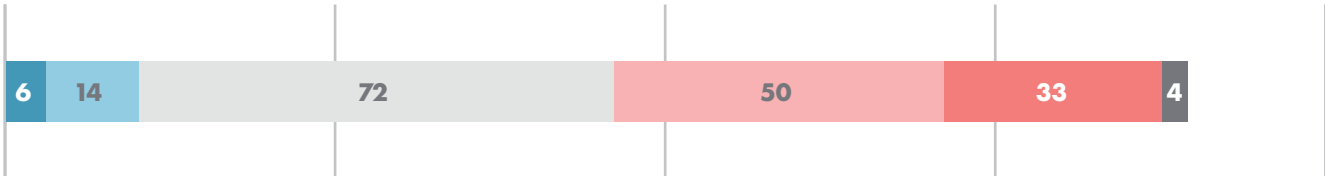
8. 生活の基盤が整い、快適に不便なく暮らせるか



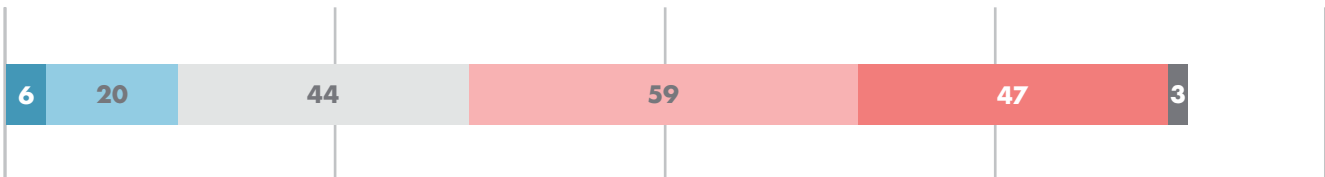
9. 村民が互いを認め合い、助け合える村か



10. 自分の村としての誇りや愛着を感じるか



11. 村に住み続けたいか

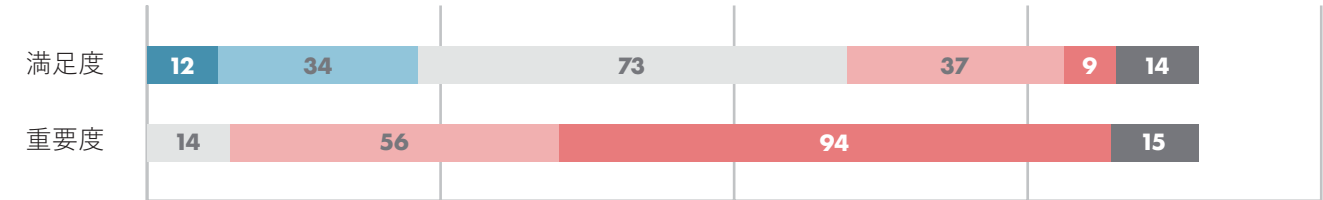


問16 以下の村の各分野の取り組みについて、「現在、村で生活する中でどの程度満足しているか(満足度)」、「これからの村づくりでどの程度重要だと思うか(重要度)」、あなたのお考えに最も近いものをお答えください。

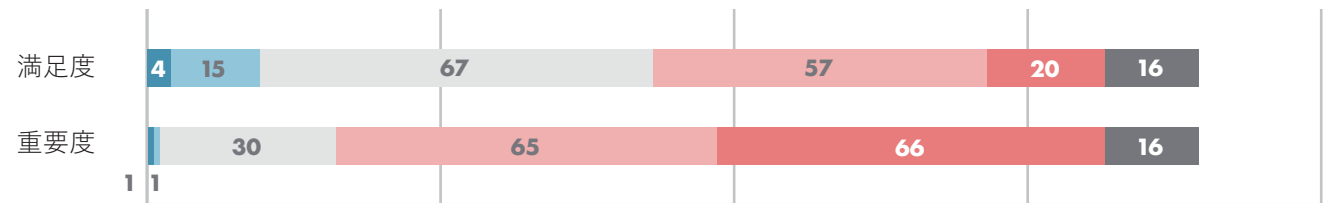
満足度 不満 やや不満 普通 やや満足 満足 無回答

重要度 重要でない やや重要でない 普通 やや重要 重要 無回答

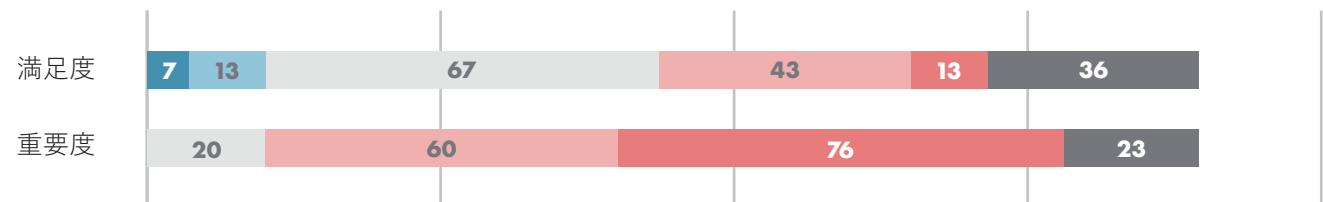
1. 医療体制の充実



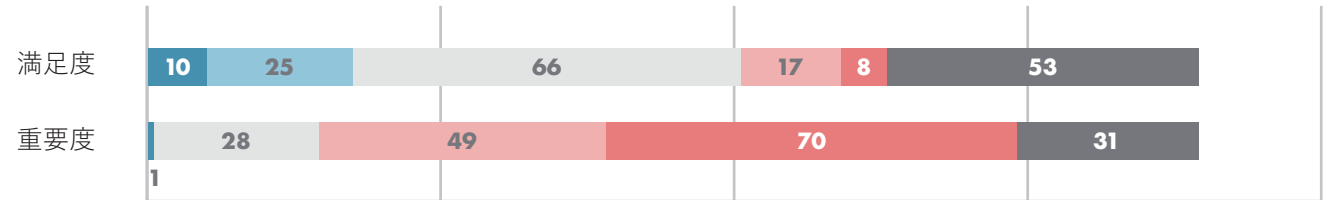
2. 健康づくりの推進



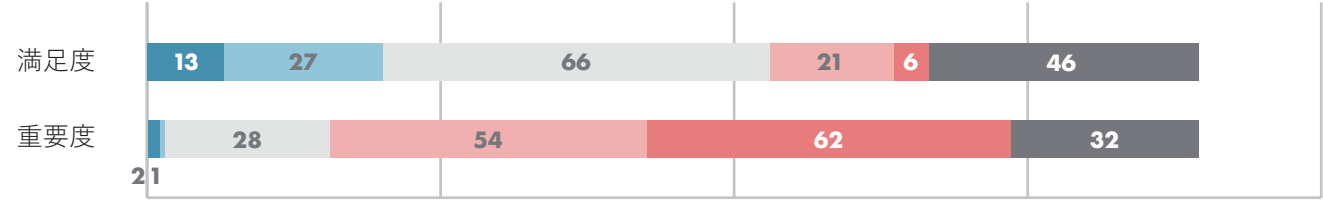
3. 高齢者への支援体制の充実



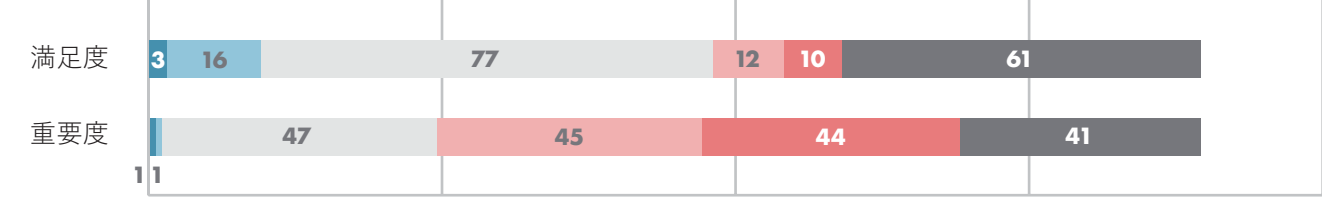
4. 障がい者（児）への支援体制の充実



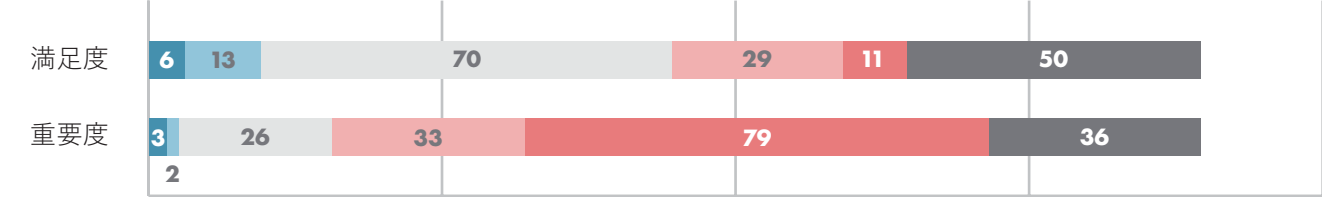
5. 地域福祉体制の充実



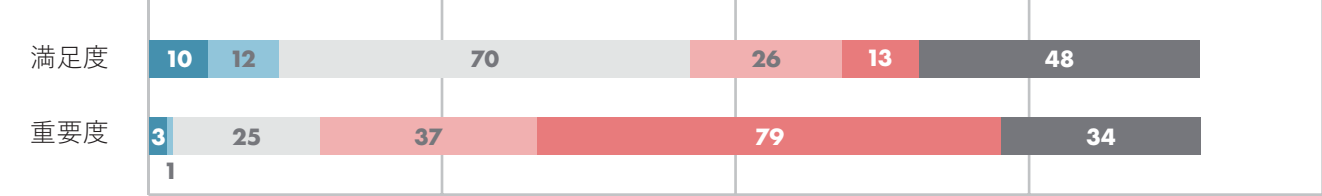
6. 貧困対策の充実



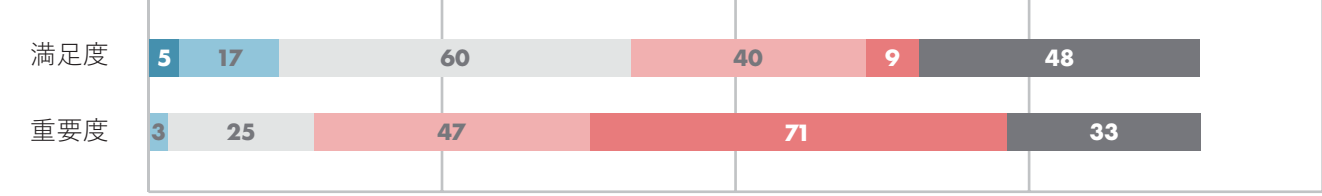
7. 子育て支援体制の充実



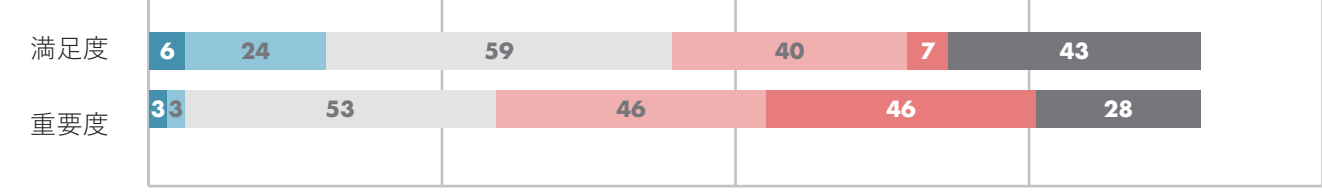
8. 子育てしやすい地域づくりの推進



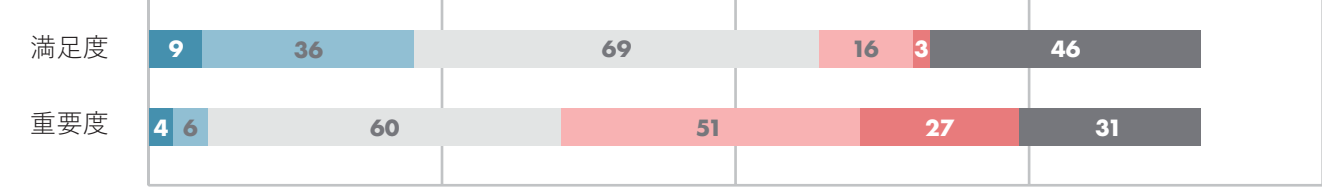
9. 学校教育の充実



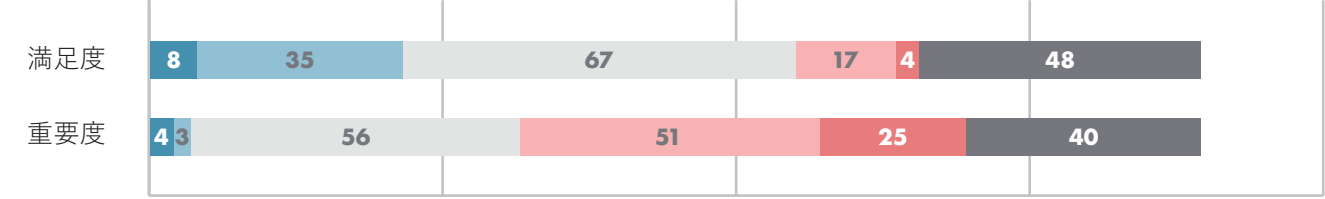
10. 生涯学習環境の充実



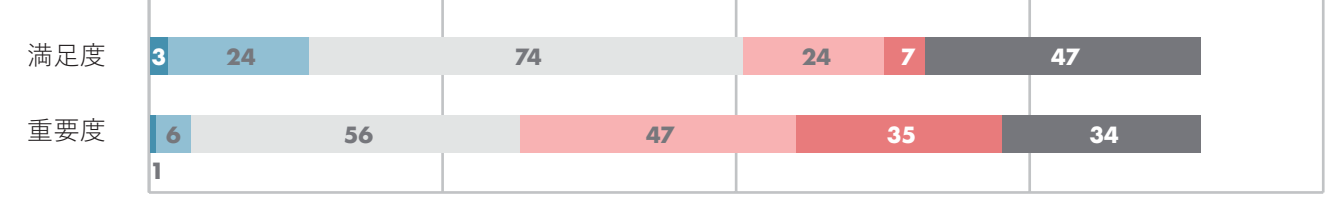
11. スポーツ環境の充実



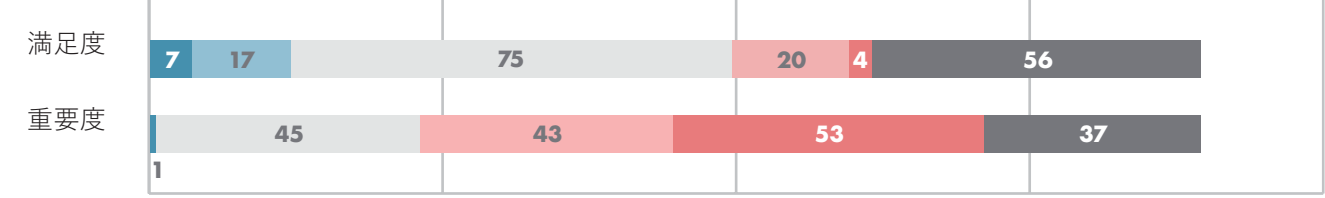
12. 文化芸術環境の充実



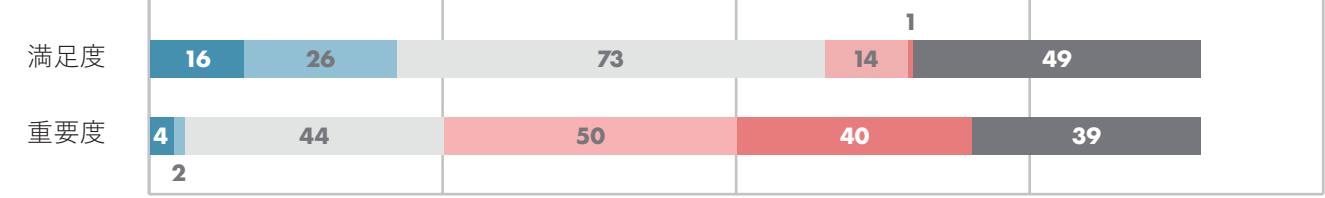
13. 文化遺産の保存・活用



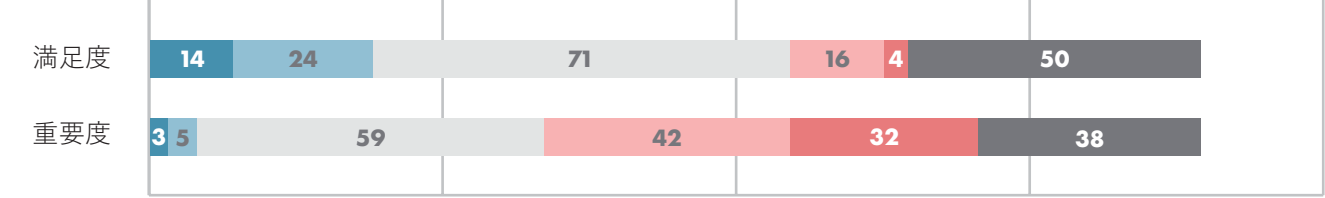
14. 人権尊重の村づくりの推進



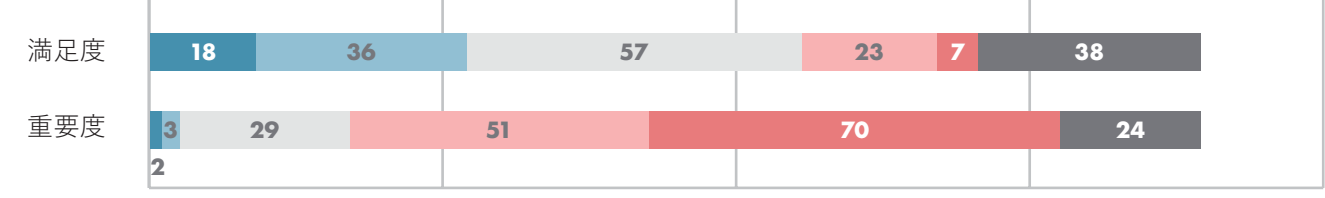
15. 男女共同参画社会の推進



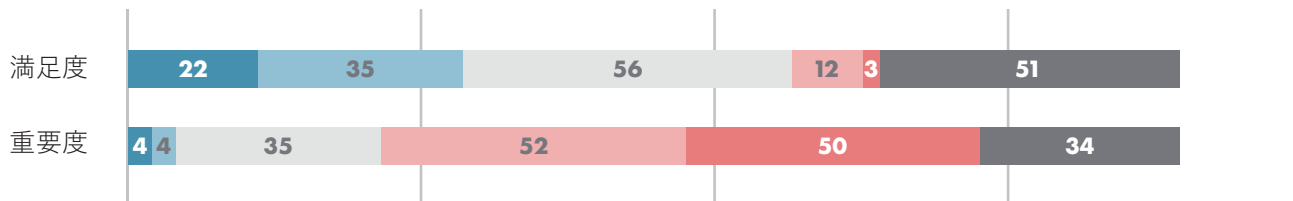
16. 多文化共生の推進



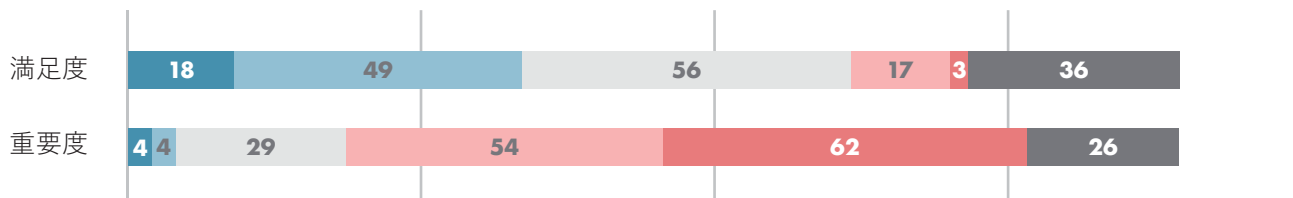
17. 農業の推進



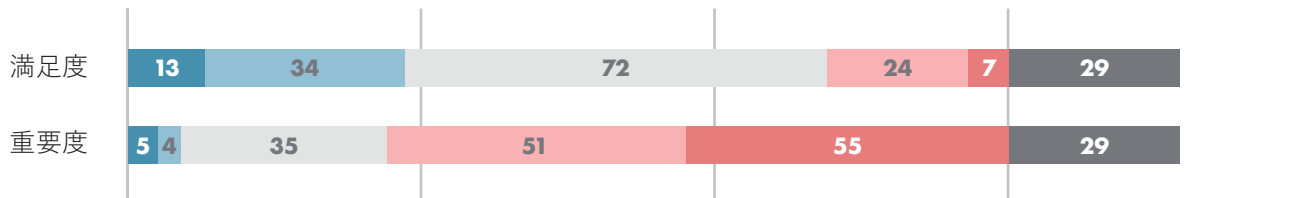
18. 林業の推進



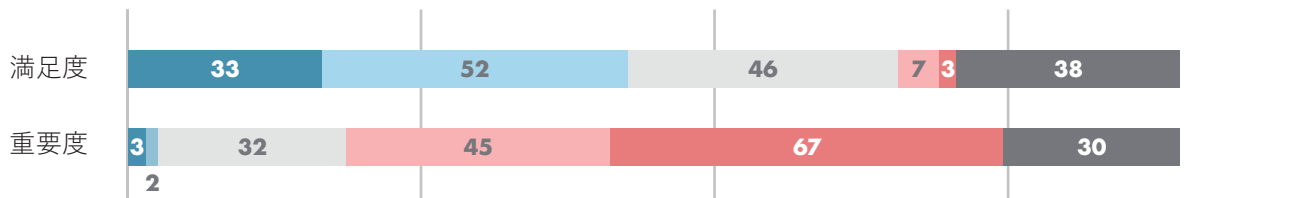
19. 観光の推進



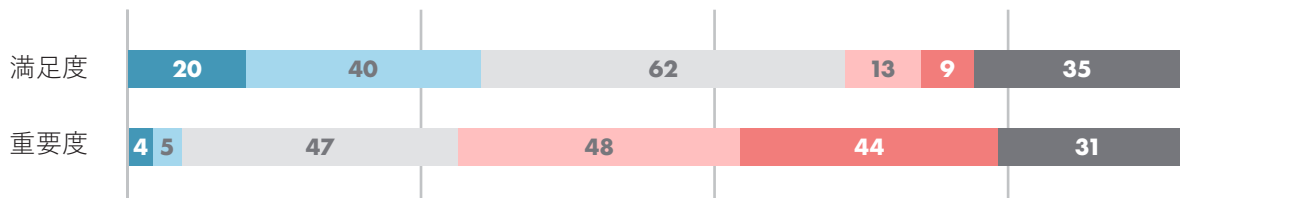
20. 商工業の推進



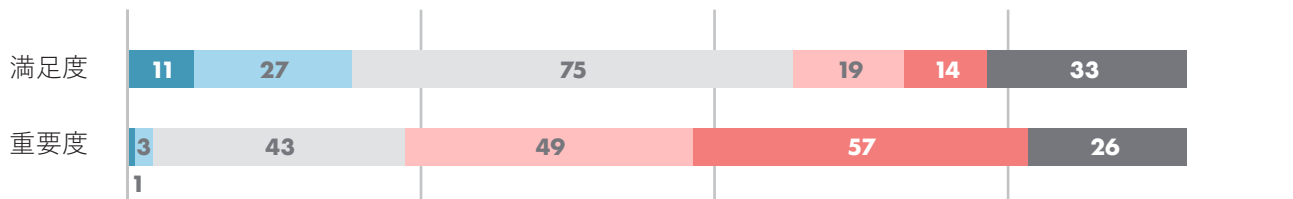
21. 雇用対策の推進



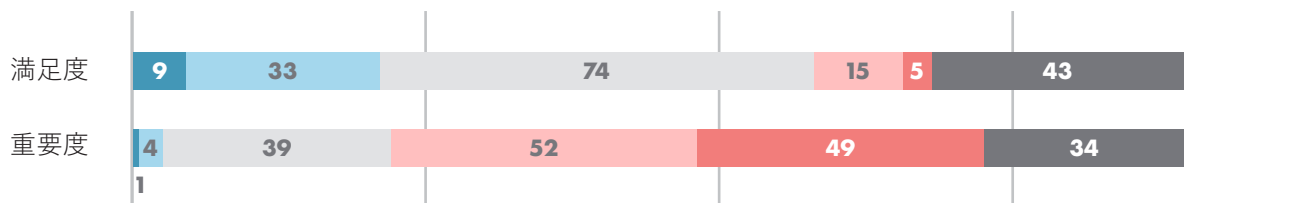
22. 公園・緑地の充実



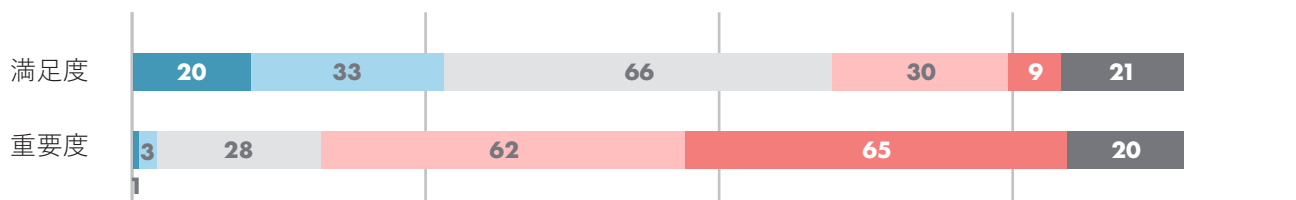
23. 自然環境や景観の保全



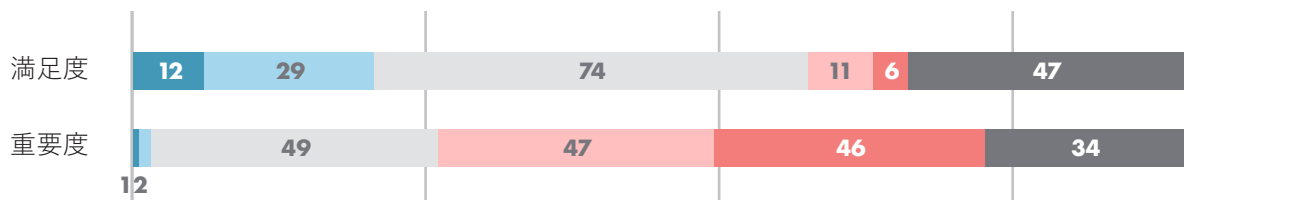
24. 循環型社会の推進



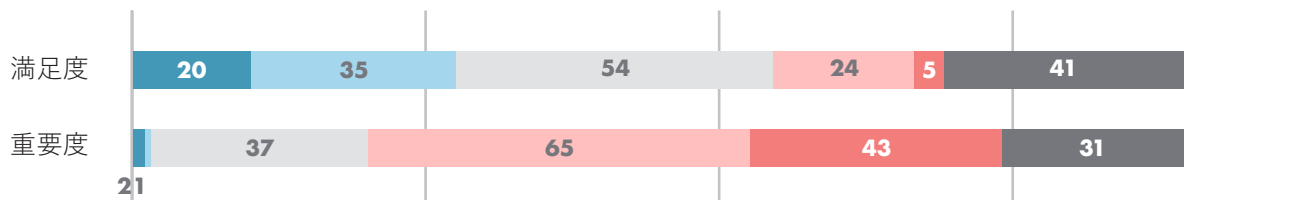
25. 道路整備の充実



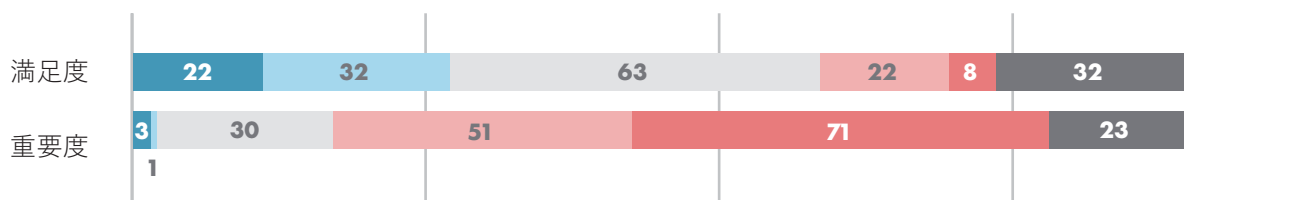
26. 適切な土地利用の推進



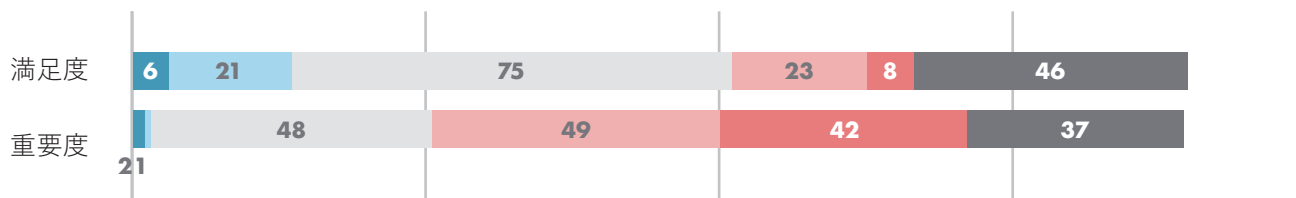
27. 住宅対策の推進



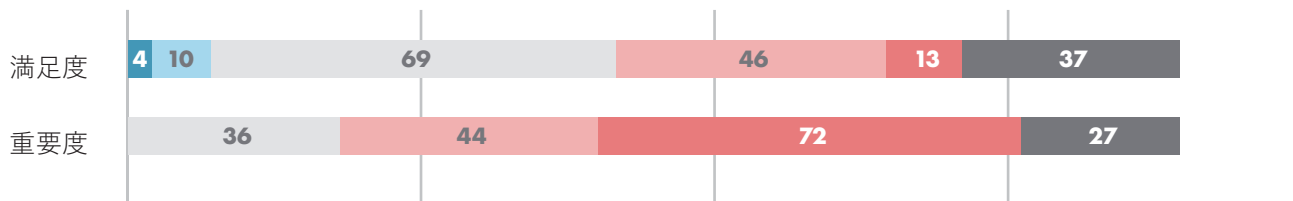
28. 公共交通の整備



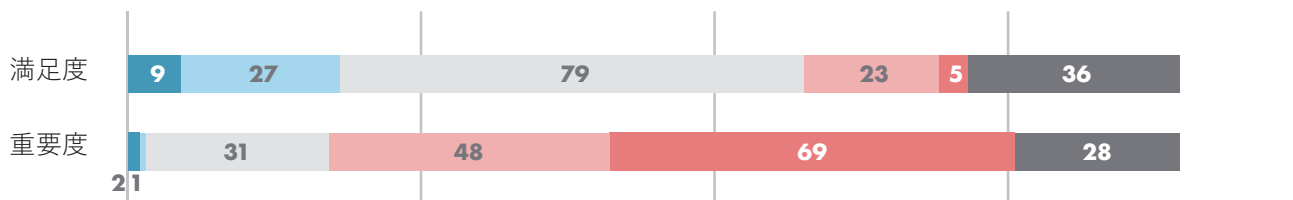
29. 公共施設の維持・管理



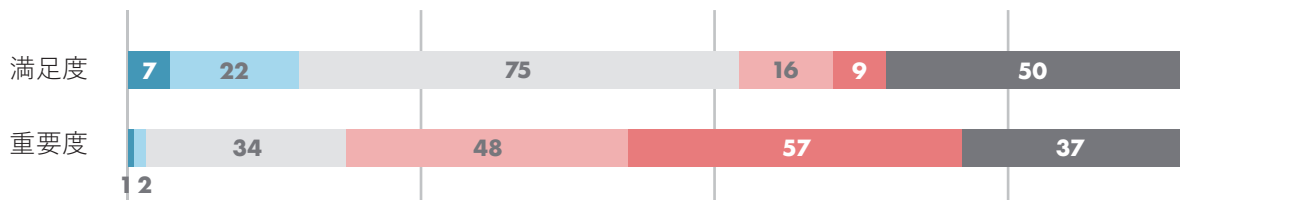
30. 消防・救急体制の充実



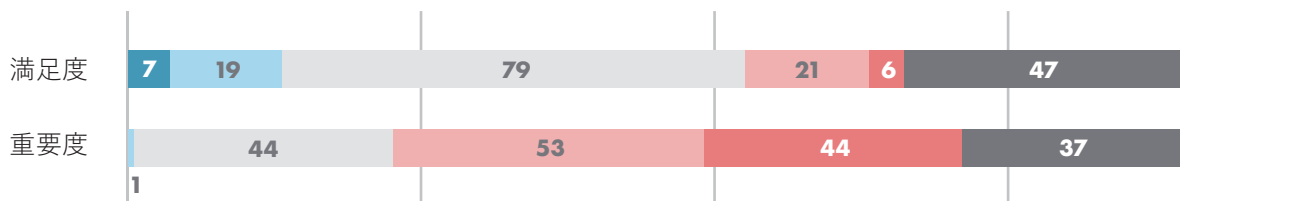
31. 防災体制の充実



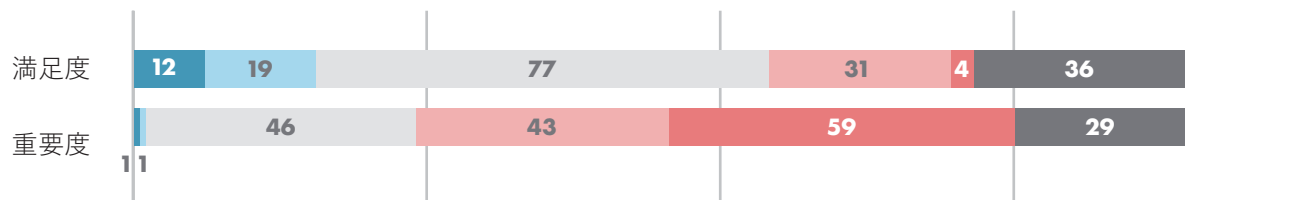
32. 治山・治水対策の推進



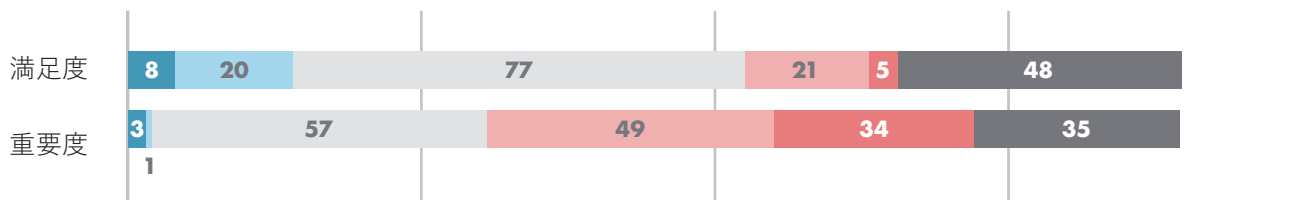
33. 防犯体制の充実



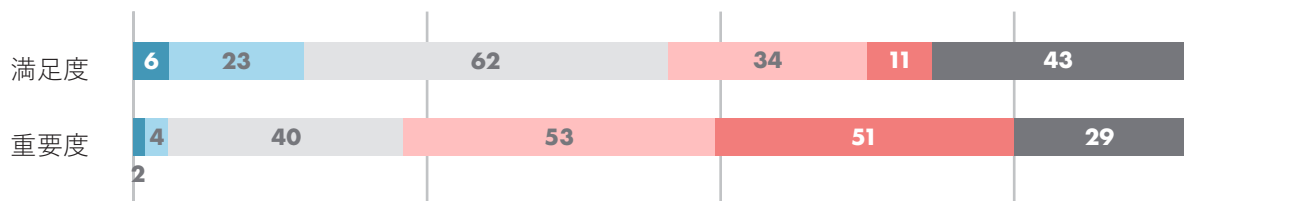
34. 交通安全対策の推進



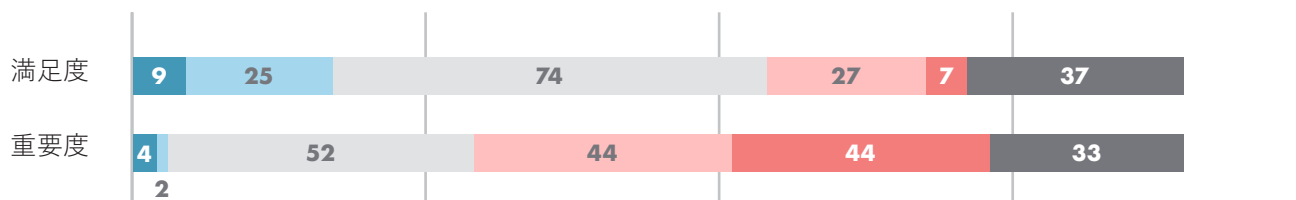
35. 協働の村づくりの推進



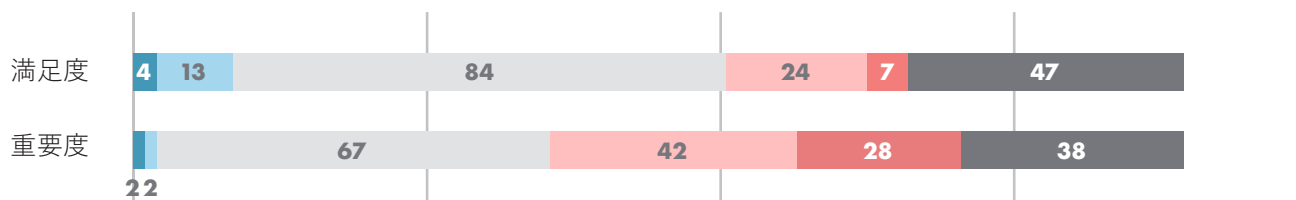
36. 移住者支援



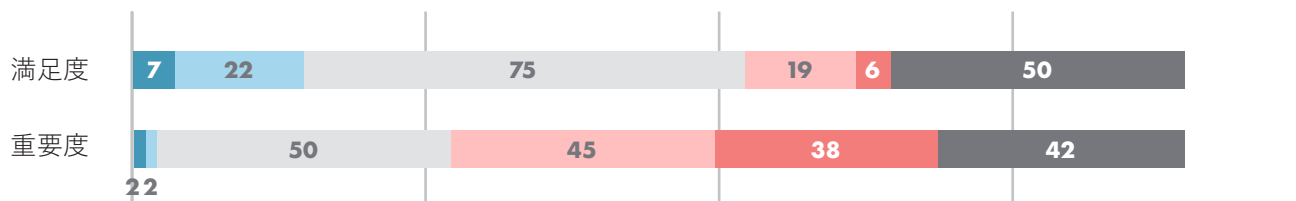
37. 広報・公聴活動の充実



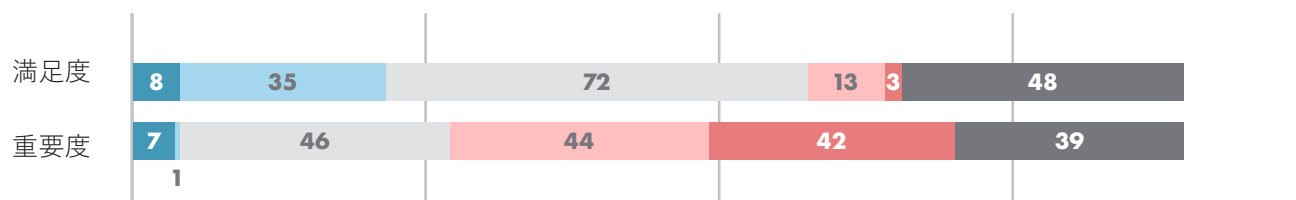
38. 消費者対策の推進



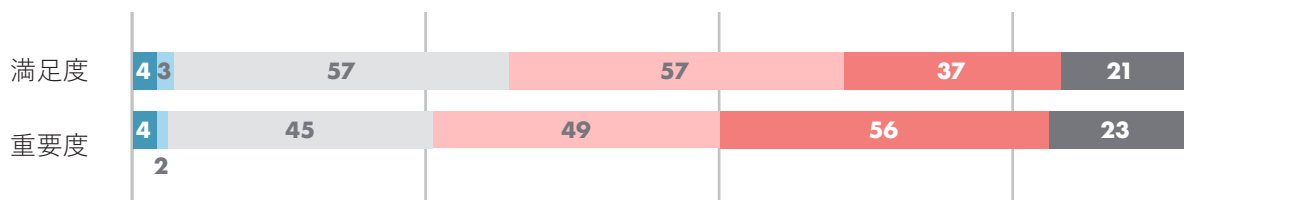
39. 効率的な行財政の運営



40. 行政におけるデジタル化の推進



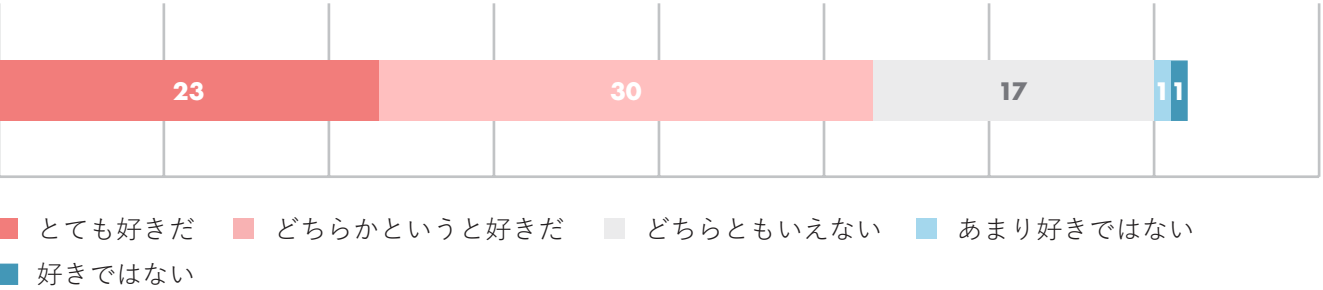
41. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金



麻績村振興計画策定用住民アンケート（小・中学生）集計結果

調査対象者	麻績村在住の小学校５・６年生及び中学生（令和４年１０月１日現在）
調査人数	82人（小学生：19人、中学生：63人）
抽出方法	学校に配布、回収を依頼
回答者数	72人
回答率	87.8%

問01 あなたは、麻績村のことが好きですか。



問02 麻績村の「良いところ」と「悪いところ」はそれぞれどんなところですか。自由に書いてください。

受付番号	「良いところ」	「悪いところ」
1	空気がおいしい 緑がいっぱい	
2	野菜がいっぱい食べられる	
3	犯罪が少ない	
4	コンビニがあるところ	
5	山に囲まれていて空気がおいしい	店が少ない
6	平和 村の人がやさしい	工事が終わらない
7	あいさつをしてくれる	モールがない 車が止まらない
8	自然がいっぱい	
9	自然が豊か	
10	静か	工事が終わらない
11	自然豊かで、みんな仲良し	人が沢山住んでいる所に公園がない
12	あいさつをしてくれる	買い物場所が少ない

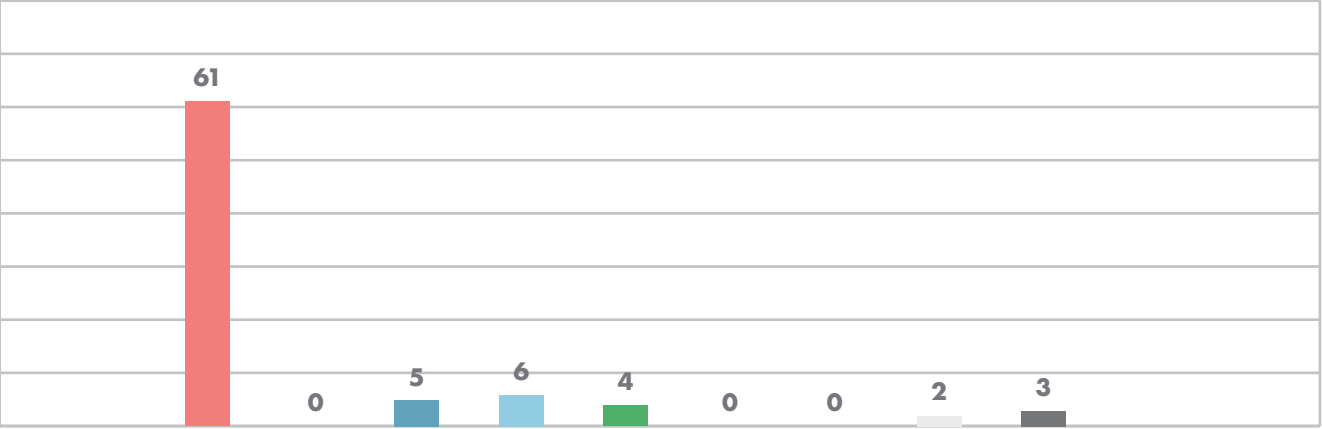
受付番号	「良いところ」	「悪いところ」
13	自然がいっぱい	
14	川などがとてもきれい、人がやさしい	お店があまりない
16	自然に囲まれている スーパーなどの店もある	
17	景色が良い 移動がしやすい	河川のあたりに雑草が繁殖、松くい虫の繁殖
18	高速など交通の便が良い	空き家が多い
19	自然が豊か	大きな店がない
20	ごみがあまりない	山に囲まれている
21	インターがある	観光客が来てくれる所があまりない
22	自然が多い	大きな店がない
23	自然が多い	大きな店がない
24	高速が身近にある	人が沢山住んでいる所に公園がない
26	のどかで静か	買い物場所が少ない
27	自然が豊か、人がやさしい	
28	自然な空気	店が少ない
29	空気がおいしい 木に囲まれている	買い物できる場所がない
30	交通機関がしっかりしている	空き家が多い
31	自然豊かで静かなところ	村の発展が遅い
32	スキー場があって自然がいいところ	
33	人が少ない、自由に遊べる	店が少ない
34	自然が豊か	遊ぶところが少ない
35	自然が豊か	
36	自然が豊か	お店が少ない
37	自然が豊かで、村の方々が優しい	遊ぶ所がない
38	自然が豊か	空き家が多い
39	自然が豊か	お店が少ない
40	スキー場がある	空き地がある
41	自然が豊か、人が優しい	空き家が多い
42	景色がよい	ほしい物が村では買えない
43	自然がある 高速道路、駅、コンビニがある	色々なことに挑戦してほしい
44	自然が豊か	空き家が多い

受付番号	「良いところ」	「悪いところ」
45	自然が豊か	空き地、空き家が多い
46	人がいないから伸び伸び遊べる	お店が少ない
47	自然が豊か	お店が少ない
48	人が少なく、気楽でいい	考え方が古い
49	のんびりできる	自転車で行くのが大変
50	セブンイレブンがある	空き地が少ない
52	自然が豊か、交通施設が整っている	街灯が少ない
53	人が優しい	街灯が少ない
54	景色が良く空気おいしい 雰囲気が良い	バスの時間が大胆すぎる
55	人が少ない	街灯が少ない 店がない 電車がない
56	自然が多い	店が少ない、電車が少ない
57	おじいちゃん、おばあちゃんが優しい	行事をすぐになくしてしまうところ
58	自然が豊かでのだかな村	買い物するところが少ない
59	自然がいっぱいで静か 人数が少なくていい	飲食店とかお店が少なくて少し不便 暗い
60	高速道路がある 電車がある	遊べる所がない
61	駅が近い	電車が少ない
62	自然がある 電車や高速道路がある	
63	地域の人が優しい	
64	自然がいっぱい	遊べるところがあまりない
65	空気がきれい 人がいい	せまい
66	森	街灯が少ない
67	自然	
68	自然がいっぱい	観光地が少ない
69	高速道路	電車が少ない
70	静か	田舎

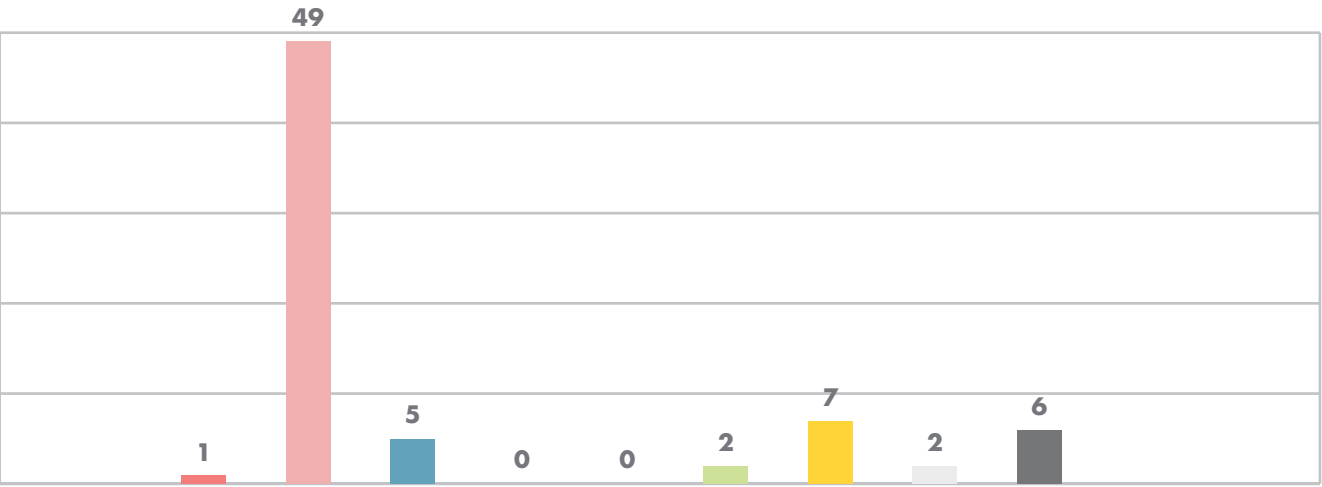
問03 あなたにとって、麻績村の「住みやすい」「住みにくい」ところはどのようなところだと思いますか。

- 自然環境や気候 ■ 買い物をする場所 ■ バスなどの公共交通 ■ 新鮮な食べ物
■ 保育園・小中学校 ■ 図書館やスポーツ施設 ■ 病院や福祉施設 ■ その他 ■ 無回答

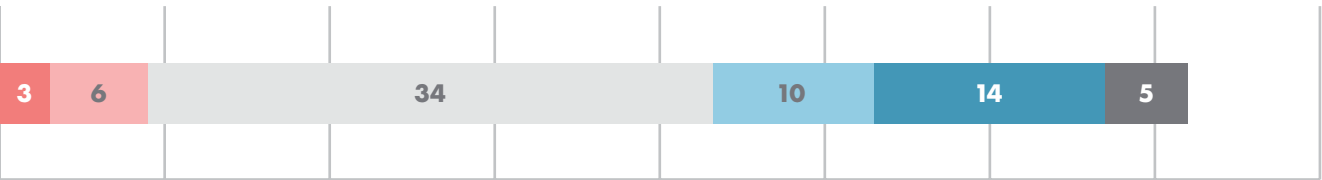
問03-1 住みやすいところ



問03-2 住みにくいところ



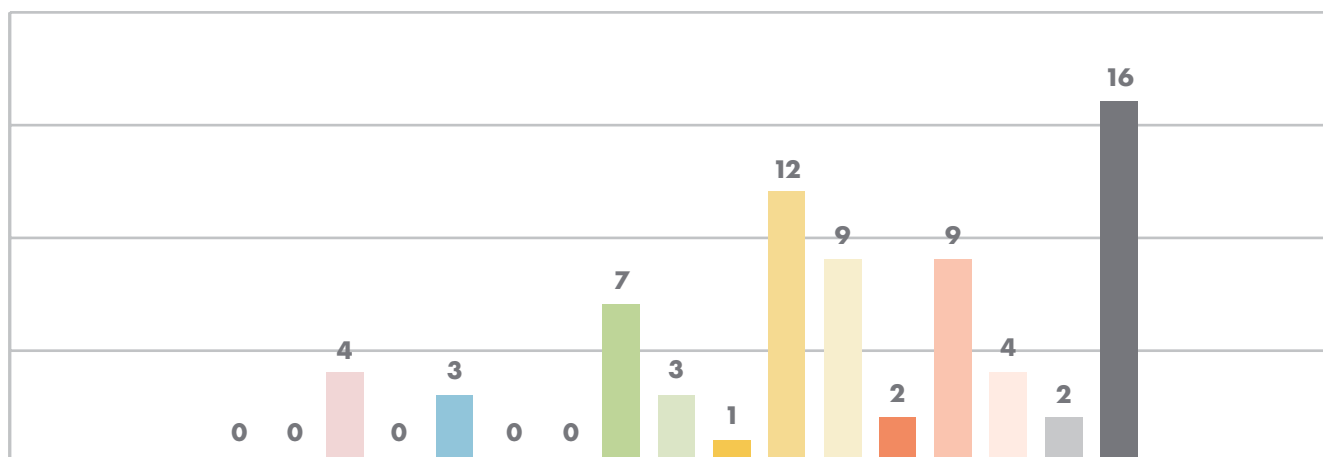
問04-1 あなたは、将来、麻績村に住み続けたいと思いますか。



- 住みたい ■ どちらかといえば住みたい ■ どちらともいえない ■ どちらかというとも住みたくない
■ 住みたくない ■ 無回答

問04-2 住みたくない理由はなんですか。

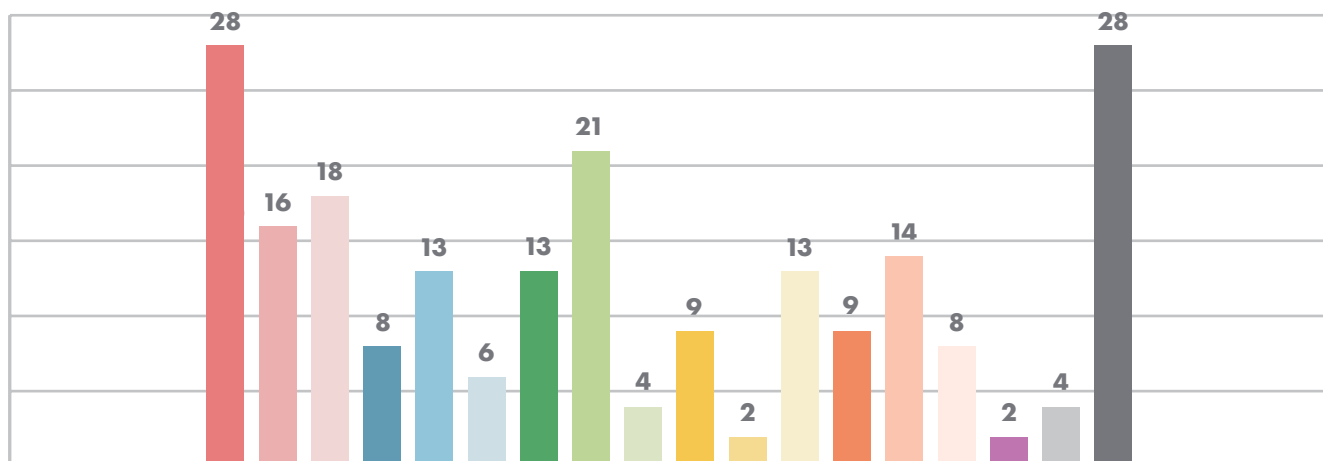
※問 4-1 で「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」と答えた方のみ回答



■ 自然が少ない ■ 村が汚い ■ 道路や交通の便 ■ 災害や犯罪 ■ 病院が少ない
■ 福祉が充実していない ■ 学校が充実していない ■ 遊び場が少ない ■ 産業がない
■ 文化・スポーツがない ■ 買い物に不便 ■ 働く場所がない ■ 都会の生活が良い
■ 進学・就職で離れるから ■ 親から自立したい ■ その他 ■ 無回答

問05 あなたは、今後の村づくりで、特にどのようなところに力を入れてほしいと思いますか。

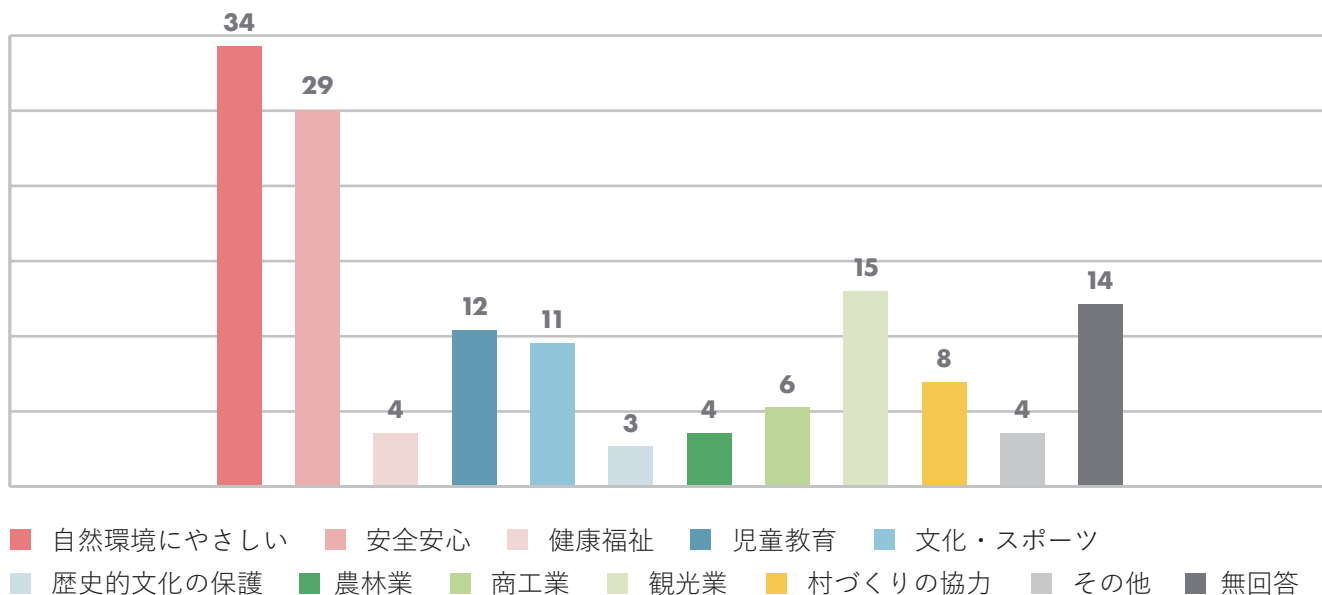
※ 3 つまで回答可



■ 自然の保護 ■ 道路整備 ■ 公共交通 ■ 交通事故・犯罪防止 ■ 防災・災害対策
■ ごみの削減・SDGs ■ 公園等の整備 ■ 観光業 ■ 勉強スペースの確保 ■ 老人・障がい者福祉
■ 児童教育 ■ 文化芸術・スポーツ ■ 農林業・商工業 ■ イベントの充実
■ 保健・医療の充実 ■ 村外交流の充実 ■ その他 ■ 無回答

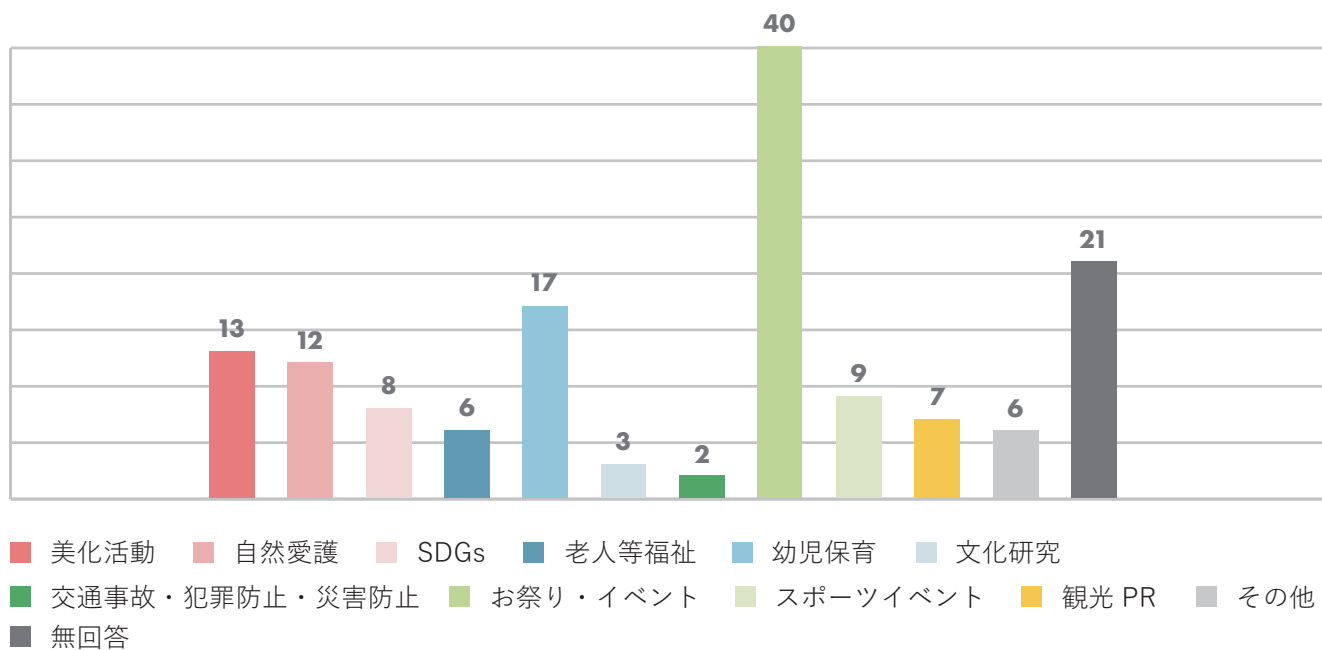
問06 あなたは、今後、麻績村はどのような村になって欲しいと思いますか。

※ 2 つまで回答可



問07 あなたは、次の活動の中で、今後、どの活動に参加してみたいと思いますか。

※ 2 つまで回答可



問08 麻績村の将来の夢があれば、簡単な言葉で自由に書いてください。

受付番号	村の将来の夢
1	イオンモールをつくる
2	平和
3	平和
4	村がなくならないでほしい
5	村民が納得できる村
6	ゲームを作りたい
7	チェーン店がある村
8	決めていない
9	自然を大切にして、どんな人でも暮らせる村
11	もっと子どもが楽しめる村 店を増やしてほしい
12	遊び場を増やす
14	もっと都会にする
16	村民全員が安全に幸せと思える暮らし
18	交通の便を利用して人を増やしてほしい
24	大きな店を作ってほしい
26	軽井沢みたいにして、ショッピングモールを建てれば活発になるのでは
30	スポーツ活動やスポーツ施設が沢山 環境にやさしい村
31	森林が豊かで快適に暮らせる村
32	このままの自然
33	遊ぶ所が増えてほしい
36	皆が行きたくなるような村
37	いつまでも自然がきれいな村
39	若者にやさしい村にしてほしい 駅に券売機を設置してほしい
40	みんなにやさしい村
41	若い人がいっぱい来ること
42	自然を活かしている観光地を作ってほしい
44	たくさんの人がいてほしい
45	たくさんの人がいてほしい
47	お店を増やす

受付番号	村の将来の夢
48	村を通過している人が多いから、目に入る店とか観光地を造ればいい
49	まずは、町をきれいにする
50	サマーナイトを復活
51	若者を多く、新しいことを取り入れる
52	いつでも安心、安全で快適に暮らせる自然豊かな村
55	自動改札にしてほしい
57	もっと若い人が増えて、住みやすい村 交流が盛んな村
58	ずっと自然が残って、それを利用できる村
59	自然豊かなまま、お店が増え便利になったら最高
61	ドイツと合併
62	自然を大切に
63	みんな笑顔に
65	全員が積極的に村について考える
67	天国
69	店が増えてほしい
70	コストコができる

議事録

第1回振興計画審議会

1. 会議概要

- (1) 開催日時 令和4年9月28日(水) 午後3時～
- (2) 開催場所 役場2階 第1・2会議室
- (3) 出席者 委員 宮下(朗)委員、塚原委員、小山委員、宮尾委員、内山委員、飯森委員、茂木委員、
滝澤委員、中山委員、宮川委員、久保田(秀)委員、谷口委員、峯村委員、瀬戸委員、
清水委員、稲葉委員
事務局 塚原村長、宮下副村長、加瀬教育長、森山課長、青木課長、塚原(貴)課長、宮下課長、
白井次長、塚原局長、塚原(敏)課長、藤木係長
- (4) 次第
- 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 麻績村振興計画審議会委員委嘱
 - 4 自己紹介
 - 5 会長の選出について
 - 6 会議事項
 - (1) 第7次麻績村振興計画の策定方針等について(資料 No.2)
 - (2) 第6次麻績村振興計画の評価について(資料 No.3)
 - (3) 計画策定に係る住民アンケートについて(資料 No.4-1、資料 No.4-2)
 - 7 その他
 - 8 閉会
- (5) 提示資料
- ・ 第1回麻績村振興計画審議会次第
 - ・ 委員名簿
 - ・ 麻績村審議会条例(資料1、資料 No.1-2)
 - ・ 第7次麻績村振興計画策定方針等(案)(資料 No.2)
 - ・ 第6次麻績村振興計画 評価(資料 No.3)
 - ・ 村民アンケート調査(資料 No.4-1、4-2)

2. 村長あいさつ

第7次振興計画は、麻績村の今後10年の重要な計画である。委員各位からご提言をいただくなかで計画をまとめていきたい。よろしくお願いしたい。

3. 会長並びに職務代理の互選

委員の互選により、審議委員会会長に宮尾隆委員、職務代理に谷口ゆかり委員を選出。

4. 審議事項

会議事項は宮尾会長が進行。事務局より資料 No.1、1-2、2、3、4-1、4-2 について説明

5. 意見交換

委員① アンケート調査について、無作為抽出された方以外にもアンケートを回答できるように検討してはどうか。

事務局 役場村民ホールと地域交流センターロビーにアンケート用紙を設置する予定。同報無線において周知する。

委員② アンケート調査について、集計は年代別等で集計するのか。

事務局 必要に応じて年代別等に集計する。

委員③ 第7次麻績村振興計画は麻績村総合戦略を包含した計画とするとのことだが、総合戦略の評価はどうするのか。

事務局 総合戦略同様、成果指標について毎年評価していく予定。

委員④ 小中学生用アンケートで麻績村に住み続けたいかを問うことはよいと思う。住み続けたくない理由をもっと掘り下げたらどうか。

事務局 選択肢の他に自由記載欄を大きくして対応したい。

委員⑤ 一般用アンケートで婚姻の状況を問うところがあるが、事実婚等についても選択肢に入れるべきではないか。

事務局 検討し対応したい。

委員⑥ 委員はアンケートに回答することはできるか。

事務局 アンケート用紙を送付するのでご協力いただきたい。

事務局 次回の審議会を令和4年11月25日（金）午後3時からとしたい。

第2回振興計画審議会

1. 会議概要

(1) 開催日時 令和4年11月25日（金） 午後3時～

(2) 開催場所 役場2階 研修室

(3) 出席者 委員 宮下（朗）委員、塚原委員、小山委員、柳原委員、久保田（芳）委員、内山委員、飯森委員、滝澤委員、中山委員、宮川委員、宮下（昭）委員、田中委員、谷口委員、峯村委員、瀬戸委員、沢木委員

事務局 塚原村長、宮下副村長、加瀬教育長、森山課長、青木課長、塚原（貴）課長、宮下課長、臼井次長、塚原局長、塚原（敏）課長、宮下参事

(4) 次第

1 開会

2 あいさつ

3 会議事項

- (1) 住民アンケート集計結果について（資料 No.1）
- (2) 振興計画構成原案について（資料 No.2-1）
- (3) 麻績村の人口推計について（資料 No.2-1、2-2）

4 その他

5 閉会

(5) 提示資料

- ・ 第 2 回麻績村振興計画審議会次第
- ・ 委員名簿
- ・ 審議会配席図
- ・ 第 7 次振興計画住民アンケート集計結果（資料 No.1）
- ・ 第 7 次麻績村振興計画基本計画（案）（資料 No.2-1、2-1-1、2-2）

2. 審議事項

会議事項は宮尾会長が欠席のため谷口職務代理が進行。事務局より資料 No.1、2-1、2-1-1、2-2 について説明

3. 意見交換

委員① 5 年前に行った住民アンケートと内容の同じ内容があれば比較してほしい。

事務局 次回示す。

委員② 問 4、5 の NA とは何か。

事務局 「無回答」です。次回修正する。

委員③ 小中学生に「どんな村にしてほしか」と言う質問を追記したはず、回答はどうであったか。（アンケート問 6）

事務局 改めて提示する。

委員④ 第 6 次計画は総合戦略を「包含」していない、第 7 次に総合戦略を包含して目標を入れたということは計画の精度を上げたということか。

事務局 精度を上げたということではない。総合戦略も総合的に目標を定め策定するもので、改めて作成しなくても、振興計画に目標を設定すれば済むことであり、事務の簡略のためである。

委員⑤ アンケートには、障がい者支援の充実があるが、節にないのはなぜか。

事務局 検討する。

委員⑥ ここで示された内容は決定事項か。

事務局 引き続き職員で内容を検討する。その中で、審議委員からも意見をだしていただきながら進めていく。

委員⑦ 第 4 章「時代の潮流と課題」の中に、増え続ける遊休荒廃農地についても記載してはどうか。

事務局 検討する。

委員⑧ 次回の資料はどこまで作成して、提示してもらえるか。

事務局 例で示したところまでは作成し、事前に郵送したい。

委員⑨ SDGs の一覧表を添付してほしい。

事務局 了承した。

委員⑩ アンケート結果を公表する予定はあるか。

事務局 添付資料として出す予定です。

委員⑪ どの時点で公表するか。

事務局 第 3 回以降の資料となるが、協議の進行状況で決めさせていただく。

委員⑫ 次回以降、何回の会議を予定しているか。

事務局 コロナの感染状況で開催できないことも考慮させていただく。出来れば後、2回か3回でまとめたい。

軽微な内容は、書面で済ませる場合もあるが大きな内容は会議で協議していただく。

事務局 次回の審議会を令和5年1月11日（水）午後3時からとしたい。

第3回振興計画審議会

1. 会議概要

(1) 開催日時 令和5年1月11日（水） 午後3時～

(2) 開催場所 役場2階 第1・2会議室

(3) 出席者 委員 宮下（朗）委員、塚原委員、小山委員、柳原委員、宮尾委員、久保田（芳）委員、
内山委員、茂木委員、滝澤委員、中山委員、宮川委員、宮下（昭）委員、
久保田（秀）委員、田中委員、谷口委員、清水委員、沢木委員

事務局 塚原村長、宮下副村長、加瀬教育長、森山課長、青木課長、塚原（貴）課長、
宮下課長、臼井次長、塚原局長、塚原（敏）課長、宮下参事

(4) 次第

1 開会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 第2回会議における質問事項の回答について（資料 No.1、2、3、4、5）

(2) 振興計画原案内容説明について

4 その他

5 閉会

(5) 提示資料

- ・ 第3回麻績村振興計画審議会次第
- ・ 委員名簿
- ・ 第2回会議における質問事項の回答について（資料 No.1）
- ・ 前回アンケートと今回アンケートの回答比較（資料 No.2）
- ・ 小中学生を対象としたアンケート調査結果（資料 No.3）
- ・ SDGs 持続可能な開発目標一覧（資料 No.4）
- ・ 村民アンケート調査（問18）について（資料 No.5）
- ・ 住民アンケート集計結果（修正版）
- ・ 第7次麻績村振興計画（案）

2. 審議事項

会議事項は宮尾会長が進行。事務局より資料 No.1、2、3、4、5 について説明

各担当課長から第7次麻績村振興計画（案）について説明

3. 意見交換

委員① アンケート結果について、公表していない質問事項の公表の有無については。アンケート結果を皆（委員）でチェックする機会があってもよいのでは。

事務局 全ての項目について今後公表する予定です。

委員② アンケート集計が違っていた内容が分からない。

事務局 不満と満足を逆転して集計されていた。

委員③ 子育て支援の記述に子育て支援センターとあるが麻績村は包括支援センターではないか。

事務局 修正する。

委員④ 平均自立期間（要介護2以上）と記されているが、「要介護2以上にならないように」という意味ではないか、記載方が間違っているのでは。また、「知的障がい者と精神障がい者」の記載方について、上から目線となってしまっているのでは、記載方はこれでいいのか。身体障がい者であれば「身体にハンデがある人」知的障がい者であれば「知的に支援の必要がある人」とかがよいのでは。

事務局 検討する。

委員⑤ 青少年・キャリア教育、現状と課題において文章が長くなってきている、区切ってはどうか。

事務局 修正する。

委員⑥ ICTを活用した教育を幅広く盛り込まれていて田舎での活用は心強い。施設も老朽化してきている。今後はICTを組み込み改修してほしい。ICTの活用で部活動の問題も解決できることもあるのではと思う。麻績村でやっていくのであれば必要なことだと思う。

委員⑦ 生涯学習の中で、デジタルに対応した講座の開催なども盛り込んでいったらよいのでは。

事務局 加筆修正する。

委員⑧ 施策に収益を上げることが盛り込まれているが、現状と課題にはない。記載した方がよいのでは。

事務局 修正する。

委員⑨ 荒地が増えてしまうということは地球も守れない。村を守るためにも農業は必要な事業。やりがいのある事業。しかしやっていくには収益が上がりなければならない。若しくは村を守っていくためにも支援してくことも盛り込んでいただければありがたい。また、麻績村も商工業でも観光でもニューノーマルが必要だと方々から聞く。新しい働き方を取り込んでいってもらいたい。

事務局 検討します。

委員⑩ 商工業のDXで、Webを活用したりリモートとあるが、協力隊を中心に起業する方達がでてきているが、それを持続していくためにもWebを活用した販路拡大支援を入れてもらいたい。

事務局 検討します。

委員⑪ 防災のところで水防について、水防団があったと思うが。

事務局 麻績村では、消防団員があたっている。

委員⑫ 生活基盤の中で、これから買い物弱者が課題となってくる。村営バス、福祉バス、JAでは買い物バスが運行している連携して、買い物弱者への検討を進めるという内容があればありがたい。

事務局 承知した。

委員⑬ 行政区の再編成も視野にいられていただきたいと思う。

事務局 加筆修正する。

委員⑭ 同報無線も老朽化する中で、従前の考えからすると新設又は更新となるDXをからめてほしい。村にはケーブルテレビがない村、お知らせも動画で配信ができることも考えて検討に入っていってほしい。

事務局 同報無線の更新については、情報通信基盤の整備に含めている。

委員⑮ なるべく事業を主体的に書いてほしい。

- 委員⑩ 高齢化が進んでいる中で、PC、スマホを使っているお年寄りはいいが、使えない人もかなりいると思う。広報紙もまだ重要だ。
- 事務局 当分の間、広報の発行は必要と考える。
- 委員⑪ 村 HP の視聴率は把握しているか。年中代別など分かるのか。言いたいことは、全ての人に平等に知らせてほしいということ。
- 事務局 報告できる資料は提示する。
- 委員⑫ 第6次計画と比べると、前は分野ごと施策も詳細に記されていた。今回は、主なものに統合されている。どちらがいいということではない。それに向かって進めていくことが重要。
- 委員⑬ 総合戦略は毎年評価されて議会にも報告があった。総合戦略の進め方が知りたい。
- 事務局 従来どおり毎年評価を行っていく。
- 委員⑭ アンケートの結果をみると働く場所への要望が多い。通勤をして村外へ行くことに支援が必要とも思う。企業誘致について記載されていないわけではないのでいいが、意識しておいていただきたい。今回の会議、原案について委員が分科会に分かれて検討していくのもよかったのではないかな。
- 委員⑮ 分野が広くこの計画をみて、一村民として何が出来るか分からない。どういうふうにこの計画を村民に伝えるか。村民に協力して欲しいという問いかけもあっていいのでは。
- 事務局 この計画の方針に添って住民の方にこうして欲しいとまでもっていければ一番いい。計画のなかでも協働の分野で述べさせていただいている。住民にはこの振興計画をダイジェスト版として配布する予定。
- 事務局 来週には、パブリックコメントを行い2週間位行う予定。パブリックコメントにおいて、いただいた意見を参考に修正した計画をもとに次回審議をお願いしたい。追加資料については、来週中には発送する。次回の審議を令和5年2月8日（水）午後3時からとしたい。

第4回振興計画審議会

1. 会議概要

- (1) 開催日時 令和5年2月8日（水） 午後3時～
- (2) 開催場所 役場2階 第1・2会議室
- (3) 出席者 委員 宮下（朗）委員、塚原委員、小山委員、柳原委員、宮尾委員、久保田（芳）委員、
内山委員、飯森委員、滝澤委員、中山委員、宮川委員、宮下（昭）委員、
久保田（秀）委員、 田中委員、谷口委員、瀬戸委員、清水委員、沢木委員
事務局 塚原村長、宮下副村長、加瀬教育長、森山課長、塚原（貴）課長、宮下課長、
白井次長、塚原局長、塚原（敏）課長、藤木係長、宮下参事
- (4) 次第
- 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 会議事項
 - (1) パブリックコメント後の修正箇所について
 - (2) 答申（案）について
 - (3) その他
 - 4 閉会

(5) 提示資料

- ・第4回麻績村振興計画審議会次第
- ・第7次麻績村振興計画（案）
- ・パブリックコメント
- ・答申（案）

2. 審議事項

会議事項は宮尾会長が進行。事務局より資料について説明

各担当課長から第7次麻績村振興計画（案）修正について説明

3. 意見交換

委員① 農業に関して「環境にやさしい農業」と記載されていたが、削除したのか。

事務局 誤って削除してしまった。修正する。

委員① 新たな農業団体の立ち上げも加えられたことは評価する。

事務局 不満と満足を逆転して集計されていた。

委員② ジビエについて追加記載されたが、パブリックコメントで言われたので記載したのか。意見を出してくれた方は狩猟をする方か。流行くらいの意味で食べられたらいいと言うだけの意見か。

事務局 意見をいただいた方は、狩猟はしていない。せっかく捕ったものであれば食用とされたらどうか。という意見と判断する。麻績村にしてもジビエ振興を推進していく。

委員② 有効な施策と思う。

委員③ 重点目標の2節「地域で育て」とあるが、何を育てるのか。

事務局 第2節では、教育関係を記述している。子どもから生涯学習、文化歴史までを含め、抽象的ではあるが地域で育てていただきたいという意味。他にご意見があればいただきたい。

委員④ 「安全で快適な空間」もあいまいな表記ではある。

事務局 ここもインフラや村全体についてを空間と標記した。

委員⑤ ふわっとした言い方をしているが、説明があるので内容は分かるのでいいのではないか。

委員⑥ いいと思うが、例えば「第1節の誰もが健康に暮らせる村」とあるが、主たる標記を教育委員会、住民課に別けたらとも思ったが、全体的におかしくなってしまうようにも思う。狙いを定められることができないか。

事務局 重点目標のタイトルだけを答申書に記載したが、例えば第1節であれば1の子育て支援～6の人権まで具体的に記載をすると、見る人に分かりやすくなると思う。答申書の様式は、決まった様式はない。記載して答申としてもよい。

委員⑥ このままでもよい。この答申書は、この委員会が村長に出すということか。

事務局 その通り。付属資料として添付する。

委員⑥ これは、全戸配布されるものか。

事務局 全戸配布するものももっと要約したカラー印刷のダイジェスト版になる。ページが限られているため答申書は載らない。振興計画は欲しい方に配するが、全戸には配布しない。

委員⑥ 重点目標のふわっとしているところは、委員が理解していればいいということか。

事務局 その通り。この部分だけでは何の事か分からないと見られてしまうが、中を見れば理解してもらえる。

委員⑦ 重点目標は、ふわっとしたものでなく、村民憲章のように理解できる方がいいのではないか。

事務局 それでは、節の中にある題目を追加して表記して答申としたいがいかか。

委員⑧ 第2節と第5節がふわっとしている。他は分かる。見た人に理解されるようにした方がよいのではないか。

事務局 計画の内容は、見たい人には見ていただけるようになる。

委員⑧ 説明ができれば、このままでもよいのでは。

会 長 委員は共有しているということで、同意していただいたということでよいか。
(異議なしの声) ありがとうございます。

委員⑨ アンケートについてホームページ等で公開はするのか。意見とか出された文章にしたものは公開するのか。

事務局 今回、提示した付属資料はすべて公開をする。自由記述については、この振興計画にはそぐはない内容もあるので公開はしない。

委員⑨ なるべく公開した方がよいのではないかな。

事務局 提言、キャッチコピーをいただきたいとしていたが、そうではない意見も書かれている。差し控えさせていただきたいと思う。いただいた提言や建設的な意見については、貴重な意見も多くあり、今回の計画に反映させていただいている。

会 長 ほかにご意見がなければ、これで最終としたいがいかがか。
(異議なしの声)

事務局 これで答申とさせていただきます。答申は改めて会長と職務代理の2名で村長に答申することとしたい。答申後は3月定例議会に議案として上程をして議決をいただく。ダイジェスト版の配布は、5月中旬に配布予定としている。

会 長 今回で本委員会は最終となる。

4. 村長あいさつ

第7次振興計画を策定するにあたり忌憚のない意見・提言をいただくなかで、振興計画をまとめていただき感謝申し上げます。振興計画については、10年後の麻績村の魅力ある村づくりに向けた計画となっている。村民の皆さんもこの計画に期待をかけていると思う。村としては、計画に沿って「麻績村にこれからも住み続けたい」と思っただけの村づくりを推進していきたい。今後につきましても、ご理解ご協力をいただきたいと思います。審議委員の皆様にご感謝申し上げ、御礼の言葉とさせていただきます。大変ありがとうございました。

パブリックコメント

1. 意見募集概要

(1) 計画名称

第7次麻績村振興計画（案）

(2) 募集

本計画は、村の目指すべき将来像「心ときめく 麻績村」を実現するため、基本的な施策や方向性を示したものです。

つきましては、第7次麻績村振興計画の策定にあたり村民の皆さまからのご意見を募集いたします。いただきましたご意見は、本計画の参考とさせていただきます。

(3) 期間

令和5年1月19日（木）から令和5年2月1日（水）

(4) 閲覧場所

村公式ホームページの添付資料、役場庁舎での閲覧（村づくり推進課窓口）

(5) 対象

村内にお住いまたはお勤めされている方、並びにこの計画に利害関係がある方
村内に事務所または事業所を有する法人その他の団体

(6) 提出方法

添付の「意見提出用紙」へ必要事項とご意見をご記入のうえ、郵送 / FAX / 電子メール でご提出

〒399-7701 麻績村麻 3837

麻績村役場 村づくり推進課

FAX 67-3094 E-mail muradukuri@vill.omi.nagano.jp

(7) 注意事項

- いただきましたご意見は、個人情報等に関する事項を除き、すべて公開される可能性があります。
- ご意見に対して、個別の回答はいたしません。
- ご意見の中で個人に関する情報で特定の個人が識別し得る情報がある場合及び法人等の財産権等を害する恐れがあると判断される場合には、公表の際に該当箇所を伏せさせていただくことがあります。
- ご意見に付記された個人情報等につきましては、適正に管理し本業務以外には使用いたしません。
- ご意見の提出にあたっては、氏名、住所（法人等の場合は名称、所在地）などをご記入ください。
- ご記入がない場合は、提出意見として取り扱わない場合があります。

(8) お問い合わせ先

麻績村役場 村づくり推進課 TEL 67-3001

2. パブリックコメントにお寄せいただいたご意見の抜粋とその対応

受付番号	ご意見の内容	対応
1	全国的に少子高齢化ではありますが、女性一人ひとりが輝ける村として、女性が働きやすい職場づくりが必要です。役場職員に女性を多く採用してほしい。	職員募集にあたっては、少ない応募状況となっており、職員確保に苦慮していますが、バランスを考慮し採用してまいります。
2	生涯学習を積極的に行うために、公民館活動に対する予算を確保してほしい。	住民ニーズを勘案し、対応してまいります。
3	全体的に昔から行政改革が進んでいないように感じる。行財政改革をデジタル化とともに進めてもらいたい。	ご指摘いただいたご意見につきましては、今後とも積極的取り組んでまいります。
4	麻績村の農産物（米、野菜、麦、果樹、畜産物、おやきなど）の販売強化のため、農産物直売所あさつゆをもっと活用してほしい。	ご指摘いただいた内容を修正いたしました。
5	村づくりは健康づくりからだと思う。現在、体、心や食の健康については社会福祉協議会で実施されています。もっと多くの方に参加してもらおう仕組みづくりをお願いしたい。	ご提案いただいた内容については、今後の施策の中で検討してまいります。
6	村は、男女共同参画計画を策定しているが、条例制定までは至っていない。人権分野の主な施策方針として、もっと実効性のあるメッセージを考えて欲しい。目指す目標に少しでも近づく項目を追加できないか。	ご指摘いただいた内容を修正いたしました。
7	少子高齢化による農家の減少によって、耕作放棄地の増加が懸念される。以前から農業法人化の話があったと思うがどうなったのか。この問題は喫緊の課題だと思う。	ご指摘いただいたご意見をもとに、具体的な表現に修正しました。
8	あらゆる分野においてIT化が進んでいく中で、リモートビジネスの活用を図っていく必要があるのではないか。	ご提案いただいた内容については、今後の施策の中で検討してまいります。